

周南市市民アンケート調査 集計結果

平成26年2月
周南市

目 次

I. アンケート調査の実施概要	
1. 調査の概要	
(1) 目的	1
(2) 対象・方法	1
(3) 実施期間	1
(4) 配布数・回収状況	1
II. アンケートの調査結果	
1. 回答者の属性	
【設問 1】居住地	3
【設問 2】性別	3
【設問 3】年齢	3
【設問 4】職業	3
【設問 5】世帯構成	4
【設問 6】居住年数	4
2. 周南市について（愛着感や住みよさなど）	
【設問 7】市への愛着感	5
【設問 8】住みよさの評価	7
【設問 9】今後の居留意向	9
【設問10】地域内で誇りに思うもの	11
【設問11】日常の生活施設・サービスで困っていること	11
3. 現在の満足度や今後の重要度など	
【設問12】現在の満足度・今後の重要度	12
今後のまちづくりにおいて重要度が高いもの	20
4. 合併(平成15年4月)以前と現在との比較による充実度	
【設問13】合併後の充実度	22
5. 日常生活における意識や行動など	
【設問14～16】市政への市民参画	27
【設問17】ボランティア活動への取り組み	30
【設問18～23】男女共同参画	31
【設問24～28】環境保全対策・エネルギー	42
【設問29～34】生涯学習	48
【設問35～36】公共交通機関の利用状況	54
【設問37～38】市役所の窓口・電話対応	56
【設問39～43】今後の行財政改革への取り組み	58
【その他】意見・要望など（自由意見記入欄）	73
III. 市民アンケート調査（調査票）	81
IV. まちづくりに関する意見募集	91

I. アンケート調査の実施概要

1. 調査の概要

(1) 目的

周南市では、まちづくり総合計画に基づいて市政の運営を行っています。

現行のまちづくり総合計画の計画期間は、平成17年度から10年間で、26年度末で終了するため、27年度からの次期計画の策定を進めています。

このアンケート調査は、次期計画策定の基礎資料とするため、市民の皆さんのニーズや満足度、考えなどを伺うために実施しました。

(2) 対象・方法

平成25年5月1日現在、市内に在住する18歳以上の方の中から、2,500人を無作為に抽出し、無記名による調査。調査票は、郵送で配布・回収しました。

併せて、市ホームページで、WEB(インターネット)回答による調査を実施しました。

(3) 実施期間

平成25年5月17日発送～31日締め(最終回収:6月25日)

(4) 配布数・回収状況

回収率は、43.8%で、前回調査(47.1%)より3.3ポイント下回っています。

地域	該当地域(小学校区)	配布数 (件)	回収数 (件)	WEB回答 (件)	回収率 (%)
都市地域	徳山・遠石・今宿・周陽・岐山・ 秋月・桜木・久米・櫛浜・富田 東・富田西・福川・福川南	1,698	700	25	41.2
都市周辺地域	鼓南・菊川・四熊・小畑・夜市・ 湯野・戸田・勝間・大河内	605	231	4	38.2
中山間地域	大道理・大向・長穂・沼城・中 須・須磨・大津島・和田・三丘・ 高水・八代・鹿野	197	136	3	69.0
無回答		—	28	—	—
合計		2,500	1,095	32	43.8

〔調査結果利用上の注意〕

- ・ 属性(設問1～6)の無回答や端数処理により、各項目の合計欄が一致しない場合があります。また、複数回答の質問では、回答比率の合計が、100%と一致しません。
- ・ WEB回答分は、選択肢1つを選ぶ形式の設問に対し、単純集計のみ加算しています。
※ 集計の関係上、WEB回答分(32件)を含まない項目があります。
- ・ 数表や図表中の「—」は、該当する選択肢の回答がないことを示します。
- ・ 数表や図表は、文言を省略している場合があります。

【参考】アンケートの配布票数及び誤差について

■ 配布数の設定

統計学的には、対象となる範囲の方の性別・年齢・職業・居住地などをバランスよく抽出してアンケート調査を行い、有効回答がおおむね1,000票となれば、その結果は対象となる範囲の大小に係わらず変わらないとされています。

今回のアンケート調査においても、おおむね1,000票の有効回答を目標に、これまでの調査結果から回収率を40%程度と想定し、配布数(対象者数)を2,500票としました。

■ 回収票数と誤差

今回の回答数1,095票を、下記の式に入れて逆算すると、誤差は3.0%(≒2.96)となります。

これは、違う人を対象に、同じ調査を100回行った場合でも有意水準5%であるから、95回は、その結果が±3.0%以内であるということです。

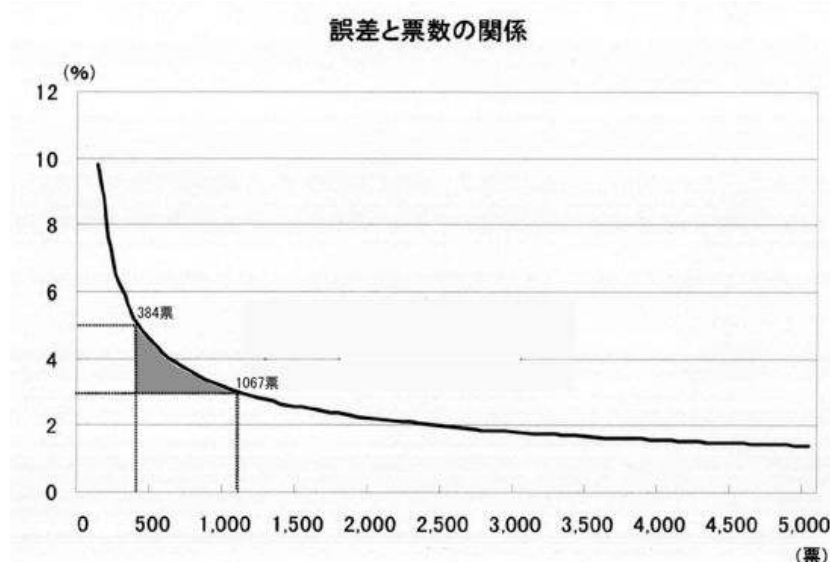
■ アンケートの回収票の信頼性

アンケート票数と誤差との関係は、票数が少ないと誤差は大きく、多いと少なくなりますが、その関係は一定でなく、富士山の稜線のカーブのような関係にあります。【下図参照】

つまり、票数が少ない時は、票数を少し増やすことにより誤差が大幅に減少しますが、ある一定の数を超えると、票数を大幅に増やしても誤差はほとんど変わらなくなります。

統計学的には、この「一定の数」は、目標誤差:3~5%以内であればよいとされており、それを下記の計算式で逆算すると、概ね400~1,100票程度であることが算出されています。

つまり、有効回答票の回収数がこの程度あれば、意向の把握として納得できる数字になるといえます。



《参考》 サンプル数 (アンケートの有効回答票数) と誤差との関係式

$$\text{必要なサンプル数} = (\text{有意水準}^2 \times P(1-P)) \div \text{目標誤差}^2$$

有意水準: 統計学の「正規分布表」から有意水準 5%の定数 (=1.96)

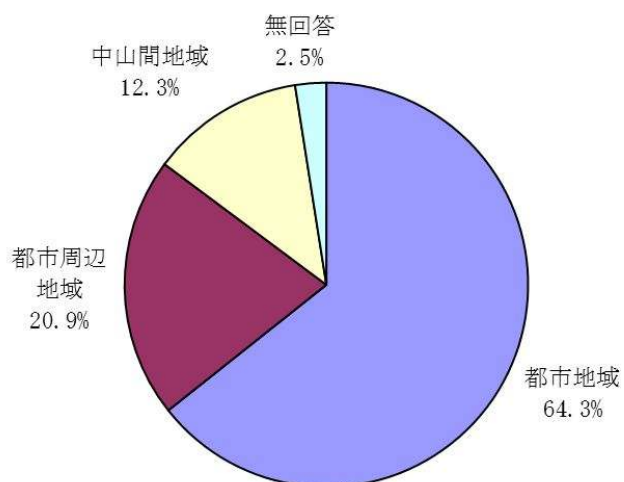
P: 誤差が一番大きくなるのは、50%であるため「0.5」

目標誤差: 3~5%以内であればよいとされている

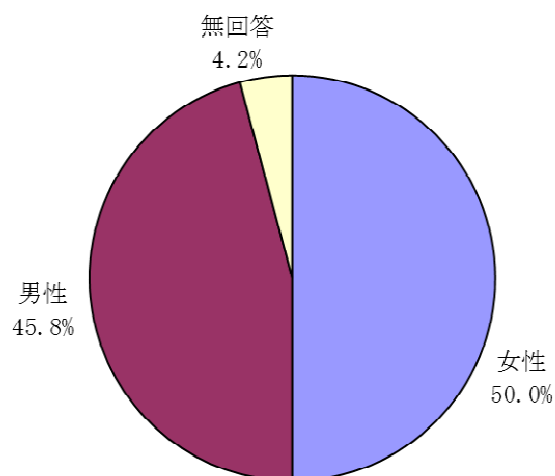
II. アンケートの調査結果

1. 回答者の属性

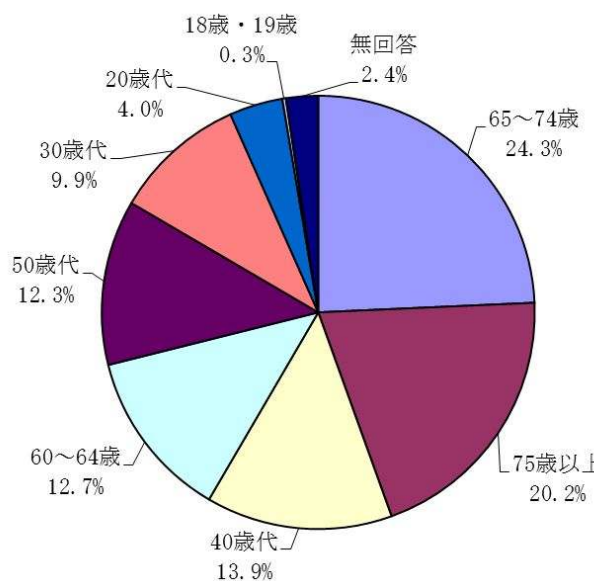
【設問1】お住まいの地域は？



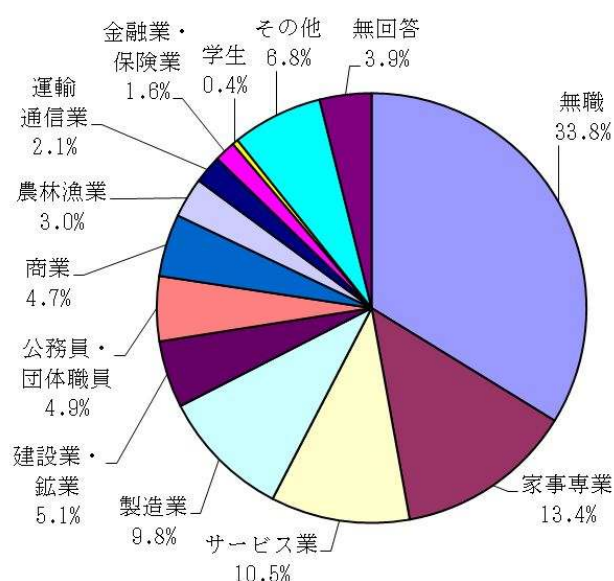
【設問2】性別は？



【設問3】年齢は？



【設問4】職業は？



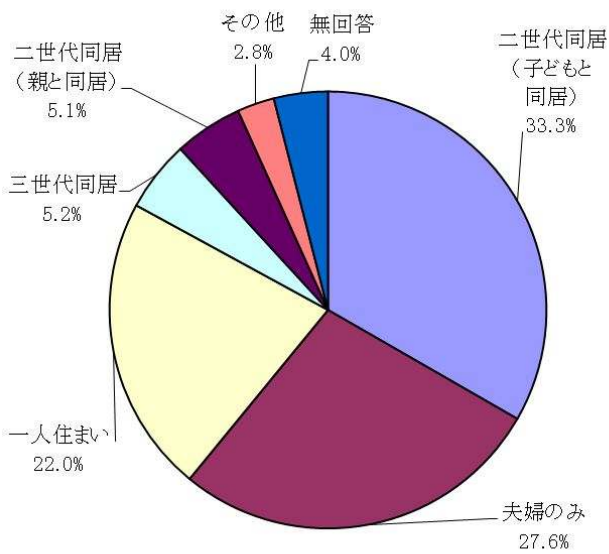
《年齢》

「65～74歳」(24.3%)が最も多く、次いで「75歳以上」(20.2%)「40歳代」(13.9%)となっています。

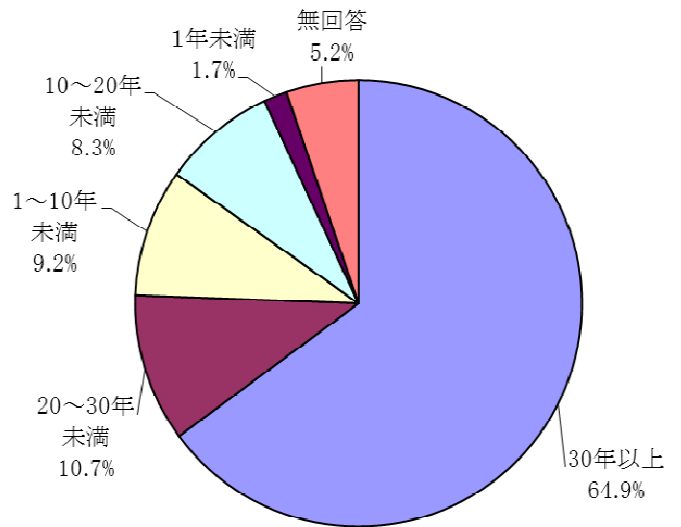
《職業》

「無職」(33.8%)が最も多く、次いで「家事専業」(13.4%)「サービス業」(10.5%)となっています。

【設問5】現在の世帯の構成は？



【設問6】本市に何年住んでいますか？



《世帯構成》

「二世世代同居 (子どもと同居)」(33.3%)が最も多く、次いで「夫婦のみ」(27.6%)「一人住まい」(22.0%)となっています。

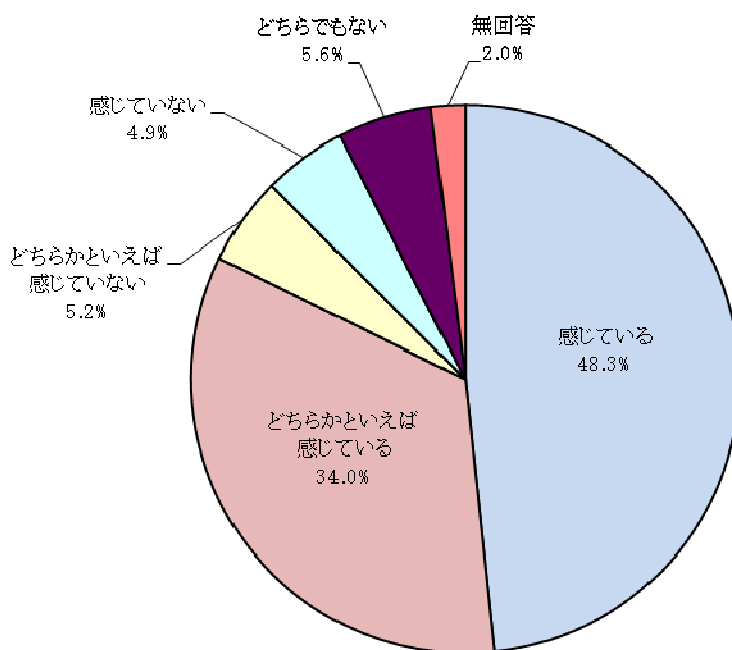
《居住年数》

「30年以上」(64.9%)が最も多く、次いで「20~30年未満」(10.7%)「1~10年未満」(9.2%)となっています。

2. 周南市について（愛着感や住みよさなど）

【設問7】本市に愛着を感じていますか？

「感じている」が 48.3% 「どちらかといえば感じている」が 34.0%となっており、82.3%の人が、おおむね愛着を感じていると回答されています。



《地域別》

「感じている」「どちらかといえば感じている」を合わせた割合は、都市地域(85.6%)が最も高く次いで中山間地域(81.7%)、都市周辺地域(80.1%)となっています。

《年齢別》

「感じている」「どちらかといえば感じている」を合わせた割合は、65～74歳(87.6%)が最も高く次いで75歳以上(87.2%)、40歳代(83.3%)となっています。

《職業別》

「感じている」「どちらかといえば感じている」を合わせた割合は、農林漁業(97.1%)が最も高く次いで運輸通信業(90.0%)、家事専業(88.6%)となっています。

《世帯構成別》

「感じている」「どちらかといえば感じている」を合わせた割合は、夫婦のみ(88.5%)が最も高く次いで二世帯同居(子どもと同居)(87.5%)、三世帯同居(84.2%)となっています。

《居住年数別》

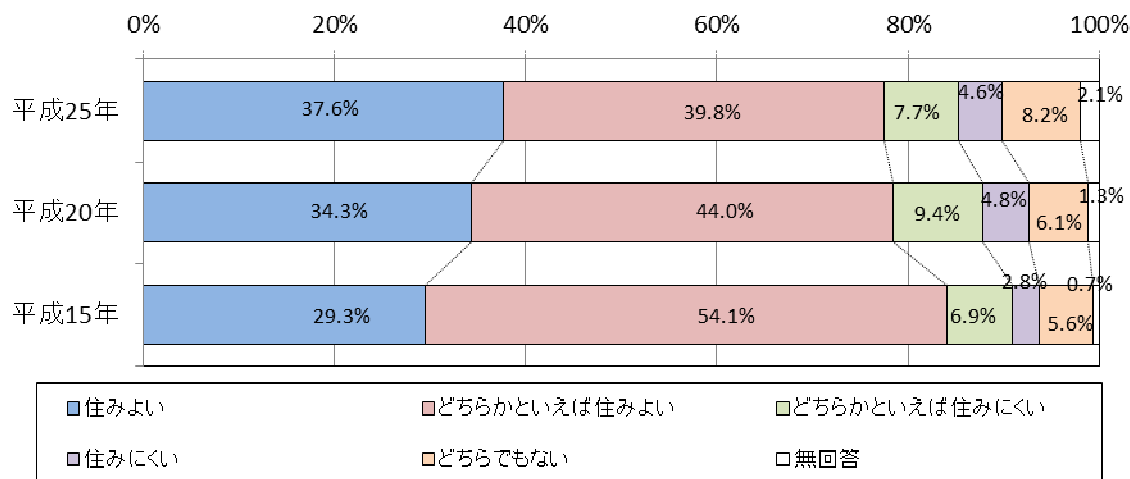
「感じている」「どちらかといえば感じている」を合わせた割合は、30年以上(88.4%)が最も高く次いで20～30年未満(79.2%)、10～20年未満(75.9%)となっています。

項目		回答者（人）	感じている	どちらかといえば感じている	どちらかといえば感じていない	感じていない	どちらでもない	無回答
全体		1,095	48.3%	34.0%	5.2%	4.9%	5.6%	2.0%
地域別	都市地域	700	49.9%	35.7%	4.4%	3.9%	5.7%	0.4%
	都市周辺地域	231	48.5%	31.6%	8.2%	7.8%	3.9%	0.0%
	中山間地域	136	47.1%	34.6%	5.1%	4.4%	8.1%	0.7%
	無回答	28	14.3%	7.1%	0.0%	10.7%	3.6%	64.3%
性別	男性	490	47.1%	36.3%	5.3%	6.3%	4.3%	0.6%
	女性	557	51.0%	33.4%	5.6%	3.2%	6.6%	0.2%
	無回答	48	29.2%	16.7%	0.0%	10.4%	6.3%	37.5%
年齢	18歳・19歳	1	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%
	20歳代	41	34.1%	39.0%	12.2%	12.2%	0.0%	2.4%
	30歳代	104	43.3%	36.5%	4.8%	7.7%	7.7%	0.0%
	40歳代	149	43.0%	40.3%	8.1%	2.7%	6.0%	0.0%
	50歳代	133	43.6%	38.3%	5.3%	6.8%	6.0%	0.0%
	60～64歳	141	40.4%	40.4%	7.1%	6.4%	4.3%	1.4%
	65～74歳	273	55.7%	31.9%	4.0%	3.3%	4.8%	0.4%
	75歳以上	227	59.9%	27.3%	3.1%	3.5%	6.2%	0.0%
無回答	26	11.5%	3.8%	0.0%	7.7%	7.7%	69.2%	
職業	農林漁業	34	64.7%	32.4%	0.0%	0.0%	2.9%	0.0%
	製造業	107	37.4%	34.6%	7.5%	13.1%	6.5%	0.9%
	建設業・鉱業	53	47.2%	34.0%	9.4%	5.7%	1.9%	1.9%
	商業（小売・卸売）	50	58.0%	26.0%	4.0%	8.0%	4.0%	0.0%
	金融業・保険業	15	33.3%	46.7%	6.7%	6.7%	6.7%	0.0%
	サービス業	115	45.2%	37.4%	6.1%	5.2%	6.1%	0.0%
	運輸通信業	20	35.0%	55.0%	5.0%	0.0%	5.0%	0.0%
	公務員・団体職員	51	45.1%	41.2%	3.9%	3.9%	5.9%	0.0%
	家事専業	149	53.0%	35.6%	4.7%	2.7%	4.0%	0.0%
	無職	379	53.0%	32.7%	4.7%	3.4%	6.1%	0.0%
	学生	2	0.0%	50.0%	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%
	その他	77	46.8%	29.9%	6.5%	6.5%	9.1%	1.3%
	無回答	43	23.3%	23.3%	2.3%	2.3%	4.7%	44.2%
世帯構成	一人住まい	241	46.9%	29.0%	6.6%	7.5%	9.1%	0.8%
	夫婦のみ	304	53.0%	35.5%	4.6%	3.0%	3.6%	0.3%
	二世帯同居（子どもと同居）	366	49.2%	38.3%	4.9%	5.2%	2.5%	0.0%
	二世帯同居（親と同居）	50	58.0%	26.0%	4.0%	2.0%	10.0%	0.0%
	三世帯同居	57	45.6%	38.6%	3.5%	5.3%	7.0%	0.0%
	その他	31	38.7%	25.8%	6.5%	9.7%	19.4%	0.0%
	無回答	46	17.4%	23.9%	6.5%	2.2%	8.7%	41.3%
居住年数	1年未満	17	41.2%	29.4%	0.0%	17.6%	11.8%	0.0%
	1～10年未満	101	28.7%	39.6%	11.9%	7.9%	10.9%	1.0%
	10～20年未満	87	39.1%	36.8%	9.2%	8.0%	6.9%	0.0%
	20～30年未満	115	38.3%	40.9%	8.7%	5.2%	7.0%	0.0%
	30年以上	716	56.4%	32.0%	3.2%	3.9%	4.2%	0.3%
	無回答	59	18.6%	32.2%	6.8%	3.4%	6.8%	32.2%

【設問8】本市は住みよいと思いますか？

「住みよい」が 37.6%「どちらかといえば住みよい」が 39.8%となっており、77.4%の人がおおむね住みよいと回答されています。

前回(平成20年)調査と比較すると「住みよい」が 3.3ポイント上がっていますが「住みよい」「どちらかといえば住みよい」を合わせた割合は、78.3%から 0.9ポイント下がっています。



《地域別》

「住みよい」「どちらかといえば住みよい」を合わせた割合は、都市地域(80.6%)が最も高く、次いで中山間地域(76.5%)、都市周辺地域(75.8%)となっています。

《年齢別》

「住みよい」「どちらかといえば住みよい」を合わせた割合は、65～74歳(82.4%)が最も高く、次いで75歳以上(80.2%)、40歳代(79.2%)となっています。

《職業別》

「住みよい」「どちらかといえば住みよい」を合わせた割合は、商業(88.0%)が最も高く、次いで公務員・団体職員(86.3%)、農林漁業(85.3%)となっています。

《世帯構成別》

「住みよい」「どちらかといえば住みよい」を合わせた割合は、三世代同居(84.3%)が最も高く、次いで夫婦のみ(82.9%)、二世帯同居(子どもと同居)(80.6%)となっています。

《居住年数別》

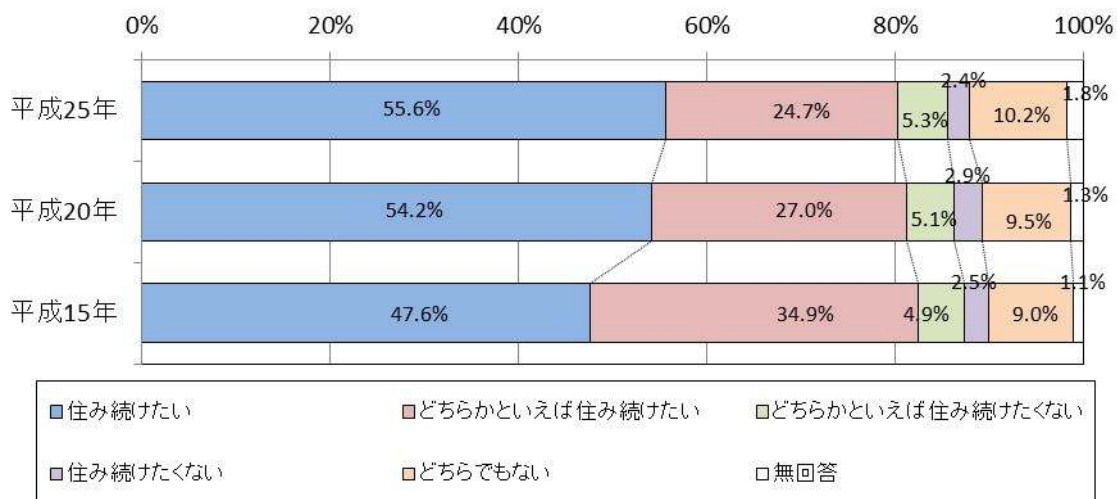
「住みよい」「どちらかといえば住みよい」を合わせた割合は、30年以上(82.7%)が最も高く、次いで1年未満(76.4%)、20～30年未満(74.8%)となっています。

		回答者（人）	住みよい	どちらかといえ 住みよい	どちらかといえ 住みにくい	住みにくい	どちらでもない	無回答
全 体		1,095	37.6%	39.8%	7.7%	4.6%	8.2%	2.1%
地域別	都市地域	700	38.6%	42.0%	6.3%	4.6%	7.9%	0.7%
	都市周辺地域	231	42.0%	33.8%	9.5%	5.2%	9.5%	0.0%
	中山間地域	136	31.6%	44.9%	11.8%	3.7%	8.1%	0.0%
	無回答	28	7.1%	10.7%	7.1%	3.6%	7.1%	64.3%
性別	男性	490	36.5%	41.4%	8.6%	4.7%	8.4%	0.4%
	女性	557	39.9%	40.8%	7.0%	3.9%	7.9%	0.5%
	無回答	48	22.9%	12.5%	6.3%	10.4%	10.4%	37.5%
年 齢	18歳・19歳	1	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	20歳代	41	29.3%	36.6%	17.1%	17.1%	0.0%	0.0%
	30歳代	104	38.5%	40.4%	6.7%	8.7%	5.8%	0.0%
	40歳代	149	33.6%	45.6%	8.1%	3.4%	8.7%	0.7%
	50歳代	133	34.6%	40.6%	9.0%	3.8%	11.3%	0.8%
	60～64歳	141	30.5%	47.5%	7.1%	5.0%	9.2%	0.7%
	65～74歳	273	42.5%	39.9%	7.3%	2.2%	7.3%	0.7%
	75歳以上	227	45.4%	34.8%	7.0%	3.5%	9.3%	0.0%
無回答	26	3.8%	7.7%	0.0%	11.5%	7.7%	69.2%	
職 業	農林漁業	34	41.2%	44.1%	5.9%	2.9%	2.9%	2.9%
	製造業	107	26.2%	43.9%	14.0%	8.4%	7.5%	0.0%
	建設業・鉱業	53	41.5%	34.0%	9.4%	9.4%	5.7%	0.0%
	商業（小売・卸売）	50	44.0%	44.0%	4.0%	4.0%	4.0%	0.0%
	金融業・保険業	15	40.0%	40.0%	0.0%	13.3%	6.7%	0.0%
	サービス業	115	35.7%	39.1%	9.6%	6.1%	9.6%	0.0%
	運輸通信業	20	35.0%	50.0%	10.0%	0.0%	5.0%	0.0%
	公務員・団体職員	51	41.2%	45.1%	3.9%	3.9%	5.9%	0.0%
	家事専業	149	38.9%	43.0%	5.4%	4.0%	8.1%	0.7%
	無職	379	41.4%	38.3%	6.6%	3.4%	10.3%	0.0%
	学生	2	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	その他	77	36.4%	37.7%	13.0%	2.6%	9.1%	1.3%
無回答	43	18.6%	23.3%	4.7%	2.3%	4.7%	46.5%	
世帯 構成	一人住まい	241	36.5%	36.1%	11.2%	7.1%	8.7%	0.4%
	夫婦のみ	304	39.8%	43.1%	5.6%	2.3%	8.9%	0.3%
	二世帯同居（子どもと同居）	366	40.2%	40.4%	7.7%	5.2%	6.3%	0.3%
	二世帯同居（親と同居）	50	28.0%	52.0%	6.0%	4.0%	10.0%	0.0%
	三世帯同居	57	40.4%	43.9%	3.5%	3.5%	8.8%	0.0%
	その他	31	38.7%	35.5%	6.5%	9.7%	9.7%	0.0%
	無回答	46	15.2%	17.4%	10.9%	0.0%	13.0%	43.5%
居 住 年 数	1年未満	17	52.9%	23.5%	5.9%	11.8%	5.9%	0.0%
	1～10年未満	101	30.7%	35.6%	10.9%	8.9%	13.9%	0.0%
	10～20年未満	87	26.4%	44.8%	12.6%	4.6%	11.5%	0.0%
	20～30年未満	115	31.3%	43.5%	11.3%	8.7%	5.2%	0.0%
	30年以上	716	41.9%	40.8%	6.4%	3.2%	7.4%	0.3%
	無回答	59	22.0%	25.4%	3.4%	3.4%	10.2%	35.6%

【設問9】 これからも本市に住み続けたいと思いますか？

「住み続けたい」が55.6% 「どちらかといえば住み続けたい」が24.7%で、80.3%の人が、おおむね住み続けたいと回答されています。

前回(平成20年)調査と比較すると「住み続けたい」が1.4ポイント上がっていますが、「住み続けたい」「どちらかといえば住み続けたい」を合わせた割合は、81.2%から0.9ポイント下がっています。



《地域別》

「住み続けたい」「どちらかといえば住み続けたい」を合わせた割合は、中山間地域(85.3%)が最も高く、次いで都市周辺地域(81.8%)、都市地域(81.3%)となっています。

《年齢別》

「住み続けたい」「どちらかといえば住み続けたい」を合わせた割合は、75歳以上(88.6%)が最も高く、次いで65～74歳(88.2%)、60～64歳(80.1%)で高くなっています。

《職業別》

「住み続けたい」「どちらかといえば住み続けたい」を合わせた割合は、農林漁業(94.1%)で最も高く、次いで無職(87.1%)、家事専業(85.3%)となっています。

《世帯構成別》

「住み続けたい」「どちらかといえば住み続けたい」を合わせた割合は、夫婦(87.5%)のみが最も高く、次いで三世帯同居(85.9%)、二世帯同居(子どもと同居)(84.5%)となっています。

《居住年数別》

「住み続けたい」「どちらかといえば住み続けたい」を合わせた割合は、30年以上(88.9%)が最も高く、次いで20～30年未満(73.9%)、10～20年未満(72.4%)となっています。

		回答者（人）	住み続けたい	どちらかといえば住み続けたい	どちらかといえぱ住み続けたくない	住み続けたくない	どちらでもない	無回答
全体		1,095	55.6%	24.7%	5.3%	2.4%	10.2%	1.8%
地域別	都市地域	700	54.7%	26.6%	5.4%	2.6%	10.4%	0.3%
	都市周辺地域	231	62.3%	19.5%	5.2%	1.7%	11.3%	0.0%
	中山間地域	136	58.1%	27.2%	5.1%	2.2%	7.4%	0.0%
	無回答	28	10.7%	7.1%	3.6%	3.6%	10.7%	64.3%
性別	男性	490	56.5%	25.3%	6.5%	2.4%	8.8%	0.4%
	女性	557	57.1%	25.5%	4.3%	1.8%	11.3%	0.0%
	無回答	48	29.2%	8.3%	4.2%	8.3%	12.5%	37.5%
年齢	18歳・19歳	1	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	20歳代	41	29.3%	24.4%	19.5%	9.8%	17.1%	0.0%
	30歳代	104	54.8%	24.0%	5.8%	3.8%	11.5%	0.0%
	40歳代	149	45.6%	28.9%	5.4%	1.3%	18.8%	0.0%
	50歳代	133	51.1%	27.8%	6.8%	3.8%	10.5%	0.0%
	60～64歳	141	47.5%	32.6%	6.4%	0.7%	12.1%	0.7%
	65～74歳	273	63.7%	24.5%	5.1%	1.5%	4.8%	0.4%
	75歳以上	227	70.5%	18.1%	1.8%	1.8%	7.9%	0.0%
	無回答	26	7.7%	3.8%	0.0%	7.7%	11.5%	69.2%
職業	農林漁業	34	79.4%	14.7%	2.9%	0.0%	2.9%	0.0%
	製造業	107	47.7%	26.2%	7.5%	5.6%	13.1%	0.0%
	建設業・鉱業	53	52.8%	22.6%	11.3%	0.0%	11.3%	1.9%
	商業（小売・卸売）	50	58.0%	22.0%	6.0%	6.0%	8.0%	0.0%
	金融業・保険業	15	26.7%	20.0%	13.3%	13.3%	26.7%	0.0%
	サービス業	115	45.2%	33.0%	5.2%	2.6%	13.9%	0.0%
	運輸通信業	20	65.0%	20.0%	5.0%	0.0%	10.0%	0.0%
	公務員・団体職員	51	35.3%	39.2%	7.8%	3.9%	13.7%	0.0%
	家事専業	149	59.1%	26.2%	4.0%	1.3%	9.4%	0.0%
	無職	379	65.2%	21.9%	3.7%	1.6%	7.7%	0.0%
	学生	2	0.0%	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	その他	77	51.9%	24.7%	7.8%	0.0%	15.6%	0.0%
	無回答	43	27.9%	16.3%	0.0%	4.7%	7.0%	44.2%
世帯構成	一人住まい	241	49.4%	23.2%	7.5%	5.0%	14.9%	0.0%
	夫婦のみ	304	62.2%	25.3%	4.6%	0.7%	7.2%	0.0%
	二世帯同居（子どもと同居）	366	56.6%	27.9%	4.9%	2.5%	7.9%	0.3%
	二世帯同居（親と同居）	50	52.0%	32.0%	4.0%	2.0%	10.0%	0.0%
	三世帯同居	57	68.4%	17.5%	0.0%	0.0%	14.0%	0.0%
	その他	31	58.1%	12.9%	12.9%	3.2%	12.9%	0.0%
	無回答	46	23.9%	10.9%	4.3%	2.2%	17.4%	41.3%
居住年数	1年未満	17	29.4%	11.8%	17.6%	5.9%	35.3%	0.0%
	1～10年未満	101	33.7%	25.7%	13.9%	6.9%	19.8%	0.0%
	10～20年未満	87	40.2%	32.2%	5.7%	1.1%	20.7%	0.0%
	20～30年未満	115	39.1%	34.8%	7.0%	3.5%	14.8%	0.9%
	30年以上	716	65.9%	23.0%	3.5%	1.5%	6.0%	0.0%
	無回答	59	30.5%	15.3%	5.1%	3.4%	13.6%	32.2%

【設問10】 あなたがお住まいの地域内で、誇りに思うものは何ですか？

「景観・自然環境」を選択した人の割合が 47.1%と最も多く、次いで「地域内に暮らす人々」(26.7%)「地域内の諸行事」(14.8%)となっている一方、「誇りに思うものはない」(19.2%)が第3位となっています。

項目	全体	都市地域	都市周辺地域	中山間地域
地域内の景観・自然環境	47.1%	42.1%	54.5%	66.9%
地域内に暮らす人々	26.7%	25.1%	32.9%	28.7%
地域内に誇りに思うものはない	19.2%	20.4%	19.9%	12.5%
地域内の諸行事（祭り・イベント等）	14.8%	14.9%	13.9%	17.6%
地域内の助け合いなどの社会関係	12.7%	10.3%	16.9%	19.9%
地域内の産業	12.4%	17.0%	6.5%	1.5%
地域内の名所・旧跡	8.8%	8.4%	8.2%	12.5%
地域内の特産物（農林水産物・加工品等）	7.4%	7.1%	6.9%	10.3%
地域内出身の著名人	3.9%	4.4%	3.9%	2.2%
その他のもの	3.6%	3.7%	3.0%	3.7%
対象者数	1,095人	700人	231人	136人

※複数選択可能で、割合は、各項目を選択した人数を、それぞれの対象者数で除したものです。

【設問11】 あなたがお住まいの地域の日常生活に関する施設やサービスについて、困っていることはありますか？

「買い物が不便」を選択した人の割合が 24.7%と最も多く、次いで「仲間と集まる場所がない」(22.3%)「医療体制に不安」(20.4%)となっています。

項目	全体	都市地域	都市周辺地域	中山間地域
スーパーなどが遠く、買い物が不便	24.7%	20.3%	31.6%	39.0%
仲間と気軽に集まる場所がない	22.3%	24.3%	18.6%	16.9%
病院が遠いなど、医療体制に不安	20.4%	10.4%	35.9%	46.3%
身近に預貯金を引き出せる金融店舗がない	11.0%	8.0%	22.1%	10.3%
子どもが少ないので、遊び相手の確保など子育て環境に不安	9.6%	8.1%	12.1%	14.7%
高齢者向けの福祉サービス（デイサービス、ショートステイ等）が利用しづらい	7.6%	7.6%	7.8%	8.1%
高校が遠く、子どもが自宅から通学しづらい	6.6%	2.6%	14.3%	14.0%
下水道や合併浄化槽など生活排水処理施設が整備さ	6.4%	3.7%	10.4%	14.0%
小学校・中学校が遠く通学に不便	5.1%	2.1%	13.4%	5.9%
小学校・中学校が少人数で集団活動や学習面で不安	3.2%	1.3%	7.8%	6.6%
その他	11.5%	13.9%	9.5%	5.9%
対象者数	1,095人	700人	231人	136人

※複数選択可能で、割合は、各項目を選択した人数を、それぞれの対象者数で除したものです。

3. 現在の満足度や今後の重要度など

【設問12】あなたが感じておられる現在の満足度と、今後の生活にとっての重要度をお聞かせください。

本市の取り組みに対する満足度や今後の重要度を調査するため、36項目の施策を評価いただきました。

〔満足度・重要度の分析の見方〕

設問12では、回答結果を数値化（以下「評価点」といいます。）しています。

評価点は、次のとおり選択肢に点数を付けて、その平均値で満足度と重要度を比較しています。評価点の数値が、大きければ満足度（重要度）は高く、小さければ満足度（重要度）は低くなります。

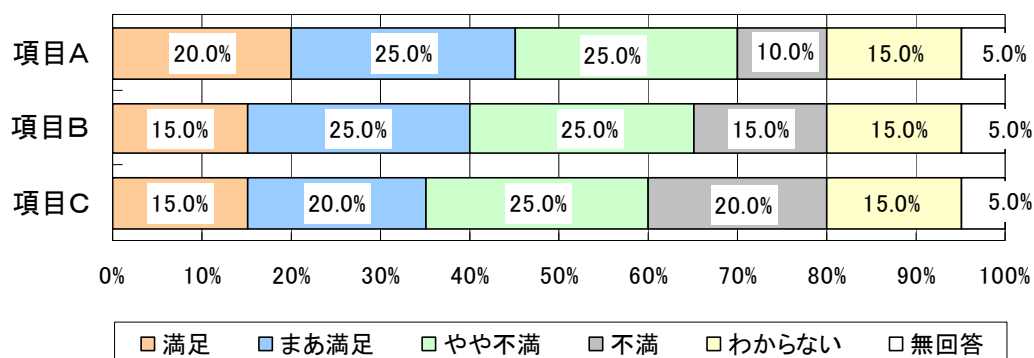
満 足 度	
選 択 肢	点 数
満 足	10
まあ満足	5
やや不満	-5
不 満	-10
わからない	0

重 要 度	
選 択 肢	点 数
重 要	10
やや重要	5
あまり重要でない	-5
重要でない	-10
わからない	0

〔算式：加重平均〕 ※ 重要度も同じ

{ (「満足」の数×10) + (「まあ満足」の数×5) + (「やや不満」の数×(-5)) + (「不満」の数×(-10)) + (「わからない」の数×0) } ÷ 「無回答を除く回答者の数」

〔例〕



上記の例で、回答者を100人とすると、評価点は以下のとおりです。

- ・項目A … 評価点 1.05 ※項目A～Cのうち Aの満足度が一番高い
 ${ (20 \times 10) + (25 \times 5) + (25 \times (-5)) + (10 \times (-10)) + (15 \times 0) } \div 「95」 = 1.05$
- ・項目B … 評価点 0.00
 ${ (15 \times 10) + (25 \times 5) + (25 \times (-5)) + (15 \times (-10)) + (15 \times 0) } \div 「95」 = 0.00$
- ・項目C … 評価点 -0.79 ※項目A～Cのうち Cの満足度が一番低い
 ${ (15 \times 10) + (20 \times 5) + (25 \times (-5)) + (20 \times (-10)) + (15 \times 0) } \div 「95」 = -0.79$

■ 現在の満足度について

満足度が高い項目

順位	全 体		都市地域		都市周辺地域		中山間地域	
1位	上水道の整備	4.07	上水道の整備	5.21	上水道の整備	2.31	消防・救急体制	2.71
2位	下水道・排水施設の整備	3.49	下水道・排水施設の整備	4.21	下水道・排水施設の整備	2.30	下水道・排水施設の整備	2.29
3位	消防・救急体制	2.80	消防・救急体制	3.17	消防・救急体制	1.71	道路の整備	1.85
4位	道路の整備	1.90	道路の整備	2.29	幼児教育や義務教育	1.41	幼児教育や義務教育	1.82
5位	幼児教育や義務教育	1.66	河川・水路の整備	2.04	青少年の健全育成	1.25	上水道の整備	1.47
6位	CATV等情報化への対応	1.58	CATV等情報化への対応	1.99	健康づくり活動	0.94	防犯や交通安全対策の推進	1.08
7位	健康づくり活動	1.36	公園や緑地などの整備	1.93	スポーツ等の振興	0.90	青少年の健全育成	0.88
8位	スポーツ等の振興	1.36	幼児教育や義務教育	1.79	コミュニティ活動の充実	0.88	廃棄物処理対策等の取組み	0.87
9位	公園や緑地などの整備	1.26	病院等の医療体制	1.73	道路の整備	0.75	コミュニティ活動の充実	0.85
10位	河川・水路の整備	1.22	スポーツ等の振興	1.64	CATV等情報化への対応	0.69	健康づくり活動	0.84

全体では「上水道の整備」が最も高く、次いで「下水道・排水施設の整備」「消防・救急体制」となっており、前回調査(平成20年)との比較では、ほぼ同様の回答ですが、「幼児教育や義務教育:第12→5位」が大きく順位を上げています。

各地域においても、同様の回答で、中山間地域では「消防・救急体制」が最も高くなっています。

満足度が低い項目

順位	全 体		都市地域		都市周辺地域		中山間地域	
36位	徳山駅中心の市街地活性化	-6.19	徳山駅中心の市街地活性化	-6.56	徳山駅中心の市街地活性化	-5.77	徳山駅中心の市街地活性化	-5.13
35位	商業の振興	-2.77	商業の振興	-3.10	商業の振興	-2.21	バスや鉄道などの公共交通機関	-3.39
34位	観光の振興	-2.29	観光の振興	-2.57	バスや鉄道などの公共交通機関	-2.12	企業誘致や起業家への支援	-2.46
33位	企業誘致や起業家への支援	-2.14	企業誘致や起業家への支援	-2.19	観光の振興	-2.06	商業の振興	-2.35
32位	行財政改革の推進	-1.70	行財政改革の推進	-1.73	企業誘致や起業家への支援	-1.98	農林業の振興	-1.97
31位	市政参画や協働の推進	-1.03	市政参画や協働の推進	-1.17	行財政改革の推進	-1.91	病院等の医療体制	-1.92
30位	バスや鉄道などの公共交通機関	-1.02	農林業の振興	-0.59	農林業の振興	-1.40	観光の振興	-1.62
29位	農林業の振興	-0.92	国際交流など国際化	-0.44	病院等の医療体制	-1.19	行財政改革の推進	-1.59
28位	子育て支援や少子化対策	-0.61	子育て支援や少子化対策	-0.39	国際交流など国際化	-0.98	子育て支援や少子化対策	-1.26
27位	国際交流など国際化	-0.59	水産業の振興	-0.27	住環境の整備など	-0.95	工業の振興	-0.81

全体では「徳山駅中心の市街地活性化」が最も低く、次いで「商業の振興」「観光の振興」となっており、前回調査と、ほぼ同様の回答です。

各地域においても、ほぼ同様の回答で、都市周辺地域及び中山間地域では「バスや鉄道などの公共交通機関」に対する満足度が低くなっています。

◆現在の満足度について

項目	全体		都市地域		都市周辺地域		中山間地域	
	評価点	順位	評価点	順位	評価点	順位	評価点	順位
1 青少年の健全育成	0.95	13	0.88	15	1.25	5	0.88	7
2 幼児教育や義務教育	1.66	5	1.79	8	1.41	4	1.82	4
3 生涯学習の推進	0.66	15	0.68	17	0.45	12	0.81	12
4 文化・芸術活動	0.60	17	0.65	18	0.57	11	0.26	17
5 スポーツ等の振興	1.36	8	1.64	10	0.90	7	0.64	14
6 国際交流など国際化	-0.59	27	-0.44	29	-0.98	28	-0.80	26
7 道路の整備	1.90	4	2.29	4	0.75	9	1.85	3
8 公園や緑地などの整備	1.26	9	1.93	7	-0.09	18	0.00	19
9 バスや鉄道など公共交通機関	-1.02	30	-0.14	26	-2.12	34	-3.39	35
10 住環境の整備など	0.30	19	0.87	16	-0.95	27	-0.50	23
11 上水道の整備	4.07	1	5.21	1	2.31	1	1.47	5
12 下水道・排水施設の整備	3.49	2	4.21	2	2.30	2	2.29	2
13 河川・水路の整備	1.22	10	2.04	5	-0.33	21	-0.38	22
14 廃棄物処理対策等の取組み	1.06	12	1.32	13	0.29	14	0.87	8
15 C A T V等情報化への対応	1.58	6	1.99	6	0.69	10	0.81	11
16 高齢者福祉の充実	0.21	23	0.32	22	-0.39	22	0.74	13
17 障害者福祉の充実	0.21	22	0.55	20	-0.69	24	0.00	19
18 子育て支援や少子化対策	-0.61	28	-0.39	28	-0.84	25	-1.26	28
19 母子家庭等福祉の充実	0.24	20	0.43	21	-0.14	20	-0.04	21
20 コミュニティ活動の充実	1.16	11	1.33	12	0.88	8	0.85	9
21 健康づくり活動	1.36	7	1.59	11	0.94	6	0.84	10
22 病院等の医療体制	0.63	16	1.73	9	-1.19	29	-1.92	31
23 防犯や交通安全対策の推進	0.87	14	1.01	14	0.33	13	1.08	6
24 防災体制の充実	0.44	18	0.58	19	0.02	17	0.34	16
25 消防・救急体制	2.80	3	3.17	3	1.71	3	2.71	1
26 行政相談や消費者相談体制	0.18	24	0.21	23	-0.12	19	0.26	18
27 徳山駅中心の市街地活性化	-6.19	36	-6.56	36	-5.77	36	-5.13	36
28 工業の振興	0.04	25	0.16	25	0.02	16	-0.81	27
29 農林業の振興	-0.92	29	-0.59	30	-1.40	30	-1.97	32
30 水産業の振興	-0.33	26	-0.27	27	-0.43	23	-0.65	24
31 商業の振興	-2.77	35	-3.10	35	-2.21	35	-2.35	33
32 企業誘致や起業家への支援	-2.14	33	-2.19	33	-1.98	32	-2.46	34
33 観光の振興	-2.29	34	-2.57	34	-2.06	33	-1.62	30
34 市政参画や協働の推進	-1.03	31	-1.17	31	-0.93	26	-0.78	25
35 人権尊重と男女共同参画	0.23	21	0.17	24	0.12	15	0.52	15
36 行財政改革の推進	-1.70	32	-1.73	32	-1.91	31	-1.59	29
満足度評価点の平均点（項目1～36）	0.25	*	0.49	*	-0.27	*	-0.18	*
37 周南市を総合的に評価した満足度	-1.24	*	-0.91	*	-2.09	*	-1.63	*

■ 現在の満足度について（旧市町別）

満足度が高い項目

順位	全 体		徳山地域		新南陽地域		熊毛地域		鹿野地域	
1位	上水道の整備	4.07	上水道の整備	4.61	上水道の整備	5.32	消防・救急体制	1.85	上水道の整備	3.15
2位	下水道・排水施設の整備	3.49	下水道・排水施設の整備	3.56	下水道・排水施設の整備	4.80	幼児教育や義務教育	1.42	道路の整備	2.59
3位	消防・救急体制	2.80	消防・救急体制	2.95	消防・救急体制	2.87	健康づくり活動	1.39	消防・救急体制	2.41
4位	道路の整備	1.90	道路の整備	2.08	河川・水路の整備	2.14	下水道・排水施設の整備	1.36	下水道・排水施設の整備	2.22
5位	幼児教育や義務教育	1.66	幼児教育や義務教育	1.84	道路の整備	1.79	コミュニティ活動の充実	1.12	高齢者福祉の充実	2.04
6位	CATV等情報化への対応	1.58	CATV等情報化への対応	1.64	CATV等情報化への対応	1.75	青少年の健全育成	1.00	工業の振興	1.67
7位	健康づくり活動	1.36	スポーツ等の振興	1.45	健康づくり活動	1.57	生涯学習の推進	0.87	CATV等情報化への対応	1.48
8位	スポーツ等の振興	1.36	コミュニティ活動の充実	1.43	廃棄物処理対策等の取組み	1.55	道路の整備	0.87	健康づくり活動	1.48
9位	公園や緑地などの整備	1.26	公園や緑地などの整備	1.36	幼児教育や義務教育	1.54	スポーツ等の振興	0.73	防犯や交通安全対策の推進	1.35
10位	河川・水路の整備	1.22	健康づくり活動	1.27	スポーツ等の振興	1.46	CATV等情報化への対応	0.71	防災体制の充実	1.30

全体で上位を占める「上水道の整備」「下水道・排水施設の整備」「消防・救急体制」「道路の整備」は、徳山・新南陽・鹿野地域でも、ほぼ同様ですが、熊毛地域では「上水道の整備」が23位と大きく下回っています。

前回調査との比較では、全体では、ほぼ同様の回答ですが、新南陽地域の「廃棄物処理対策等の取組み：第20→8位」、熊毛地域の「幼児教育や義務教育：第12→2位」「健康づくり活動：第11→3位」鹿野地域の「工業の振興：第22→6位」が大きく順位を上げています。

満足度が低い項目

順位	全 体		徳山地域		新南陽地域		熊毛地域		鹿野地域	
36位	徳山駅中心の市街地活性化	-6.19	徳山駅中心の市街地活性化	-6.73	徳山駅中心の市街地活性化	-5.33	徳山駅中心の市街地活性化	-5.55	徳山駅中心の市街地活性化	-3.70
35位	商業の振興	-2.77	商業の振興	-3.25	商業の振興	-1.91	バスや鉄道などの公共交通機関	-3.25	病院等の医療体制	-3.10
34位	観光の振興	-2.29	観光の振興	-2.82	行財政改革の推進	-1.73	行財政改革の推進	-2.57	バスや鉄道などの公共交通機関	-2.78
33位	企業誘致や起業家への支援	-2.14	企業誘致や起業家への支援	-2.41	企業誘致や起業家への支援	-1.51	企業誘致や起業家への支援	-2.38	行財政改革の推進	-1.67
32位	行財政改革の推進	-1.70	行財政改革の推進	-1.62	観光の振興	-1.15	商業の振興	-2.33	商業の振興	-1.30
31位	市政参画や協働の推進	-1.03	市政参画や協働の推進	-1.20	市政参画や協働の推進	-0.84	観光の振興	-2.20	企業誘致や起業家への支援	-1.30
30位	バスや鉄道などの公共交通機関	-1.02	農林業の振興	-1.01	農林業の振興	-0.48	農林業の振興	-1.83	市政参画や協働の推進	-0.96
29位	農林業の振興	-0.92	子育て支援や少子化対策	-0.78	バスや鉄道などの公共交通機関	-0.45	病院等の医療体制	-1.78	国際交流など国際化	-0.74
28位	子育て支援や少子化対策	-0.61	バスや鉄道などの公共交通機関	-0.69	人権尊重と男女共同参画	-0.25	住環境の整備など	-1.41	観光の振興	-0.58
27位	国際交流など国際化	-0.59	国際交流など国際化	-0.62	国際交流など国際化	-0.25	国際交流など国際化	-1.12	子育て支援や少子化対策	-0.37

全体で満足度が低い「徳山駅中心の市街地活性化」「商業の振興」「観光の振興」「企業誘致や起業家への支援」「行財政改革の推進」は、徳山・新南陽地域でも、ほぼ同様ですが、熊毛地域で「バスや鉄道などの公共交通機関」、鹿野地域で「病院等の医療体制」への満足度が低くなっています。

前回調査との比較では、ほぼ同様の回答ですが、徳山地域の「バスや鉄道などの交通機関：第19→28位」、熊毛地域の「住環境の整備など：第16→28位」が大きく順位を下げています。

◆現在の満足度について（旧市町別）

項目	全体		徳山地域		新南陽地域		熊毛地域		鹿野地域	
	評価点	順位	評価点	順位	評価点	順位	評価点	順位	評価点	順位
1 青少年の健全育成	0.95	13	0.96	13	0.98	13	1.00	6	0.93	12
2 幼児教育や義務教育	1.66	5	1.84	5	1.54	9	1.42	2	1.11	11
3 生涯学習の推進	0.66	15	0.81	16	0.12	24	0.87	7	-0.19	25
4 文化・芸術活動	0.60	17	0.75	17	0.36	23	0.23	14	0.00	21
5 スポーツ等の振興	1.36	8	1.45	7	1.46	10	0.73	9	0.74	15
6 国際交流など国際化	-0.59	27	-0.62	27	-0.25	27	-1.12	27	-0.74	29
7 道路の整備	1.90	4	2.08	4	1.79	5	0.87	8	2.59	2
8 公園や緑地などの整備	1.26	9	1.36	9	1.35	11	0.51	12	0.58	16
9 バスや鉄道など公共交通機関	-1.02	30	-0.69	28	-0.45	29	-3.25	35	-2.78	34
10 住環境の整備など	0.30	19	0.48	18	0.70	17	-1.41	28	0.00	21
11 上水道の整備	4.07	1	4.61	1	5.32	1	-0.77	23	3.15	1
12 下水道・排水施設の整備	3.49	2	3.56	2	4.80	2	1.36	4	2.22	4
13 河川・水路の整備	1.22	10	1.26	12	2.14	4	-0.59	21	0.19	19
14 廃棄物処理対策等の取組み	1.06	12	0.95	15	1.55	8	0.65	11	0.56	17
15 CATV等情報化への対応	1.58	6	1.64	6	1.75	6	0.71	10	1.48	7
16 高齢者福祉の充実	0.21	23	-0.07	24	0.88	15	0.13	16	2.04	5
17 障害者福祉の充実	0.21	22	0.21	22	0.83	16	-0.94	25	-0.19	25
18 子育て支援や少子化対策	-0.61	28	-0.78	29	-0.15	25	-0.51	20	-0.37	27
19 母子家庭等福祉の充実	0.24	20	0.25	21	0.44	21	-0.19	19	0.19	19
20 コミュニティ活動の充実	1.16	11	1.43	8	0.56	18	1.12	5	-0.19	24
21 健康づくり活動	1.36	7	1.27	10	1.57	7	1.39	3	1.48	7
22 病院等の医療体制	0.63	16	1.27	11	0.46	20	-1.78	29	-3.10	35
23 防犯や交通安全対策の推進	0.87	14	0.95	14	0.90	14	0.19	15	1.35	9
24 防災体制の充実	0.44	18	0.43	19	0.38	22	0.28	13	1.30	10
25 消防・救急体制	2.80	3	2.95	3	2.87	3	1.85	1	2.41	3
26 行政相談や消費者相談体制	0.18	24	0.03	23	0.48	19	-0.10	18	0.93	12
27 徳山駅中心の市街地活性化	-6.19	36	-6.73	36	-5.33	36	-5.55	36	-3.70	36
28 工業の振興	0.04	25	-0.29	25	1.17	12	-0.85	24	1.67	6
29 農林業の振興	-0.92	29	-1.01	30	-0.48	30	-1.83	30	0.56	17
30 水産業の振興	-0.33	26	-0.30	26	-0.20	26	-1.01	26	0.00	21
31 商業の振興	-2.77	35	-3.25	35	-1.91	35	-2.33	32	-1.30	31
32 企業誘致や起業家への支援	-2.14	33	-2.41	33	-1.51	33	-2.38	33	-1.30	31
33 観光の振興	-2.29	34	-2.82	34	-1.15	32	-2.20	31	-0.58	28
34 市政参画や協働の推進	-1.03	31	-1.20	31	-0.84	31	-0.76	22	-0.96	30
35 人権尊重と男女共同参画	0.23	21	0.35	20	-0.25	28	0.10	17	0.80	14
36 行財政改革の推進	-1.70	32	-1.62	32	-1.73	34	-2.57	34	-1.67	33
満足度評価点の平均点（項目1～36）	0.25	*	0.25	*	0.56	*	-0.46	*	0.25	*
37 周南市を総合的に評価した満足度	-1.24	*	-1.21	*	-0.58	*	-3.08	*	0.56	*

■ 今後の重要度について

順位	全 体		都市地域		都市周辺地域		中山間地域	
1位	病院等の医療体制	7.52	病院等の医療体制	7.39	病院等の医療体制	7.69	病院等の医療体制	7.99
2位	幼児教育や義務教育	7.14	幼児教育や義務教育	7.19	幼児教育や義務教育	7.37	子育て支援や少子化対策	7.19
3位	子育て支援や少子化対策	7.04	子育て支援や少子化対策	6.99	高齢者福祉の充実	7.20	消防・救急体制	7.14
4位	消防・救急体制	6.92	青少年の健全育成	6.92	消防・救急体制	7.20	高齢者福祉の充実	7.07
5位	高齢者福祉の充実	6.89	防犯や交通安全対策の推進	6.92	子育て支援や少子化対策	7.16	防災体制の充実	7.04
6位	防災体制の充実	6.87	防災体制の充実	6.90	防災体制の充実	6.86	青少年の健全育成	6.83
7位	青少年の健全育成	6.86	高齢者福祉の充実	6.79	青少年の健全育成	6.74	障害者福祉の充実	6.55
8位	防犯や交通安全対策の推進	6.72	消防・救急体制	6.79	廃棄物処理対策等の取組み	6.66	幼児教育や義務教育	6.49
9位	廃棄物処理対策等の取組み	6.26	徳山駅中心の市街地活性化	6.60	バスや鉄道などの公共交通機関	6.53	廃棄物処理対策等の取組み	6.48
10位	障害者福祉の充実	6.25	商業の振興	6.47	防犯や交通安全対策の推進	6.48	防犯や交通安全対策の推進	6.24

全体では「病院等の医療体制」が最も高く、次いで「幼児教育や義務教育」「子育て支援や少子化対策」「消防・救急体制」「高齢者福祉の充実」となっており、各地域においても、ほぼ同様の回答がされています。

また、前回調査との比較でも、ほぼ同様の回答がされています。

■ 今後の重要度について（旧市町別）

順位	全 体		徳山地域		新南陽地域		熊毛地域		鹿野地域	
1位	病院等の医療体制	7.52	病院等の医療体制	7.52	病院等の医療体制	7.58	病院等の医療体制	7.43	病院等の医療体制	8.04
2位	幼児教育や義務教育	7.14	幼児教育や義務教育	7.29	子育て支援や少子化対策	6.91	消防・救急体制	7.26	廃棄物処理対策等の取組み	7.50
3位	子育て支援や少子化対策	7.04	子育て支援や少子化対策	7.13	防災体制の充実	6.89	幼児教育や義務教育	7.26	下水道・排水施設の整備	7.08
4位	消防・救急体制	6.92	高齢者福祉の充実	7.12	幼児教育や義務教育	6.86	青少年の健全育成	7.17	消防・救急体制	6.88
5位	高齢者福祉の充実	6.89	徳山駅中心の市街地活性化	7.05	青少年の健全育成	6.53	子育て支援や少子化対策	7.04	子育て支援や少子化対策	6.46
6位	防災体制の充実	6.87	消防・救急体制	7.03	消防・救急体制	6.40	高齢者福祉の充実	6.90	上水道の整備	6.25
7位	青少年の健全育成	6.86	防災体制の充実	7.00	高齢者福祉の充実	6.39	バスや鉄道などの公共交通機関	6.78	高齢者福祉の充実	6.25
8位	防犯や交通安全対策の推進	6.72	青少年の健全育成	6.97	防犯や交通安全対策の推進	6.38	上水道の整備	6.76	河川・水路の整備	6.09
9位	廃棄物処理対策等の取組み	6.26	防犯や交通安全対策の推進	6.93	障害者福祉の充実	5.99	廃棄物処理対策等の取組み	6.73	障害者福祉の充実	6.04
10位	障害者福祉の充実	6.25	障害者福祉の充実	6.45	廃棄物処理対策等の取組み	5.93	防災体制の充実	6.70	防犯や交通安全対策の推進	6.04

全体で上位となる「病院等の医療体制」「子育て支援や少子化対策」「消防・救急体制」「高齢者福祉の充実」は、各地域においても、ほぼ同様ですが、熊毛地域では「上水道の整備」、鹿野地域では「下水道・排水施設の整備」の重要度が高くなっています。

また、前回調査との比較では、ほぼ同様の回答ですが、徳山地域の「徳山駅中心の市街地活性化:第11→5位」、鹿野地域の「下水道・排水施設の整備:第12→3位」が大きく順位を上げています。

◆今後の重要度について

項目	全 体		都市地域		都市周辺地域		中山間地域	
	評価点	順位	評価点	順位	評価点	順位	評価点	順位
1 青少年の健全育成	6.86	7	6.92	4	6.74	7	6.83	6
2 幼児教育や義務教育	7.14	2	7.19	2	7.37	2	6.49	8
3 生涯学習の推進	4.10	29	4.40	27	3.71	29	3.66	29
4 文化・芸術活動	3.34	33	3.62	33	2.82	34	2.98	35
5 スポーツ等の振興	3.30	34	3.60	34	2.51	36	3.22	34
6 国際交流など国際化	2.61	36	2.84	36	2.75	35	1.28	36
7 道路の整備	5.02	20	4.70	25	5.76	14	5.13	18
8 公園や緑地などの整備	4.85	23	4.88	22	5.28	17	3.99	26
9 バスや鉄道など公共交通機関	6.02	11	5.88	13	6.53	9	5.90	12
10 住環境の整備など	4.11	28	4.24	29	4.26	23	3.51	31
11 上水道の整備	5.28	17	5.03	20	5.95	13	5.66	14
12 下水道・排水施設の整備	5.68	14	5.44	16	6.26	12	6.16	11
13 河川・水路の整備	5.04	19	4.72	24	5.68	15	5.71	13
14 廃棄物処理対策等の取組み	6.26	9	6.16	12	6.66	8	6.48	9
15 CATV等情報化への対応	3.65	32	3.70	32	3.83	26	3.29	33
16 高齢者福祉の充実	6.89	5	6.79	7	7.20	3	7.07	4
17 障害者福祉の充実	6.25	10	6.25	11	6.29	11	6.55	7
18 子育て支援や少子化対策	7.04	3	6.99	3	7.16	5	7.19	2
19 母子家庭等福祉の充実	5.09	18	5.22	18	4.79	20	5.31	17
20 コミュニティ活動の充実	3.20	35	3.23	35	2.95	33	3.66	29
21 健康づくり活動	4.24	27	4.32	28	3.80	28	4.87	21
22 病院等の医療体制	7.52	1	7.39	1	7.69	1	7.99	1
23 防犯や交通安全対策の推進	6.72	8	6.92	5	6.48	10	6.24	10
24 防災体制の充実	6.87	6	6.90	6	6.86	6	7.04	5
25 消防・救急体制	6.92	4	6.79	8	7.20	4	7.14	3
26 行政相談や消費者相談体制	4.40	25	4.41	26	4.19	25	5.00	20
27 徳山駅中心の市街地活性化	5.79	13	6.60	9	4.56	21	4.30	24
28 工業の振興	5.30	16	5.49	15	5.00	19	4.87	23
29 農林業の振興	4.95	22	5.10	19	4.29	22	5.50	15
30 水産業の振興	4.29	26	4.78	23	3.45	31	3.38	32
31 商業の振興	5.99	12	6.47	10	5.21	18	5.04	19
32 企業誘致や起業家への支援	4.99	21	5.29	17	4.21	24	4.87	22
33 観光の振興	4.57	24	4.99	21	3.82	27	3.78	28
34 市政参画や協働の推進	3.92	30	3.99	30	3.67	30	4.24	25
35 人権尊重と男女共同参画	3.76	31	3.90	31	3.42	32	3.92	27
36 行財政改革の推進	5.58	15	5.68	14	5.34	16	5.41	16
重要度評価点の平均点（項目1～36）	5.21	*	5.30	*	5.10	*	5.10	*

◆今後の重要度について（旧市町別）

項 目	全 体		徳山地域		新南陽地域		熊毛地域		鹿野地域	
	評価点	順位	評価点	順位	評価点	順位	評価点	順位	評価点	順位
1 青少年の健全育成	6.86	7	6.97	8	6.53	5	7.17	4	5.87	11
2 幼児教育や義務教育	7.14	2	7.29	2	6.86	4	7.26	3	5.22	14
3 生涯学習の推進	4.10	29	4.21	29	4.33	24	3.71	30	3.33	25
4 文化・芸術活動	3.34	33	3.41	33	3.39	33	3.64	32	1.04	35
5 スポーツ等の振興	3.30	34	3.25	35	3.99	28	2.57	36	2.71	31
6 国際交流など国際化	2.61	36	2.80	36	2.20	36	2.95	34	0.00	36
7 道路の整備	5.02	20	4.85	23	4.76	18	6.10	14	5.42	13
8 公園や緑地などの整備	4.85	23	4.82	24	4.87	17	5.24	19	3.91	21
9 バスや鉄道など公共交通機関	6.02	11	6.05	13	5.71	12	6.78	7	4.38	20
10 住環境の整備など	4.11	28	4.27	28	3.72	31	4.57	24	2.80	30
11 上水道の整備	5.28	17	5.23	19	4.62	21	6.76	8	6.25	6
12 下水道・排水施設の整備	5.68	14	5.70	14	5.08	15	6.65	11	7.08	3
13 河川・水路の整備	5.04	19	4.99	20	4.52	22	6.21	13	6.09	8
14 廃棄物処理対策等の取組み	6.26	9	6.31	11	5.93	10	6.73	9	7.50	2
15 CATV等情報化への対応	3.65	32	3.77	31	3.23	34	3.95	28	3.75	22
16 高齢者福祉の充実	6.89	5	7.12	4	6.39	7	6.90	6	6.25	6
17 障害者福祉の充実	6.25	10	6.45	10	5.99	9	6.07	15	6.04	9
18 子育て支援や少子化対策	7.04	3	7.13	3	6.91	2	7.04	5	6.46	5
19 母子家庭等福祉の充実	5.09	18	5.31	18	4.65	19	5.05	20	5.00	15
20 コミュニティ活動の充実	3.20	35	3.35	34	2.77	35	3.20	33	3.75	22
21 健康づくり活動	4.24	27	4.37	26	3.93	29	4.27	25	4.78	19
22 病院等の医療体制	7.52	1	7.52	1	7.58	1	7.43	1	8.04	1
23 防犯や交通安全対策の推進	6.72	8	6.93	9	6.38	8	6.49	12	6.04	9
24 防災体制の充実	6.87	6	7.00	7	6.89	3	6.70	10	5.83	12
25 消防・救急体制	6.92	4	7.03	6	6.40	6	7.26	2	6.88	4
26 行政相談や消費者相談体制	4.40	25	4.62	25	3.63	32	4.80	22	4.79	16
27 徳山駅中心の市街地活性化	5.79	13	7.05	5	4.38	23	2.82	35	1.88	34
28 工業の振興	5.30	16	5.47	16	5.19	14	4.95	21	3.75	22
29 農林業の振興	4.95	22	4.92	22	4.95	16	5.35	17	4.79	16
30 水産業の振興	4.29	26	4.33	27	4.65	20	4.00	27	2.50	32
31 商業の振興	5.99	12	6.28	12	5.84	11	5.45	16	3.26	26
32 企業誘致や起業家への支援	4.99	21	5.35	17	4.30	25	4.75	23	2.92	29
33 観光の振興	4.57	24	4.97	21	4.01	27	3.71	30	3.26	26
34 市政参画や協働の推進	3.92	30	4.04	30	3.90	30	3.75	29	3.13	28
35 人権尊重と男女共同参画	3.76	31	3.66	32	4.28	26	4.08	26	2.17	33
36 行財政改革の推進	5.58	15	5.67	15	5.52	13	5.30	18	4.79	16
重要度評価点の平均点（項目1～36）	5.21	*	5.35	*	4.95	*	5.27	*	4.49	*

■ 今後のまちづくりにおいて重要度が高いもの

36項目の取り組みから、今後のまちづくりにおいて重要度が高い3項目を選択していただいた結果「徳山駅中心の市街地活性化」(37.1%)が最も多く、次いで「高齢者福祉の充実」(23.9%)「病院等の医療体制」(19.9%)「子育て支援や少子化対策」(16.5%)「バスや鉄道などの公共交通機関」(10.4%)となっており、各地域においても、ほぼ同様の回答がされています。

前回調査との比較では、ほぼ同様の回答ですが、全体の「防災体制の充実：第15→10位」、都市周辺地域の「河川・水路の整備：第16→7位」、中山間地域の「障害者福祉の充実：第18→6位」、が大きく順位を上げています。

順位	全 体		都市地域		都市周辺地域		中山間地域	
1位	徳山駅中心の市街地活性化	37.1%	徳山駅中心の市街地活性化	42.6%	高齢者福祉の充実	29.9%	病院等の医療体制	33.1%
2位	高齢者福祉の充実	23.9%	高齢者福祉の充実	22.9%	徳山駅中心の市街地活性化	29.4%	徳山駅中心の市街地活性化	25.0%
3位	病院等の医療体制	19.9%	病院等の医療体制	17.3%	病院等の医療体制	20.8%	高齢者福祉の充実	22.8%
4位	子育て支援や少子化対策	16.5%	子育て支援や少子化対策	16.3%	子育て支援や少子化対策	18.2%	バスや鉄道などの公共交通機関	17.6%
5位	バスや鉄道などの公共交通機関	10.4%	商業の振興	13.0%	バスや鉄道などの公共交通機関	13.9%	子育て支援や少子化対策	16.9%
6位	商業の振興	10.1%	青少年の健全育成	10.1%	幼児教育や義務教育	10.0%	障害者福祉の充実	9.6%
7位	青少年の健全育成	9.5%	幼児教育や義務教育	10.0%	河川・水路の整備	10.0%	農林業の振興	9.6%
8位	幼児教育や義務教育	9.5%	行財政改革の推進	9.1%	青少年の健全育成	9.5%	防災体制の充実	8.8%
9位	行財政改革の推進	8.5%	バスや鉄道などの公共交通機関	8.1%	下水道・排水施設の整備	9.5%	下水道・排水施設の整備	8.1%
10位	防災体制の充実	7.9%	防犯や交通安全対策の推進	7.3%	防災体制の充実	9.1%	行財政改革の推進	8.1%

◆今後のまちづくりにおいて重要度が高いもの

項 目	全体		都市地域		都市周辺地域		中山間地域	
	選択率	順位	選択率	順位	選択率	順位	選択率	順位
1 青少年の健全育成	9.5%	7	10.1%	6	9.5%	8	5.9%	14
2 幼児教育や義務教育などの充実	9.5%	7	10.0%	7	10.0%	6	5.9%	14
3 生涯学習の推進	1.6%	31	2.0%	28	0.9%	32	0.7%	31
4 文化・芸術活動の促進	2.2%	27	2.6%	25	1.7%	28	1.5%	28
5 スポーツ・レクリエーションの振興	1.2%	33	1.3%	33	0.9%	32	1.5%	28
6 国際交流など国際化への対応	0.6%	35	1.0%	34	0.0%	35	0.0%	33
7 道路の整備	6.3%	14	5.9%	16	7.8%	12	7.4%	11
8 公園や緑地などの整備	5.3%	16	4.4%	18	8.2%	11	5.1%	17
9 バスや鉄道など公共交通機関の利便性	10.4%	5	8.1%	9	13.9%	5	17.6%	4
10 住環境の整備や土地区画整理事業の推進	3.1%	24	2.9%	22	3.9%	22	2.9%	25
11 上水道の整備	2.7%	25	0.6%	35	6.9%	14	6.6%	12
12 下水道・排水施設の整備	4.8%	19	2.7%	24	9.5%	8	8.1%	9
13 河川・水路の整備	4.7%	20	3.1%	21	10.0%	6	3.7%	22
14 廃棄物処理対策や自然環境への取り組み	6.6%	12	6.6%	13	6.9%	14	6.6%	12
15 CATVや高速通信網など情報化への対応	2.4%	26	2.0%	28	2.2%	25	4.4%	20
16 高齢者福祉の充実	23.9%	2	22.9%	2	29.9%	1	22.8%	3
17 障害者福祉の充実	6.5%	13	6.1%	14	6.5%	17	9.6%	6
18 子育て支援や少子化対策の充実	16.5%	4	16.3%	4	18.2%	4	16.9%	5
19 母子・父子家庭等福祉の充実	3.5%	23	3.9%	20	2.2%	25	3.7%	22
20 コミュニティ活動の充実	1.6%	30	1.6%	31	1.7%	28	1.5%	28
21 健康づくり活動の推進	2.2%	27	2.6%	25	1.3%	31	2.2%	26
22 病院等の医療体制の充実	19.9%	3	17.3%	3	20.8%	3	33.1%	1
23 防犯や交通安全対策の推進	6.9%	11	7.3%	10	7.8%	12	4.4%	20
24 防災体制の充実	7.9%	10	7.3%	10	9.1%	10	8.8%	8
25 消防・救急体制の整備	5.0%	18	4.1%	19	5.6%	18	5.9%	14
26 行政相談や消費者相談体制の充実	1.6%	31	1.9%	30	1.7%	28	0.0%	33
27 徳山駅を中心とした中心市街地の活性化	37.1%	1	42.6%	1	29.4%	2	25.0%	2
28 工業の振興	4.5%	21	5.0%	17	3.0%	24	5.1%	17
29 農林業の振興	3.7%	22	2.9%	22	3.5%	23	9.6%	6
30 水産業の振興	1.0%	34	1.4%	32	0.4%	34	0.0%	33
31 商業の振興	10.1%	6	13.0%	5	5.6%	18	3.7%	22
32 企業誘致の推進や起業家への支援	6.3%	14	7.1%	12	5.2%	20	5.1%	17
33 観光の振興	5.3%	16	6.1%	14	4.3%	21	2.2%	26
34 市政への参画や市民と行政の協働の推進	2.0%	29	2.3%	27	2.2%	25	0.7%	31
35 人権の尊重と男女共同参画社会の実現	0.4%	36	0.4%	36	0.0%	35	0.0%	33
36 行財政改革の推進	8.5%	9	9.1%	8	6.9%	14	8.1%	9

4. 合併(平成15年4月)以前と現在との比較による充実度

【設問13】 合併(平成15年4月)以前と現在を比較した、充実度をお聞かせください。

本市の合併後の充実度を調査するため、合併前から居住している人(設問6で「本市に10年以上住んでいる」と回答)を対象に、36項目の取り組みを評価いただきました。

〔合併後の充実度の分析の見方〕

設問12と同様、次のとおり選択肢に点数を付け、その平均値で充実度を比較しています。点数が大きければ、合併後の充実度は高く、小さければ充実度は低くなります。

合併後の充実度	
選 択 肢	点 数
充実した	10
やや充実した	5
変わらない	0
やや後退した	-5
後退した	-10

〔算式：加重平均〕※ 算出例は、12ページを参照してください。

{ (「充実した」の数×10) + (「やや充実した」の数×5) +
(「変わらない」の数×0) + (「やや後退した」の数×(-5)) +
(「後退した」の数×(-10)) } ÷ 「無回答を除く回答者の数」

(2) 合併後の充実度について

充実度が高い項目

順位	全 体		都市地域		都市周辺地域		中山間地域	
1位	CATV等情報化への対応	1.65	CATV等情報化への対応	1.85	下水道・排水施設の整備	1.49	消防・救急体制	1.79
2位	廃棄物処理対策等の取組み	1.58	廃棄物処理対策等の取組み	1.73	CATV等情報化への対応	1.12	廃棄物処理対策等の取組み	1.67
3位	下水道・排水施設の整備	1.32	上水道の整備	1.34	上水道の整備	1.11	CATV等情報化への対応	1.54
4位	消防・救急体制	1.25	下水道・排水施設の整備	1.28	廃棄物処理対策等の取組み	1.10	健康づくり活動	1.36
5位	上水道の整備	1.24	消防・救急体制	1.23	病院等の医療体制	1.03	下水道・排水施設の整備	1.12
6位	健康づくり活動	1.07	病院等の医療体制	1.20	健康づくり活動	0.99	高齢者福祉の充実	1.06
7位	病院等の医療体制	1.02	健康づくり活動	1.02	消防・救急体制	0.95	上水道の整備	0.89
8位	高齢者福祉の充実	0.87	道路の整備	0.98	高齢者福祉の充実	0.87	生涯学習の推進	0.81
9位	道路の整備	0.85	スポーツ等の振興	0.82	防犯や交通安全対策の推進	0.77	スポーツ等の振興	0.75
10位	スポーツ等の振興	0.70	高齢者福祉の充実	0.81	文化・芸術活動	0.62	コミュニティ活動の充実	0.70

全体では「CATV等情報化への対応」が最も高く、次いで「廃棄物処理対策等の取組み」「下水道・排水施設の整備」「消防・救急体制」「上水道の整備」となっており、各地域においても、ほぼ同様の回答がされています。

充実度が低い項目

順位	全 体		都市地域		都市周辺地域		中山間地域	
36位	徳山駅中心の市街地活性化	-5.01	徳山駅中心の市街地活性化	-5.35	徳山駅中心の市街地活性化	-4.37	徳山駅中心の市街地活性化	-4.55
35位	商業の振興	-3.14	商業の振興	-3.35	商業の振興	-2.74	商業の振興	-2.88
34位	工業の振興	-1.86	工業の振興	-1.97	工業の振興	-1.54	工業の振興	-1.98
33位	企業誘致や起業家への支援	-1.65	企業誘致や起業家への支援	-1.86	水産業の振興	-1.18	農林業の振興	-1.95
32位	農林業の振興	-1.37	農林業の振興	-1.35	農林業の振興	-1.17	企業誘致や起業家への支援	-1.68
31位	水産業の振興	-1.28	水産業の振興	-1.35	企業誘致や起業家への支援	-1.10	バスや鉄道などの公共交通機関	-1.51
30位	観光の振興	-0.90	観光の振興	-1.05	バスや鉄道などの公共交通機関	-0.85	水産業の振興	-1.23
29位	バスや鉄道などの公共交通機関	-0.71	行財政改革の推進	-0.77	観光の振興	-0.49	観光の振興	-0.85
28位	行財政改革の推進	-0.65	市政参画や協働の推進	-0.52	行財政改革の推進	-0.33	行財政改革の推進	-0.62
27位	市政参画や協働の推進	-0.42	バスや鉄道などの公共交通機関	-0.52	市政参画や協働の推進	-0.17	河川・水路の整備	-0.51

全体では「徳山駅中心の市街地活性化」が最も低く、次いで「商業の振興」「工業の振興」「企業の誘致や起業家への支援」「農林業の振興」となっており、各地域においても、ほぼ同様の回答がされています。

◆合併後の充実度について

項 目	全 体		都市地域		都市周辺地域		中山間地域	
	評価点	順位	評価点	順位	評価点	順位	評価点	順位
1 青少年の健全育成	0.48	19	0.44	21	0.53	14	0.56	13
2 幼児教育や義務教育	0.54	16	0.54	20	0.49	15	0.61	12
3 生涯学習の推進	0.66	13	0.69	15	0.46	16	0.81	8
4 文化・芸術活動	0.70	11	0.76	11	0.62	10	0.52	14
5 スポーツ等の振興	0.70	10	0.82	9	0.37	19	0.75	9
6 国際交流など国際化	0.35	23	0.35	24	0.38	18	0.33	17
7 道路の整備	0.85	9	0.98	8	0.55	13	0.61	11
8 公園や緑地などの整備	0.42	21	0.61	18	-0.13	26	0.33	18
9 バスや鉄道など公共交通機関	-0.71	29	-0.52	27	-0.85	30	-1.51	31
10 住環境の整備など	0.51	18	0.72	13	0.35	21	-0.19	25
11 上水道の整備	1.24	5	1.34	3	1.11	3	0.89	7
12 下水道・排水施設の整備	1.32	3	1.28	4	1.49	1	1.12	5
13 河川・水路の整備	0.35	24	0.70	14	-0.13	25	-0.51	27
14 廃棄物処理対策等の取組み	1.58	2	1.73	2	1.10	4	1.67	2
15 C A T V等情報化への対応	1.65	1	1.85	1	1.12	2	1.54	3
16 高齢者福祉の充実	0.87	8	0.81	10	0.87	8	1.06	6
17 障害者福祉の充実	0.52	17	0.60	19	0.26	22	0.41	16
18 子育て支援や少子化対策	0.42	20	0.43	22	0.43	17	0.33	18
19 母子家庭等福祉の充実	0.37	22	0.39	23	0.35	20	0.19	22
20 コミュニティ活動の充実	0.64	15	0.65	17	0.56	12	0.70	10
21 健康づくり活動	1.07	6	1.02	7	0.99	6	1.36	4
22 病院等の医療体制	1.02	7	1.20	6	1.03	5	0.18	23
23 防犯や交通安全対策の推進	0.65	14	0.66	16	0.77	9	0.32	20
24 防災体制の充実	0.69	12	0.75	12	0.61	11	0.47	15
25 消防・救急体制	1.25	4	1.23	5	0.95	7	1.79	1
26 行政相談や消費者相談体制	0.26	25	0.34	25	0.05	24	0.23	21
27 徳山駅中心の市街地活性化	-5.01	36	-5.35	36	-4.37	36	-4.55	36
28 工業の振興	-1.86	34	-1.97	34	-1.54	34	-1.98	34
29 農林業の振興	-1.37	32	-1.35	32	-1.17	32	-1.95	33
30 水産業の振興	-1.28	31	-1.35	31	-1.18	33	-1.23	30
31 商業の振興	-3.14	35	-3.35	35	-2.74	35	-2.88	35
32 企業誘致や起業家への支援	-1.65	33	-1.86	33	-1.10	31	-1.68	32
33 観光の振興	-0.90	30	-1.05	30	-0.49	29	-0.85	29
34 市政参画や協働の推進	-0.42	27	-0.52	28	-0.17	27	-0.43	26
35 人権尊重と男女共同参画	0.00	26	-0.06	26	0.16	23	0.00	24
36 行財政改革の推進	-0.65	28	-0.77	29	-0.33	28	-0.62	28
満足度評価点の平均点（項目1～36）	0.06	*	0.08	*	0.04	*	-0.04	*

(3) 合併後の充実度について（旧市町別）

充実度が高い項目

順位	全 体		徳山地域		新南陽地域		熊毛地域		鹿野地域	
1位	CATV等情報化への対応	1.65	CATV等情報化への対応	1.80	CATV等情報化への対応	1.62	廃棄物処理対策等の取組み	1.09	下水道・排水施設の整備	2.08
2位	廃棄物処理対策等の取組み	1.58	廃棄物処理対策等の取組み	1.68	廃棄物処理対策等の取組み	1.51	CATV等情報化への対応	0.91	上水道の整備	1.67
3位	下水道・排水施設の整備	1.32	下水道・排水施設の整備	1.60	消防・救急体制	1.06	健康づくり活動	0.91	廃棄物処理対策等の取組み	1.67
4位	消防・救急体制	1.25	上水道の整備	1.56	健康づくり活動	0.85	コミュニティ活動の充実	0.82	CATV等情報化への対応	1.25
5位	上水道の整備	1.24	消防・救急体制	1.50	下水道・排水施設の整備	0.81	病院等の医療体制	0.68	スポーツ等の振興	1.04
6位	健康づくり活動	1.07	病院等の医療体制	1.39	上水道の整備	0.76	生涯学習の推進	0.59	道路の整備	1.04
7位	病院等の医療体制	1.02	道路の整備	1.20	防災体制の充実	0.64	幼児教育や義務教育	0.53	健康づくり活動	1.04
8位	高齢者福祉の充実	0.87	健康づくり活動	1.16	高齢者福祉の充実	0.57	高齢者福祉の充実	0.53	青少年の健全育成	0.83
9位	道路の整備	0.85	高齢者福祉の充実	1.04	河川・水路の整備	0.55	消防・救急体制	0.48	文化・芸術活動	0.63
10位	スポーツ等の振興	0.70	スポーツ等の振興	0.96	防犯や交通安全対策の推進	0.46	下水道・排水施設の整備	0.42	生涯学習の推進	0.43

全体で上位となる「CATV等情報化への対応」「廃棄物処理対策等の取組み」「下水道・排水施設の整備」「消防・救急体制」「上水道の整備」は、各地域においても、ほぼ同様ですが、熊毛地域では「コミュニティ活動の充実」の充実度が高くなっています。

充実度が低い項目

順位	全 体		徳山地域		新南陽地域		熊毛地域		鹿野地域	
36位	徳山駅中心の市街地活性化	-5.01	徳山駅中心の市街地活性化	-5.22	徳山駅中心の市街地活性化	-4.80	徳山駅中心の市街地活性化	-4.69	徳山駅中心の市街地活性化	-3.54
35位	商業の振興	-3.14	商業の振興	-3.49	商業の振興	-2.53	商業の振興	-2.77	バスや鉄道などの公共交通機関	-1.88
34位	工業の振興	-1.86	工業の振興	-1.95	企業誘致や起業家への支援	-1.64	工業の振興	-2.15	商業の振興	-1.67
33位	企業誘致や起業家への支援	-1.65	企業誘致や起業家への支援	-1.77	工業の振興	-1.62	農林業の振興	-1.88	河川・水路の整備	-1.52
32位	農林業の振興	-1.37	農林業の振興	-1.31	農林業の振興	-1.41	バスや鉄道などの公共交通機関	-1.70	企業誘致や起業家への支援	-1.46
31位	水産業の振興	-1.28	水産業の振興	-1.25	水産業の振興	-1.35	水産業の振興	-1.63	行財政改革の推進	-1.25
30位	観光の振興	-0.90	観光の振興	-0.95	行財政改革の推進	-1.26	企業誘致や起業家への支援	-1.18	市政参画や協働の推進	-1.25
29位	バスや鉄道などの公共交通機関	-0.71	バスや鉄道などの公共交通機関	-0.63	観光の振興	-0.88	河川・水路の整備	-1.09	農林業の振興	-1.04
28位	行財政改革の推進	-0.65	行財政改革の推進	-0.44	市政参画や協働の推進	-0.71	観光の振興	-0.76	工業の振興	-1.04
27位	市政参画や協働の推進	-0.42	市政参画や協働の推進	-0.27	バスや鉄道などの公共交通機関	-0.29	道路の整備	-0.58	人権尊重と男女共同参画	-0.65

全体で充実度が低い「徳山駅中心の市街地活性化」「商業の振興」「工業の振興」「企業誘致や起業家への支援」「農林業の振興」に対し、徳山・新南陽・熊毛地域でも、ほぼ同様の項目が下位となっています。

また、熊毛・鹿野地域では「バスや鉄道などの公共交通機関」に対する充実度が低くなっています。

◆合併後の充実度について（旧市町別）

項 目	全 体		徳山地域		新南陽地域		熊毛地域		鹿野地域	
	評価点	順位	評価点	順位	評価点	順位	評価点	順位	評価点	順位
1 青少年の健全育成	0.48	19	0.54	22	0.35	14	0.21	12	0.83	8
2 幼児教育や義務教育	0.54	16	0.64	20	0.24	19	0.53	7	0.42	12
3 生涯学習の推進	0.66	13	0.74	17	0.45	11	0.59	6	0.43	10
4 文化・芸術活動	0.70	11	0.93	11	0.26	18	0.16	13	0.63	9
5 スポーツ等の振興	0.70	10	0.96	10	0.30	16	-0.05	19	1.04	5
6 国際交流など国際化	0.35	23	0.44	25	0.15	22	0.27	11	0.43	10
7 道路の整備	0.85	9	1.20	7	0.43	12	-0.58	27	1.04	5
8 公園や緑地などの整備	0.42	21	0.75	16	-0.12	26	-0.37	23	-0.65	26
9 バスや鉄道など公共交通機関	-0.71	29	-0.63	29	-0.29	27	-1.70	32	-1.88	35
10 住環境の整備など	0.51	18	0.81	14	0.21	20	-0.43	24	-0.21	16
11 上水道の整備	1.24	5	1.56	4	0.76	6	0.10	16	1.67	2
12 下水道・排水施設の整備	1.32	3	1.60	3	0.81	5	0.42	10	2.08	1
13 河川・水路の整備	0.35	24	0.63	21	0.55	9	-1.09	29	-1.52	33
14 廃棄物処理対策等の取組み	1.58	2	1.68	2	1.51	2	1.09	1	1.67	2
15 C A T V等情報化への対応	1.65	1	1.80	1	1.62	1	0.91	2	1.25	4
16 高齢者福祉の充実	0.87	8	1.04	9	0.57	8	0.53	7	0.42	12
17 障害者福祉の充実	0.52	17	0.67	19	0.43	12	-0.26	21	0.20	14
18 子育て支援や少子化対策	0.42	20	0.68	18	-0.06	24	-0.05	19	0.00	15
19 母子家庭等福祉の充実	0.37	22	0.52	23	0.15	21	0.00	18	-0.42	22
20 コミュニティ活動の充実	0.64	15	0.76	15	0.32	15	0.82	4	-0.42	22
21 健康づくり活動	1.07	6	1.16	8	0.85	4	0.91	2	1.04	5
22 病院等の医療体制	1.02	7	1.39	6	0.29	17	0.68	5	-0.40	21
23 防犯や交通安全対策の推進	0.65	14	0.83	13	0.46	10	0.11	15	-0.21	16
24 防災体制の充実	0.69	12	0.83	12	0.64	7	0.11	14	-0.21	16
25 消防・救急体制	1.25	4	1.50	5	1.06	3	0.48	9	-0.21	16
26 行政相談や消費者相談体制	0.26	25	0.46	24	0.03	23	-0.27	22	-0.42	22
27 徳山駅中心の市街地活性化	-5.01	36	-5.22	36	-4.80	36	-4.69	36	-3.54	36
28 工業の振興	-1.86	34	-1.95	34	-1.62	33	-2.15	34	-1.04	28
29 農林業の振興	-1.37	32	-1.31	32	-1.41	32	-1.88	33	-1.04	28
30 水産業の振興	-1.28	31	-1.25	31	-1.35	31	-1.63	31	-0.63	25
31 商業の振興	-3.14	35	-3.49	35	-2.53	35	-2.77	35	-1.67	34
32 企業誘致や起業家への支援	-1.65	33	-1.77	33	-1.64	34	-1.18	30	-1.46	32
33 観光の振興	-0.90	30	-0.95	30	-0.88	29	-0.76	28	-0.21	16
34 市政参画や協働の推進	-0.42	27	-0.27	27	-0.71	28	-0.56	26	-1.25	30
35 人権尊重と男女共同参画	0.00	26	0.05	26	-0.09	25	0.05	17	-0.65	26
36 行財政改革の推進	-0.65	28	-0.44	28	-1.26	30	-0.55	25	-1.25	30
満足度評価点の平均点（項目1～36）	0.06	*	0.19	*	-0.12	*	-0.36	*	-0.17	*

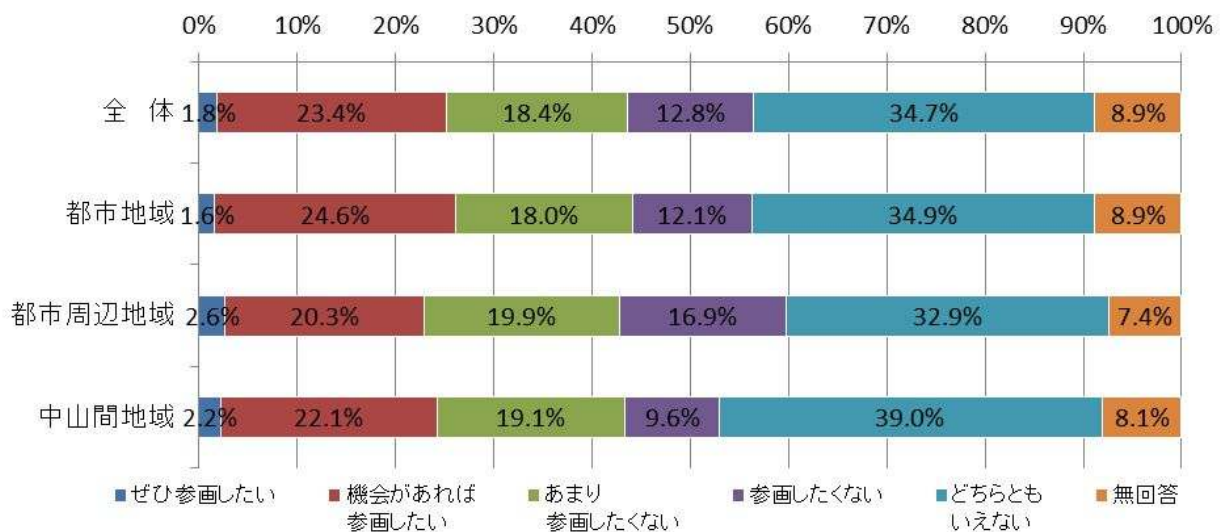
5. 日常生活における意識や行動など

■ 市政への市民参画

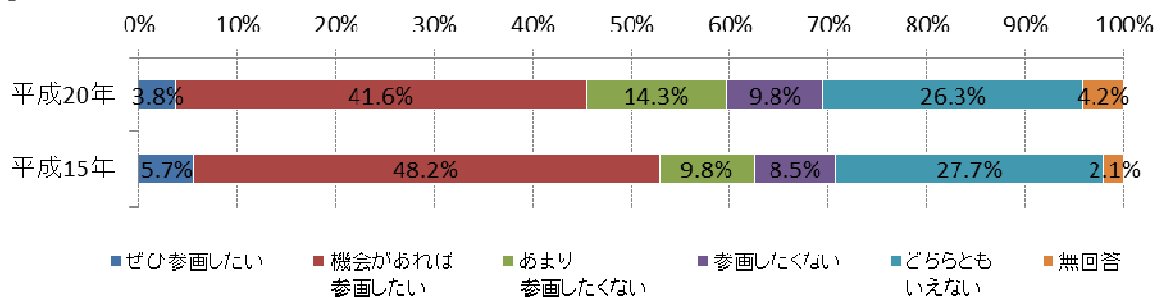
【設問14】 市政への市民参画についてどう思われますか？

「ぜひ参画したい」(1.8%)「機会があれば参画したい」(23.4%)を合わせた市民参画に積極的な割合が25.2%で、「あまり参画したくない」(18.4%)「参画したくない」(12.8%)を合わせた割合31.2%を6.0ポイント下回っています。

前回(平成20年)調査と比較して、市民参画に積極的な割合が20.2ポイント下回っています。



[参考]



《地域別》

「ぜひ参画したい」「機会があれば参画したい」を合わせた割合は、都市地域(26.2%)が最も高く、次いで中山間地域(24.3%)、都市周辺地域(22.9%)となっています。

《年齢別》

「ぜひ参画したい」「機会があれば参画したい」を合わせた割合は、30歳代(35.6%)が最も高く、次いで50歳代(35.3%)、20歳代(34.1%)となっています。

《職業別》

「ぜひ参画したい」「機会があれば参画したい」を合わせた割合は、公務員・団体職員(43.1%)が最も高く、次いで製造業(35.5%)、金融業・保険業(33.4%)となっています。

		回答者（人）	ぜひ 参画 したい	機会 があれば 参画 したい	参画 した く ない あまり	参画 した く ない	どちら とも いえ ない	無 回 答
全 体		1,095	1.8%	23.4%	18.4%	12.8%	34.7%	8.9%
地域別	都市地域	700	1.6%	24.6%	18.0%	12.1%	34.9%	8.9%
	都市周辺地域	231	2.6%	20.3%	19.9%	16.9%	32.9%	7.4%
	中山間地域	136	2.2%	22.1%	19.1%	9.6%	39.0%	8.1%
	無回答	28	0.0%	25.0%	14.3%	10.7%	25.0%	25.0%
性別	男性	490	2.7%	27.6%	20.8%	9.8%	32.2%	6.9%
	女性	557	1.3%	20.6%	17.2%	15.6%	36.6%	8.6%
	無回答	48	0.0%	12.5%	8.3%	10.4%	37.5%	31.3%
年 齢	18歳・19歳	1	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
	20歳代	41	0.0%	34.1%	14.6%	14.6%	29.3%	7.3%
	30歳代	104	1.9%	33.7%	21.2%	7.7%	32.7%	2.9%
	40歳代	149	2.7%	26.8%	16.8%	15.4%	34.2%	4.0%
	50歳代	133	3.0%	32.3%	22.6%	12.0%	28.6%	1.5%
	60～64歳	141	2.8%	20.6%	21.3%	9.2%	39.7%	6.4%
	65～74歳	273	1.5%	21.6%	19.4%	12.1%	36.6%	8.8%
	75歳以上	227	0.9%	14.1%	14.1%	17.2%	35.7%	18.1%
	無回答	26	0.0%	15.4%	15.4%	7.7%	30.8%	30.8%
職 業	農林漁業	34	2.9%	20.6%	23.5%	8.8%	35.3%	8.8%
	製造業	107	2.8%	32.7%	26.2%	11.2%	25.2%	1.9%
	建設業・鉱業	53	0.0%	18.9%	24.5%	7.5%	47.2%	1.9%
	商業（小売・卸売）	50	2.0%	28.0%	18.0%	12.0%	32.0%	8.0%
	金融業・保険業	15	6.7%	26.7%	13.3%	6.7%	46.7%	0.0%
	サービス業	115	1.7%	28.7%	14.8%	14.8%	32.2%	7.8%
	運輸通信業	20	0.0%	20.0%	30.0%	15.0%	35.0%	0.0%
	公務員・団体職員	51	3.9%	39.2%	21.6%	11.8%	19.6%	3.9%
	家事専業	149	0.7%	21.5%	20.1%	15.4%	35.6%	6.7%
	無職	379	1.8%	18.2%	15.3%	13.7%	37.7%	13.2%
	学生	2	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	50.0%
	その他	77	2.6%	27.3%	18.2%	11.7%	36.4%	3.9%
	無回答	43	0.0%	16.3%	14.0%	9.3%	32.6%	27.9%
	世 帯 構 成	一人住まい	241	0.4%	19.9%	14.1%	14.9%	36.5%
夫婦のみ		304	2.3%	25.3%	23.4%	10.5%	31.6%	6.9%
二世帯同居（子どもと同居）		366	2.2%	21.9%	18.0%	13.4%	37.7%	6.8%
二世帯同居（親と同居）		50	8.0%	38.0%	24.0%	0.0%	28.0%	2.0%
三世帯同居		57	0.0%	26.3%	21.1%	22.8%	24.6%	5.3%
その他		31	0.0%	16.1%	6.5%	12.9%	54.8%	9.7%
無回答		46	0.0%	26.1%	10.9%	13.0%	28.3%	21.7%
居 住 年 数	1年未満	17	0.0%	23.5%	23.5%	5.9%	23.5%	23.5%
	1～10年未満	101	5.9%	25.7%	15.8%	9.9%	33.7%	8.9%
	10～20年未満	87	2.3%	24.1%	19.5%	11.5%	36.8%	5.7%
	20～30年未満	115	0.9%	31.3%	21.7%	14.8%	26.1%	5.2%
	30年以上	716	1.5%	22.1%	18.4%	14.0%	35.6%	8.4%
	無回答	59	0.0%	18.6%	13.6%	3.4%	42.4%	22.0%

【設問15】 どのような形で参画したいと思われませんか？

設問14で「参画意向がある」と回答した人では「パブリック・コメントによる意見の提出」(48.6%)が最も高く、次いで「施設整備や計画策定の際に開催される説明会やワークショップへの出席」(36.2%)「市が設置する委員会や審議会等の委員として参画」(8.0%)となっています。

《ぜひ参画したいと回答した人》

「パブリック・コメントによる意見の提出」(60.0%)が最も高く、次いで「施設整備や計画策定の際に開催される説明会やワークショップへの出席」「市が設置する委員会や審議会等の委員として参画」(20.0%)となっています。

《機会があれば参画したいと回答した人》

「パブリック・コメントによる意見の提出」(47.7%)が最も高く、次いで「施設整備や計画策定の際に開催される説明会やワークショップへの出席」(37.5%)「市が設置する委員会や審議会等の委員として参画」(7.0%)となっています。

項目	計	「ぜひ参画」と回答した人	「機会があれば参画」と回答した人
パブリック・コメントによる意見の提出	48.6%	60.0%	47.7%
施設整備や計画策定の際に開催される説明会やワークショップへの出席	36.2%	20.0%	37.5%
市が設置する委員会や審議会等の委員として参画	8.0%	20.0%	7.0%
上記以外での参画	4.3%	0.0%	4.7%
対象者数	276人	20人	256人

※複数選択可能で、割合は各項目の選択者数を各対象者数で除したものです。

【設問16】 どのような理由から参画したくないとお考えですか？

設問14で「あまり参画したくない」と回答した人では「理由は特にない」(25.1%)が最も高く、次いで「施策、事業の内容がよくわからないから」(24.6%)「意見や提言を述べても市政に反映されないから」(19.0%)の順となっています。

項目	割合
理由は特にない	25.1%
施策、事業の内容がよくわからないから	24.6%
意見や提案をしても市政に反映されないから	19.0%
意見や提案をしても施策、事業が早急に実施されることが少ないから	12.3%
自由に自分の考えや意見が述べられないから	3.5%
市が事業の進みぐあい等について市民に情報公開していないから	2.0%
その他	8.8%
対象者数	342人

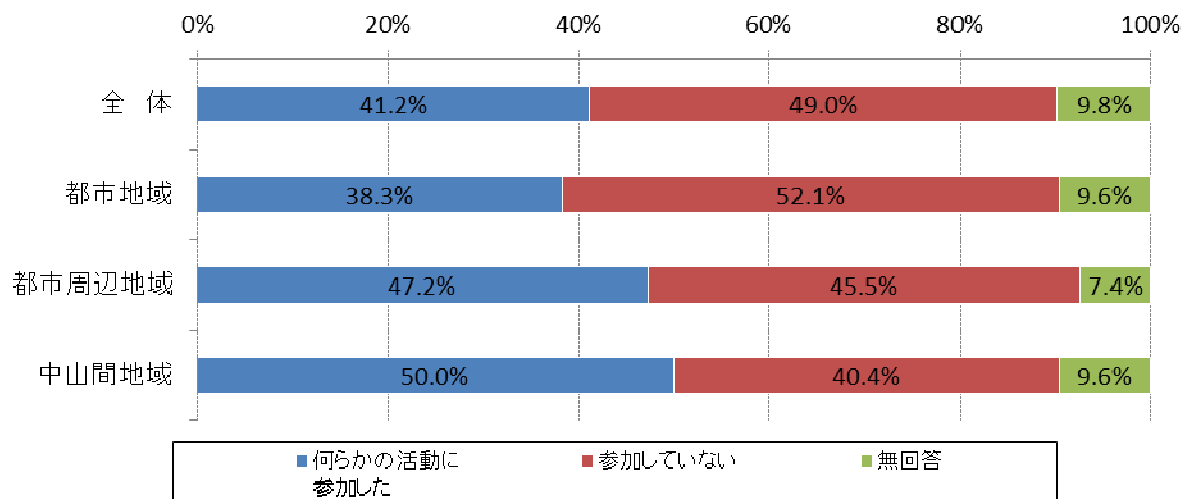
※割合は各項目の選択者数を対象者数で除したものです。

■ ボランティア活動への取り組み

【設問17】 この1年間に、ボランティア活動に参加されましたか？

全体では「何らかの活動に参加した」と回答した人の割合が 41.2%となっています。

また、地域別では「何らかの活動に参加した」と回答した人の割合は、中山間地域(50.0%)が最も高く、次いで都市周辺地域(47.2%)、都市地域(38.3%)となっています。



《活動の内容》

道路や公園等の清掃活動・花いっぱい運動・まちおこしなどの「まちづくりのための活動」(50.3%)が最も高く、次いで「リサイクル運動、自然や環境を守るための活動」(23.5%)「高齢者を対象とした活動」(22.8%)となっています。

項目	割合
まちづくりのための活動	50.3%
リサイクル運動、自然や環境を守るための活動	23.5%
高齢者を対象とした活動	22.8%
スポーツや文化、芸術、学術に関係した活動	19.7%
子どもを対象とした活動	18.6%
その他のボランティア活動	15.3%
健康や医療・福祉サービスに関係した活動	15.1%
防災・防犯活動や交通安全などの活動	12.4%
障害者を対象とした活動	9.3%
災害救援活動や救援物資の供給、炊き出しなど災害に関係した活動	2.4%
難民支援や海外支援協力など国際協力に関係した活動	1.0%
対象者数	451人

※複数選択可能で、割合は各項目の選択者数を対象者数で除したものです。

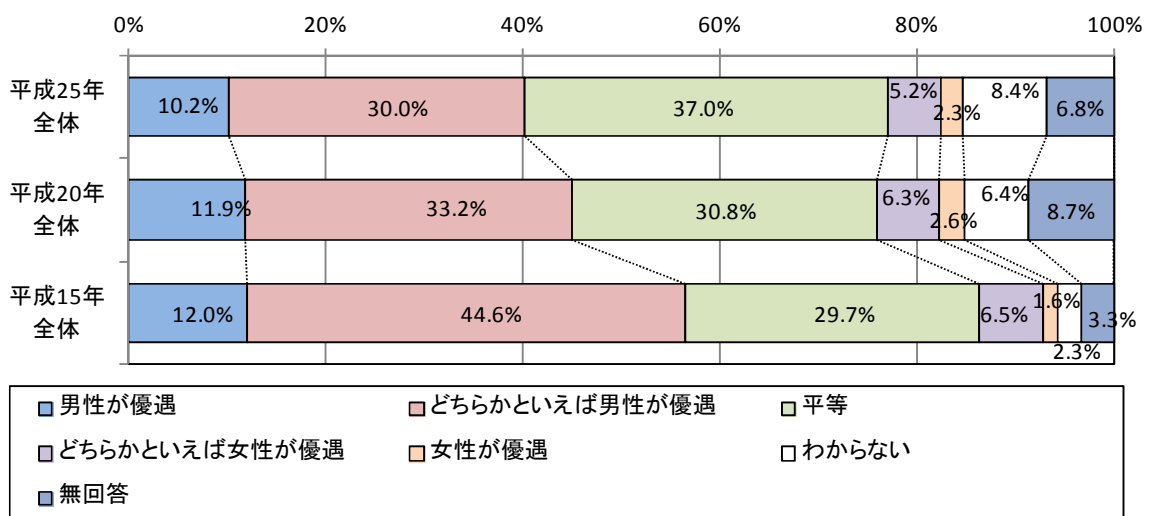
■ 男女共同参画

【設問18】 男女の地位の平等がどの程度実現されていると思いますか？

《家庭の中では》

「男性が優遇」(10.2%)「どちらかといえば男性が優遇」(30.0%)を合わせた割合が 40.2%で「どちらかといえば女性が優遇」(5.2%)「女性が優遇」(2.3%)を合わせた割合の7.5%を32.7ポイント上回っています。

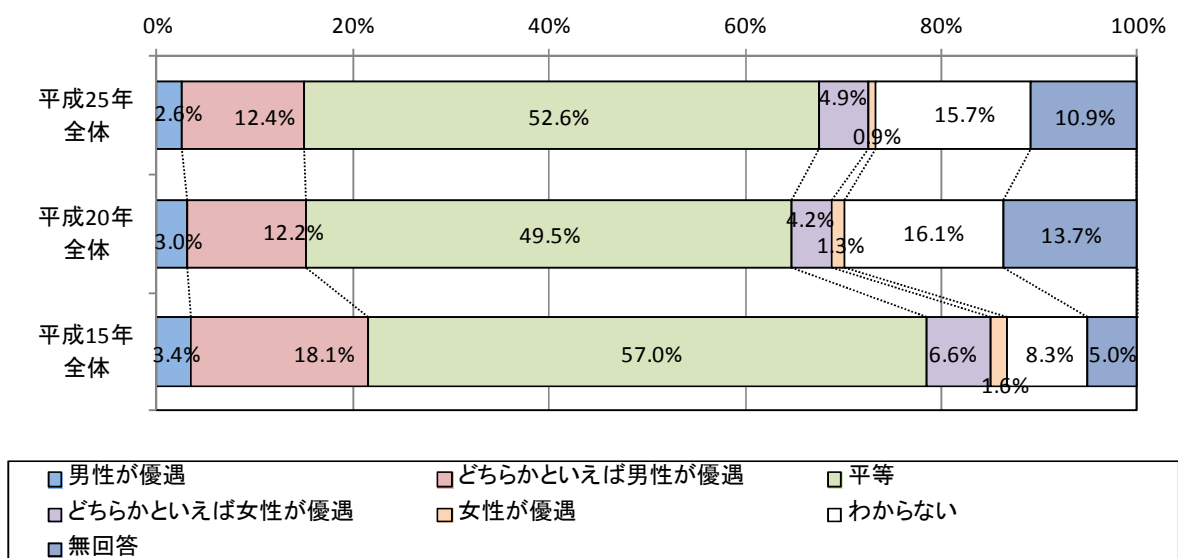
前回調査(平成20年)との比較では「男性が優遇」「どちらかといえば男性が優遇」を合わせた割合の45.1%から 4.9ポイント下回っています。



《教育の場では》

「男性が優遇」(2.6%)「どちらかといえば男性が優遇」(12.4%)を合わせた割合は15.0%で「どちらかといえば女性が優遇」(4.9%)「女性が優遇」(0.9%)を合わせた割合の5.8%を9.2ポイント上回っています。

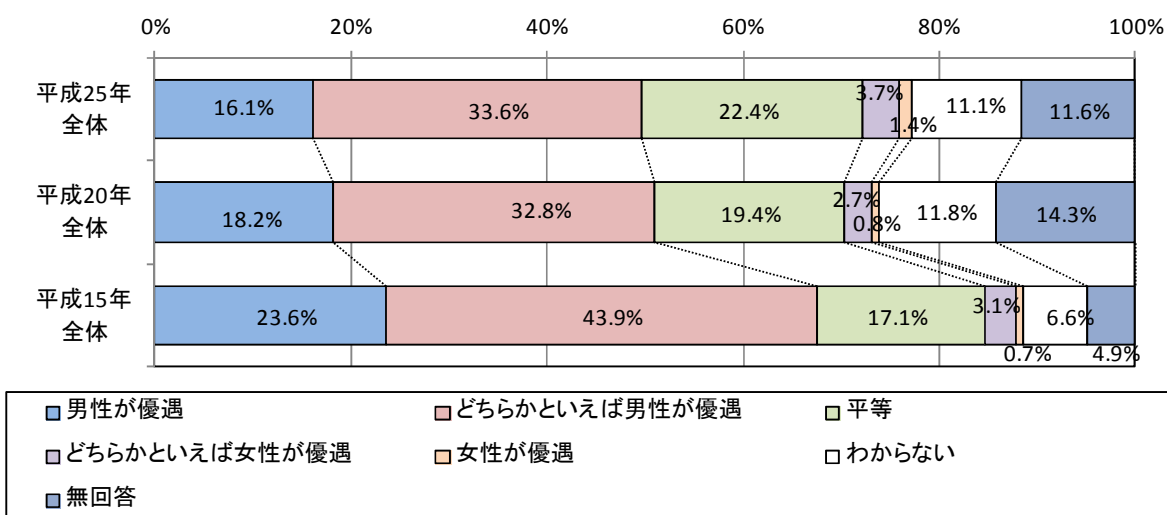
前回調査(平成20年)との比較では「男性が優遇」「どちらかといえば男性が優遇」を合わせた割合の15.2%から0.2ポイント下がっています。



《職場では》

「男性が優遇」(16.1%)「どちらかといえば男性が優遇」(33.6%)を合わせた割合が 49.7%で「どちらかといえば女性が優遇」(3.7%)「女性が優遇」(1.4%)を合わせた割合の5.1%を44.6ポイント上回っています。

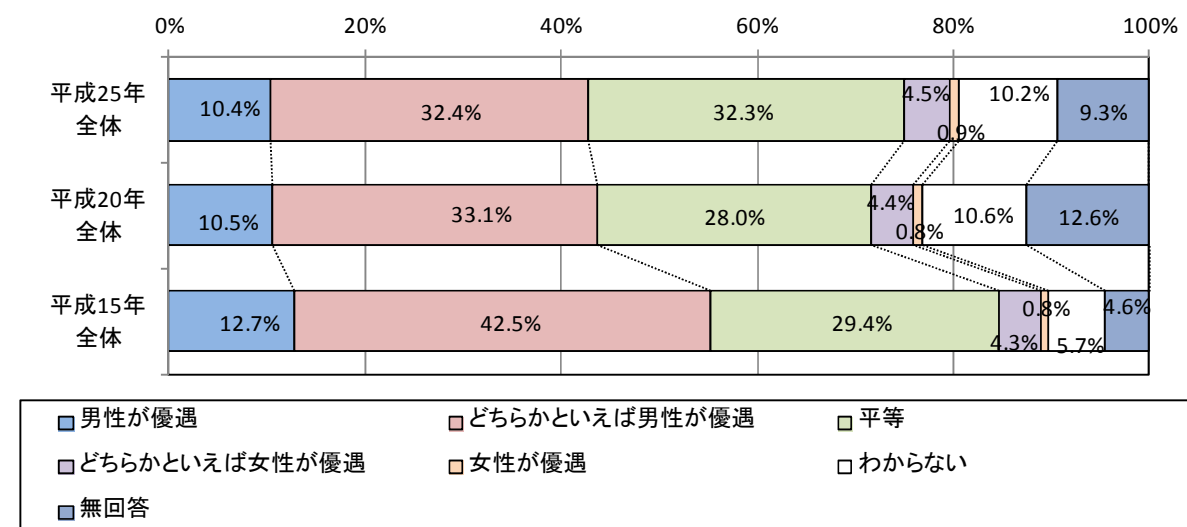
前回調査(平成20年)との比較では「男性が優遇」「どちらかといえば男性が優遇」を合わせた割合の51.0%から1.3ポイント下回っています。



《地域社会では》

「男性が優遇」(10.4%)「どちらかといえば男性が優遇」(32.4%)を合わせた割合が 42.8%で「どちらかといえば女性が優遇」(4.5%)「女性が優遇」(0.9%)を合わせた割合の5.4%を37.4ポイント上回っています。

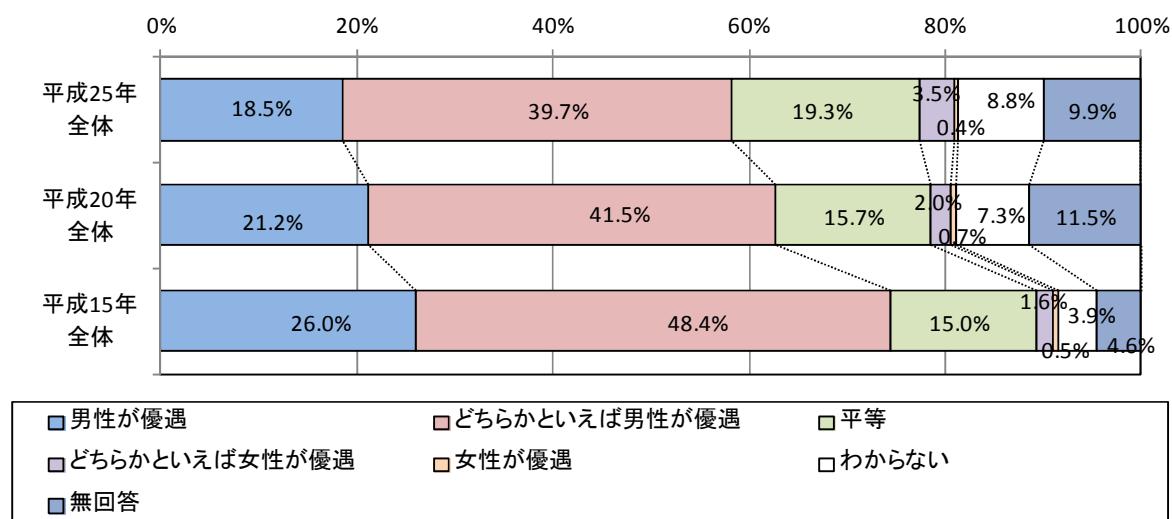
前回調査(平成20年)との比較では「男性が優遇」「どちらかといえば男性が優遇」を合わせた割合の43.6%から 0.8ポイント下回っています。



《社会通念やしきたりでは》

「男性が優遇」(18.5%)「どちらかといえば男性が優遇」(39.7%)を合わせた割合が 58.2%で「どちらかといえば女性が優遇」(3.5%)「女性が優遇」(0.4%)を合わせた割合の3.9%を54.3ポイント上回っています。

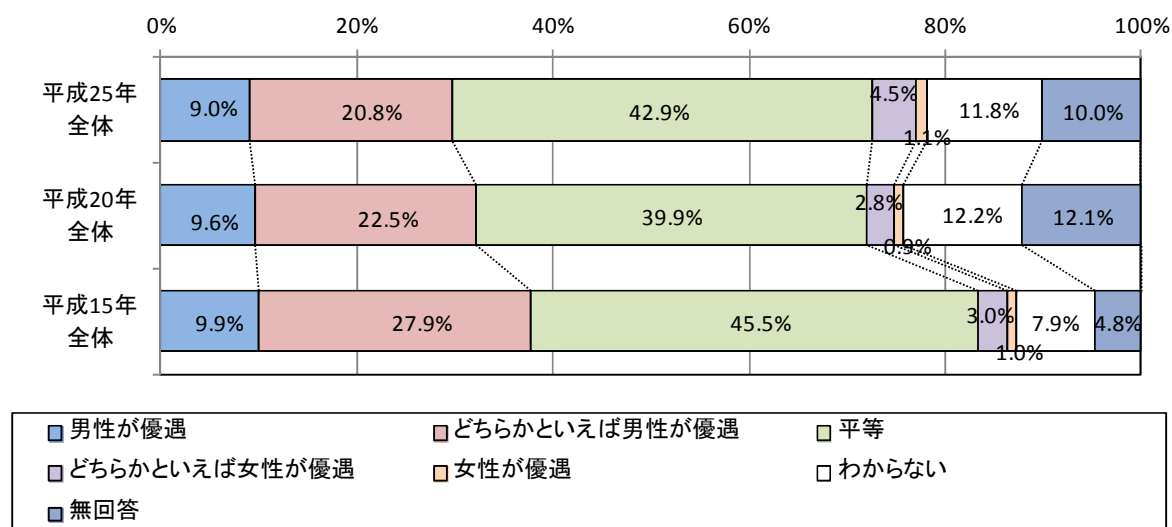
前回調査(平成20年)との比較では「男性が優遇」「どちらかといえば男性が優遇」を合わせた割合の62.7%から4.5ポイント下回っています。



《法律や制度では》

「男性が優遇」(9.0%)「どちらかといえば男性が優遇」(20.8%)を合わせた割合が 29.8%で「どちらかといえば女性が優遇」(4.5%)「女性が優遇」(1.1%)を合わせた割合の5.6%を24.2ポイント上回っています。

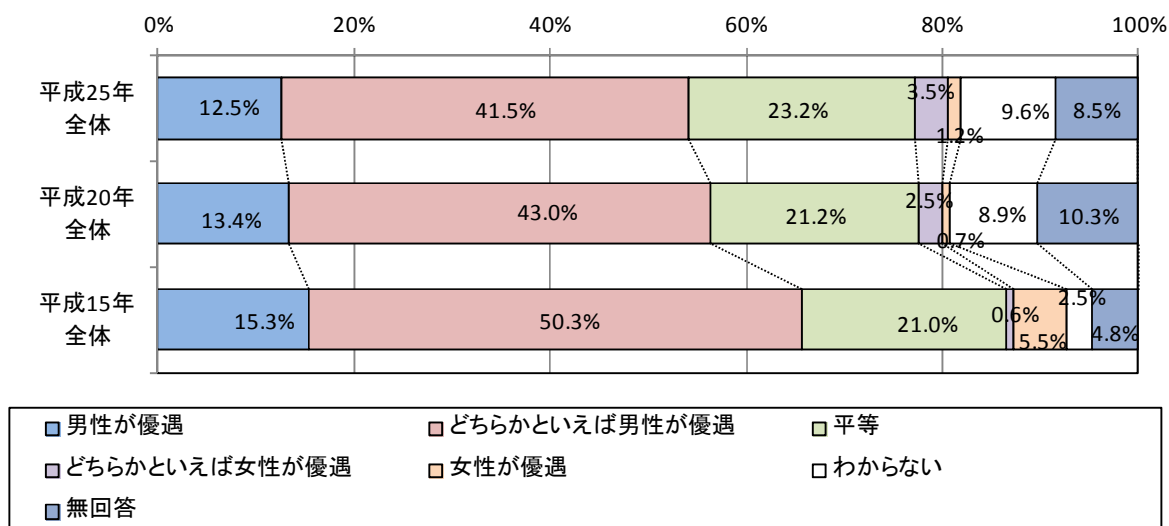
前回調査(平成20年)との比較では「男性が優遇」「どちらかといえば男性が優遇」を合わせた割合の32.1%から 2.3ポイント下回っています。



《社会全体では》

「男性が優遇」(12.5%)「どちらかといえば男性が優遇」(41.5%)を合わせた割合が 54.0%で「どちらかといえば女性が優遇」(3.5%)「女性が優遇」(1.2%)を合わせた割合の4.7%を49.3ポイント上回っています。

前回調査(平成20年)との比較では「男性が優遇」「どちらかといえば男性が優遇」を合わせた割合の56.4%から2.4ポイント下回っています。



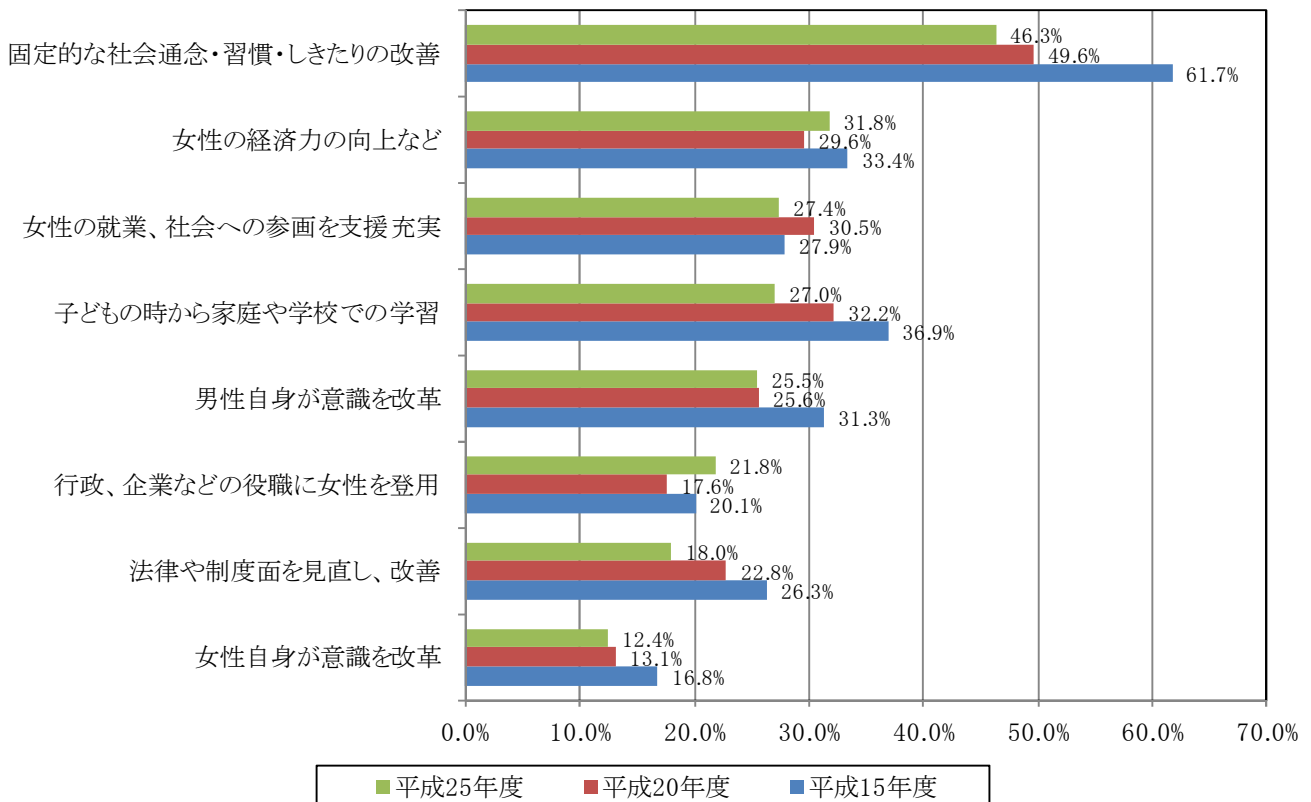
【設問19】 今後、男女が社会のあらゆる分野で平等になるためには、何が重要だと思いますか？

「男女をとりまく様々な偏見や固定的な社会通念・習慣・しきたりの改善」を選択した人の割合(46.3%)が最も多く、次いで「女性の経済力の向上や知識、技術の習得など、女性力の向上」(31.8%)「女性の就業、社会への参画を支援する施設やサービスの充実」(27.4%)となっています。

項目	割合
男女をとりまく様々な偏見や固定的な社会通念・習慣・しきたりの改善	46.3%
女性の経済力の向上や知識、技術の習得など、女性力の向上	31.8%
女性の就業、社会への参画を支援する施設やサービスの充実	27.4%
子どもの時から家庭や学校での男女平等の学習	27.0%
男性自身が男女の平等や共同参画について意識を改革	25.5%
行政、企業などの役職に一定の割合で女性を登用	21.8%
法律や制度面を見直し、差別につながるものを改善	18.0%
女性自身が男女の平等や共同参画について意識を改革	12.4%
特になし、わからない	13.2%
無回答	6.0%
対象者(人)	1,095人

※複数選択可能で、割合は各項目の選択者数を対象者数で除したものです。

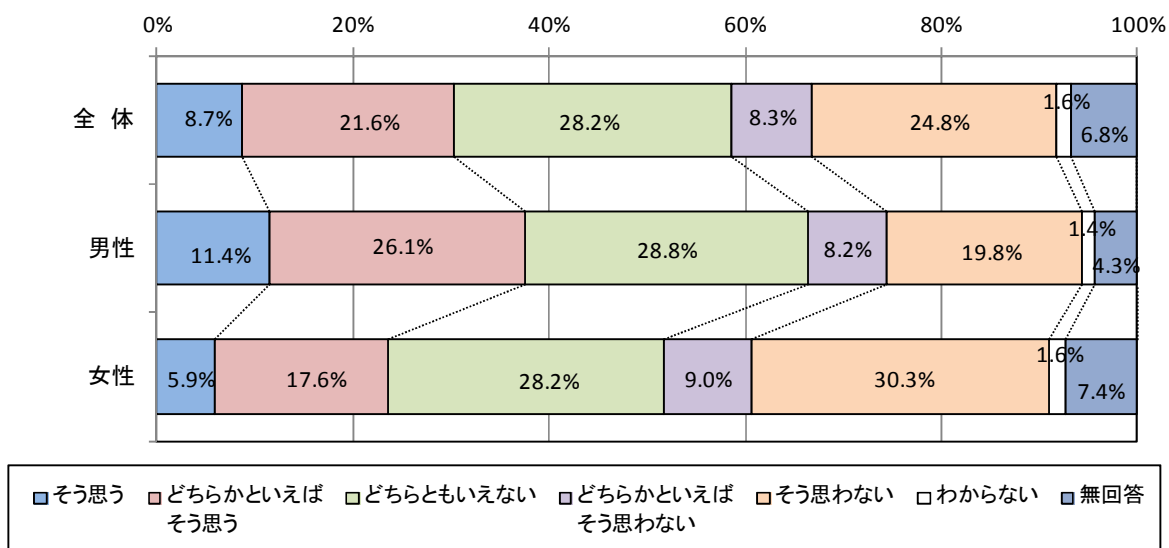
参考：今回調査と平成15、20年度調査との比較



【設問20】男女の生き方や家庭生活などに関する考え方について、どのように思いますか？

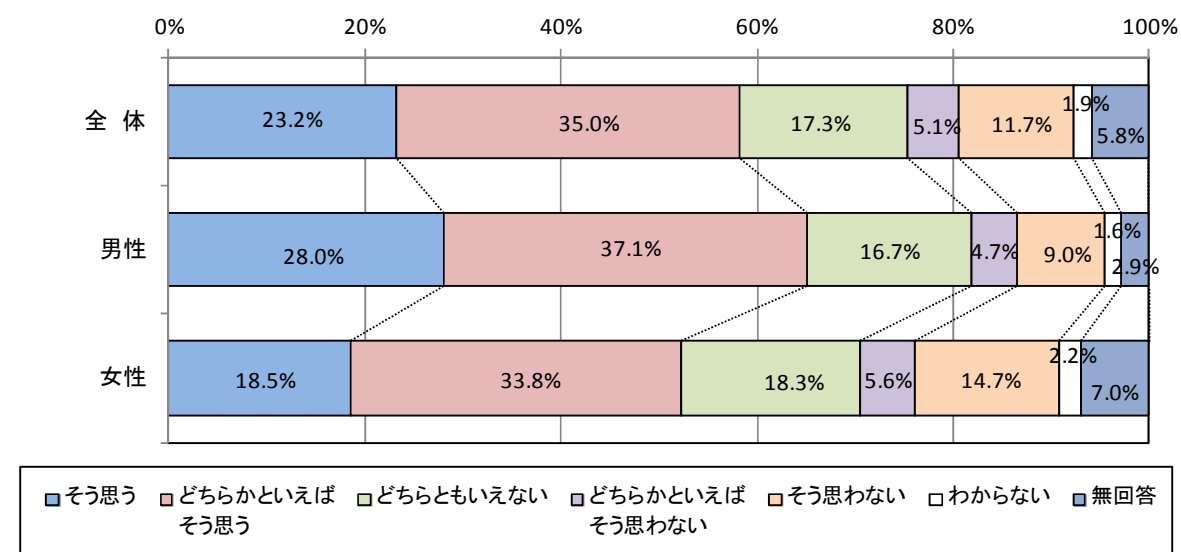
《「男は仕事」「女は家庭」を中心にする方がよい》

「そう思う」(8.7%)「どちらかといえばそう思う」(21.6%)を合わせた割合が 30.3%で「どちらかといえばそう思わない」(8.3%)「そう思わない」(24.8%)を合わせた割合の33.1%を 2.8ポイント下回っています。



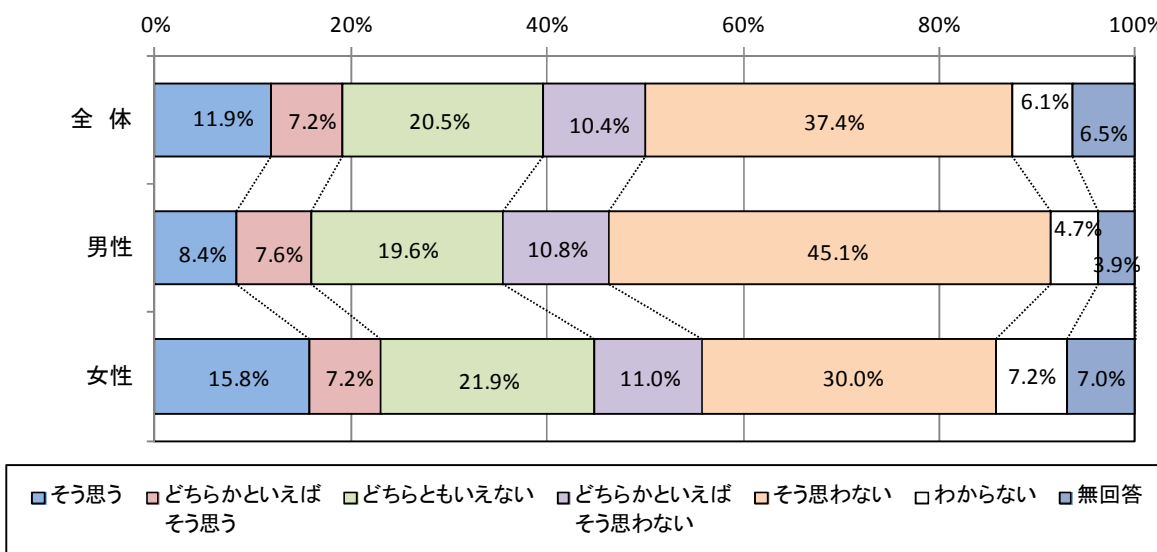
《「男の子は男らしく」「女の子は女らしく」しつけた方がよい》

「そう思う」(23.2%)「どちらかといえばそう思う」(35.0%)を合わせた割合が 58.2%で「どちらかといえばそう思わない」(5.1%)「そう思わない」(11.7%)を合わせた割合の16.8%を 41.4ポイント上回っています。



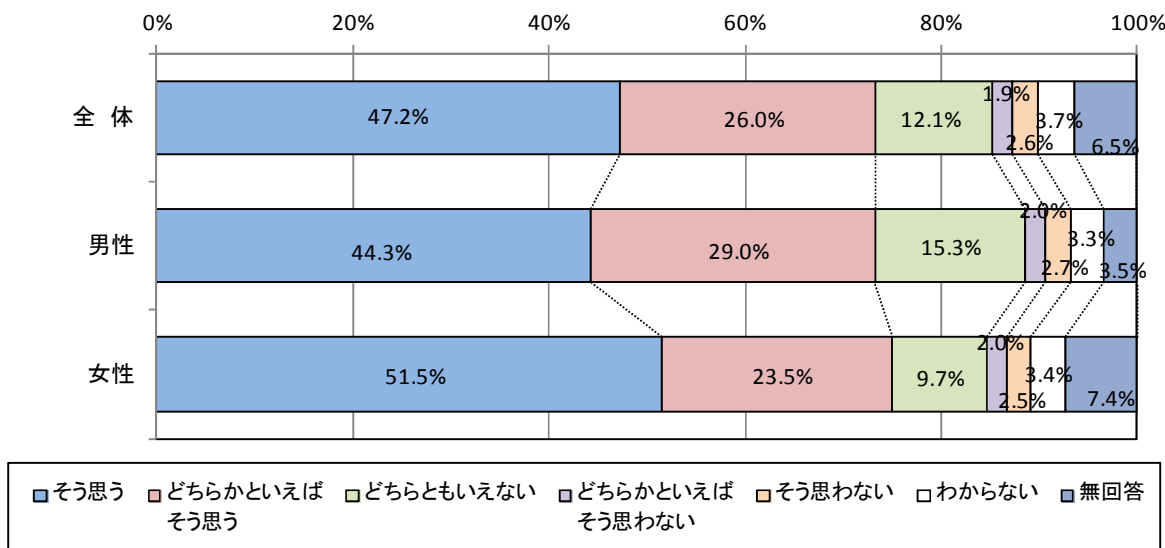
《夫婦は別々の姓を名乗っても構わない》

「そう思う」(11.9%)「どちらかといえばそう思う」(7.2%)を合わせた割合が 19.1%で「どちらかといえばそう思わない」(10.4%)「そう思わない」(37.4%)を合わせた割合の47.8%を 28.7ポイント下回っています。



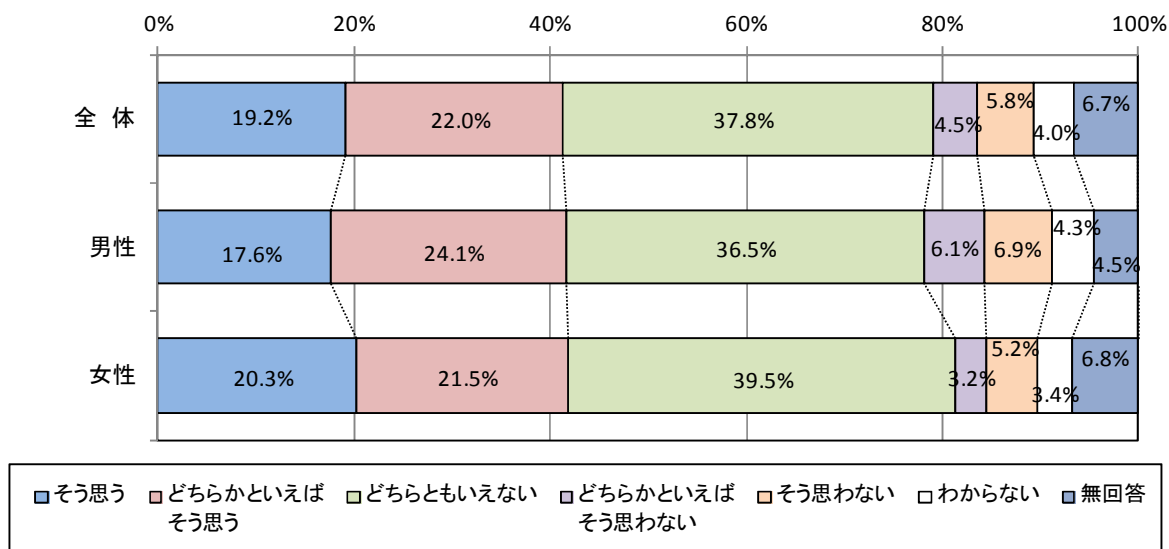
《人にはそれぞれ向き不向きがある。男性か女性かによって生き方を決めつけない方がよい》

「そう思う」(47.2%)「どちらかといえばそう思う」(26.0%)を合わせた割合が 73.2%で「どちらかといえばそう思わない」(1.9%)「そう思わない」(2.6%)を合わせた割合の4.5%を 68.7ポイント上回っています。



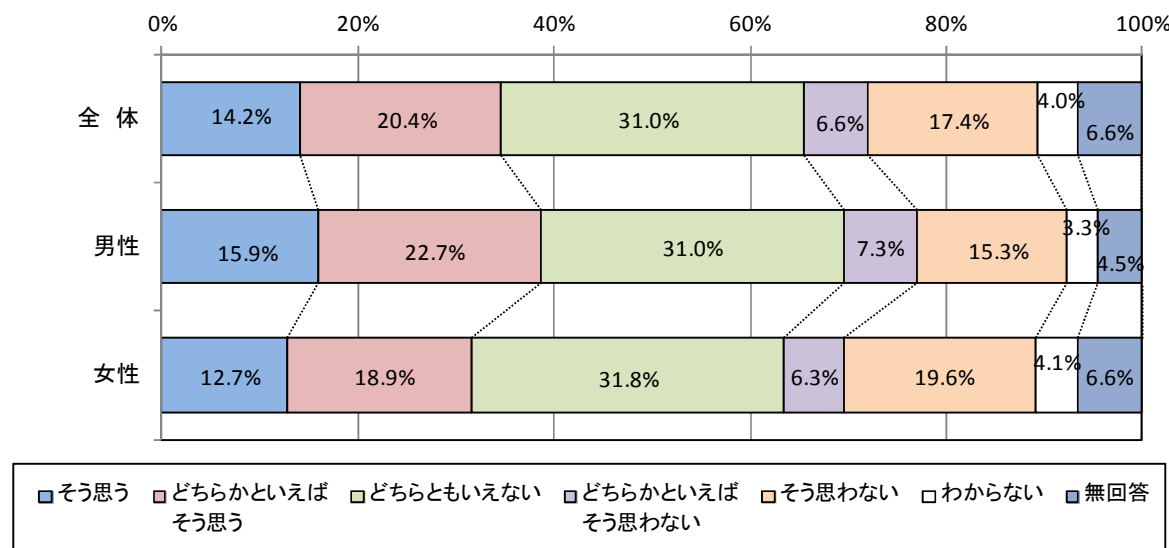
《女性は、結婚や出産をしても仕事を続ける方がよい》

「そう思う」(19.2%)「どちらかといえばそう思う」(22.0%)を合わせた割合が 41.2%で「どちらかといえばそう思わない」(4.5%)「そう思わない」(5.8%)を合わせた割合の10.3%を 30.9ポイント上回っています。



《女性は、出産を機に仕事をやめて家庭に入り、子どもが大きくなって再び仕事に就けばよい》

「そう思う」(14.2%)「どちらかといえばそう思う」(20.4%)を合わせた割合が 34.6%で「どちらかといえばそう思わない」(6.6%)「そう思わない」(17.4%)を合わせた割合の24.0%を 10.6ポイント上回っています。



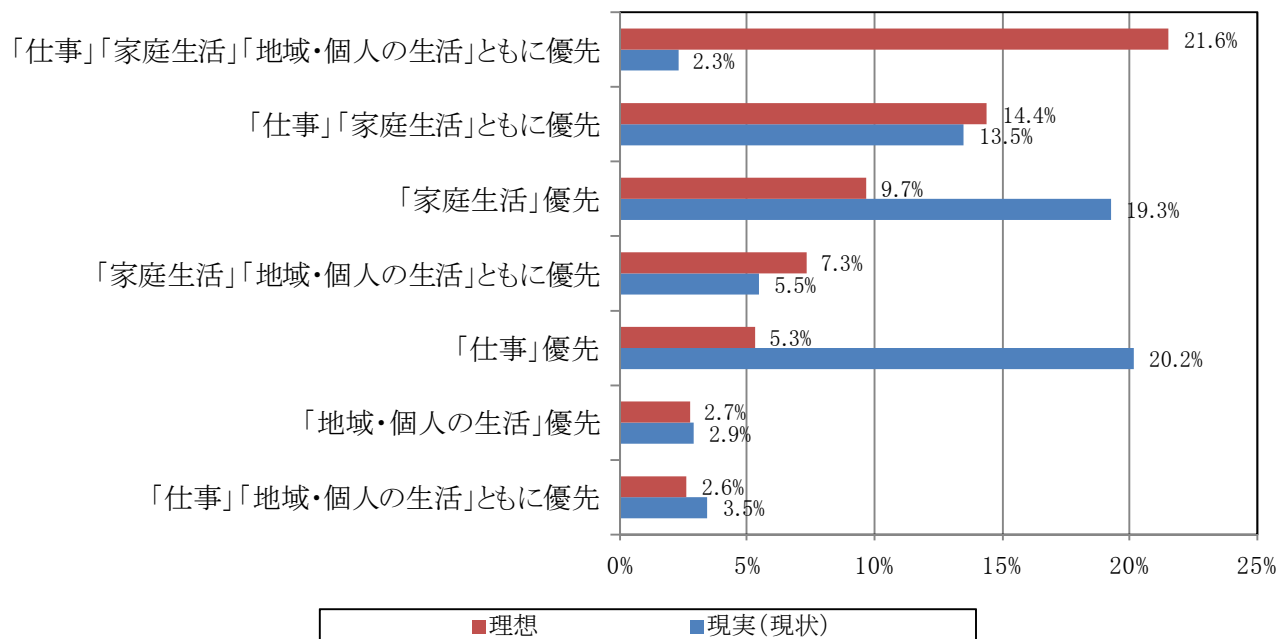
【設問21】 あなたの生活の中での「仕事」「家庭生活」「地域・個人の生活」について、理想と現実に最も近いものはどれですか？

理想に最も近いものとして「仕事と家庭生活と地域・個人の生活をともに優先している」を選択した人の割合(21.6%)が最も多く、次いで「仕事と家庭生活をともに優先している」(14.4%)「家庭生活を優先している」(9.7%)となっています。

また、現実(現状)に最も近いものとして「仕事を優先している」を選択した人の割合(20.2%)が最も多く、次いで「家庭生活を優先している」(19.3%)「仕事と家庭生活をともに優先している」(13.5%)となっています。

項目	割合	
	理想	現実
「仕事」「家庭生活」「地域・個人の生活」をともに優先している	21.6%	2.3%
「仕事」「家庭生活」をともに優先している	14.4%	13.5%
「家庭生活」を優先している	9.7%	19.3%
「家庭生活」「地域・個人の生活」をともに優先している	7.3%	5.5%
「仕事」を優先している	5.3%	20.2%
「地域・個人の生活」を優先している	2.7%	2.9%
「仕事」「地域・個人の生活」をともに優先している	2.6%	3.5%

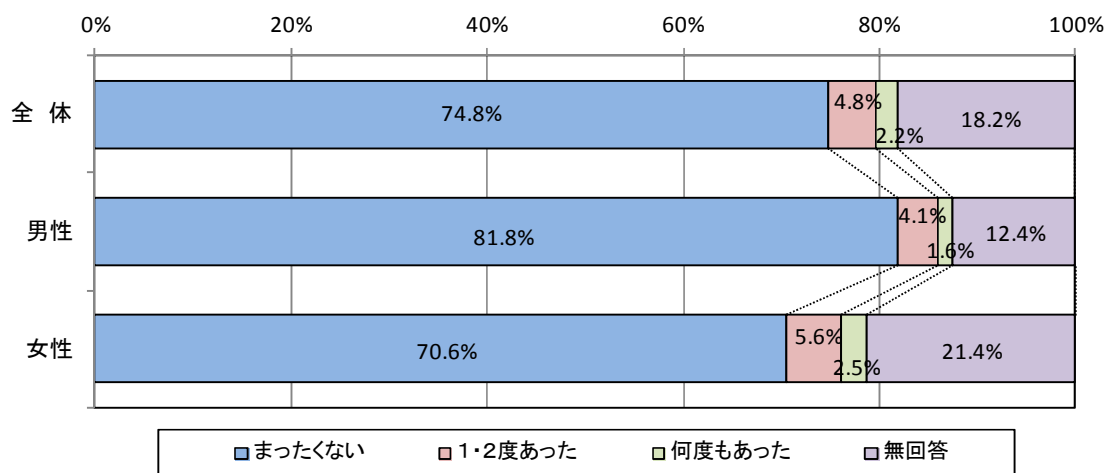
※割合は、各項目を選択した人数を回答者数で除したものです。



【設問22】過去5年以内に、あなたの配偶者・交際相手相手から次のようなことをされたことがありますか？

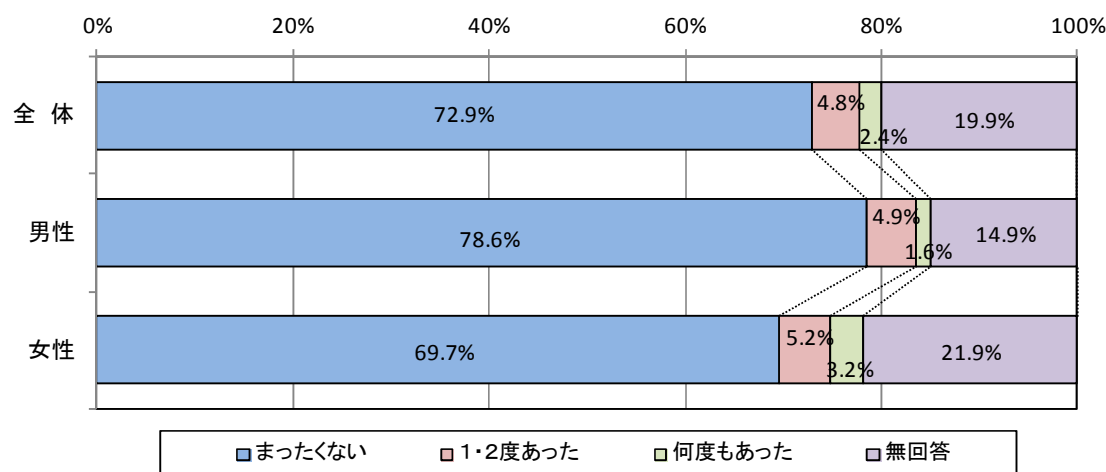
《殴る・蹴る・物を投げつける・突き飛ばすなどの身体に対する暴行を受けた》

全体では「まったくない」を選択した人の割合は 74.8% 「1・2度あった」は 4.8% 「何度もあった」は 2.2% でした。



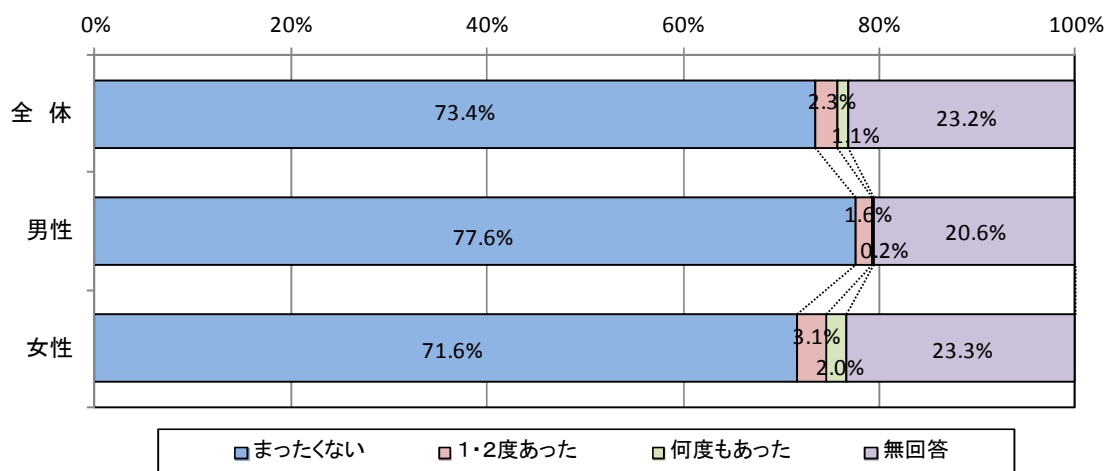
《人格を否定するような暴言・交友関係を細かく監視するなどの精神的な嫌がらせ・自分自身もしくは家族に危害が加えられるのではないかと恐怖を感じるような脅迫を受けた》

全体では「まったくない」を選択した人の割合は 72.9% 「1・2度あった」は 4.8% 「何度もあった」は 2.4% でした。



《避妊に協力しなかったり、嫌がっているのに性的な行為を強要されたりした》

全体では「まったくない」を選択した人の割合は 73.4% 「1・2度あった」は 2.3% 「何度もあった」は 1.1%でした。



【設問23】 男女共同参画社会の実現に向けて、市にどのようなことを期待しますか？

「男女が共に働きやすい就業環境の整備」を選択した人の割合(50.0%)が最も多く、次いで「男性、女性のどちらか一方に不利な社会通念、慣習の見直し」(21.2%) 「男女共同参画に関する幅広い情報や資料等の収集、提供」(15.4%)となっています。

項目	割合
男女が共に働きやすい就業環境の整備	50.0%
男性、女性のどちらか一方に不利な社会通念、慣習の見直し	21.2%
男女共同参画に関する幅広い情報や資料等の収集、提供	15.4%
男女共同参画の視点に立った教育や学習の充実	15.3%
女性のための相談窓口の充実	11.0%
男女共同参画に関する講演会、講座等の企画、開催	9.0%
生涯学習活動やボランティア活動での男女共同参画	8.9%
配偶者等からの暴力被害の防止、根絶や相談・救援体制の充実	6.6%
審議会など政策や方針を決定する場への女性の積極的登用	6.0%
男性のための相談窓口の充実	2.6%
性と生殖に関する健康支援	1.8%
その他	1.9%

※複数選択可能で、割合は各項目の選択者数を対象者数で除したものです。

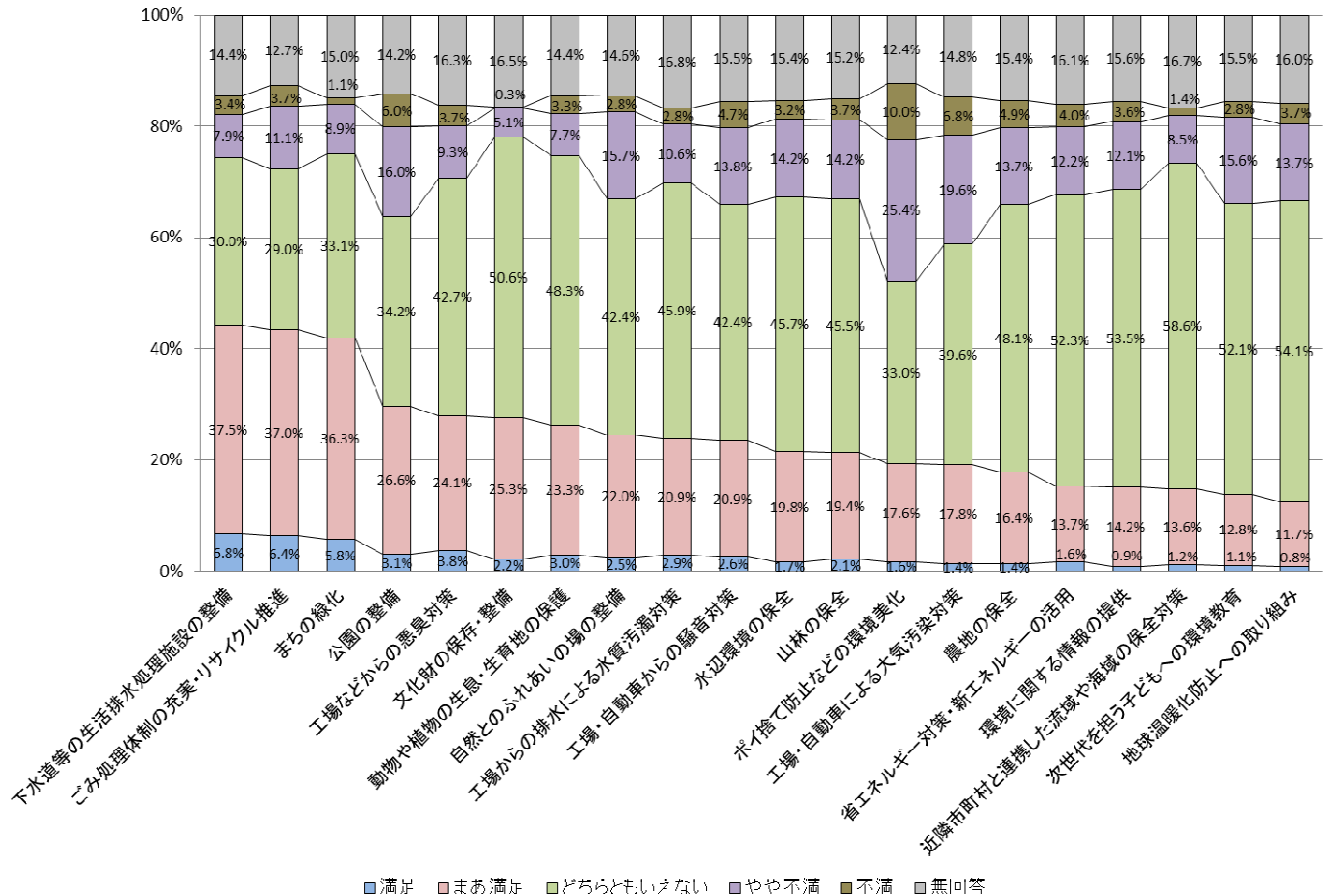
■ 環境保全対策・エネルギー

【設問24】あなたが住んでいる地区の環境保全対策について、どの程度満足されていますか。

また、市の将来を見据えた環境保全対策としてどの程度重要だと思いますか？

《満足度》

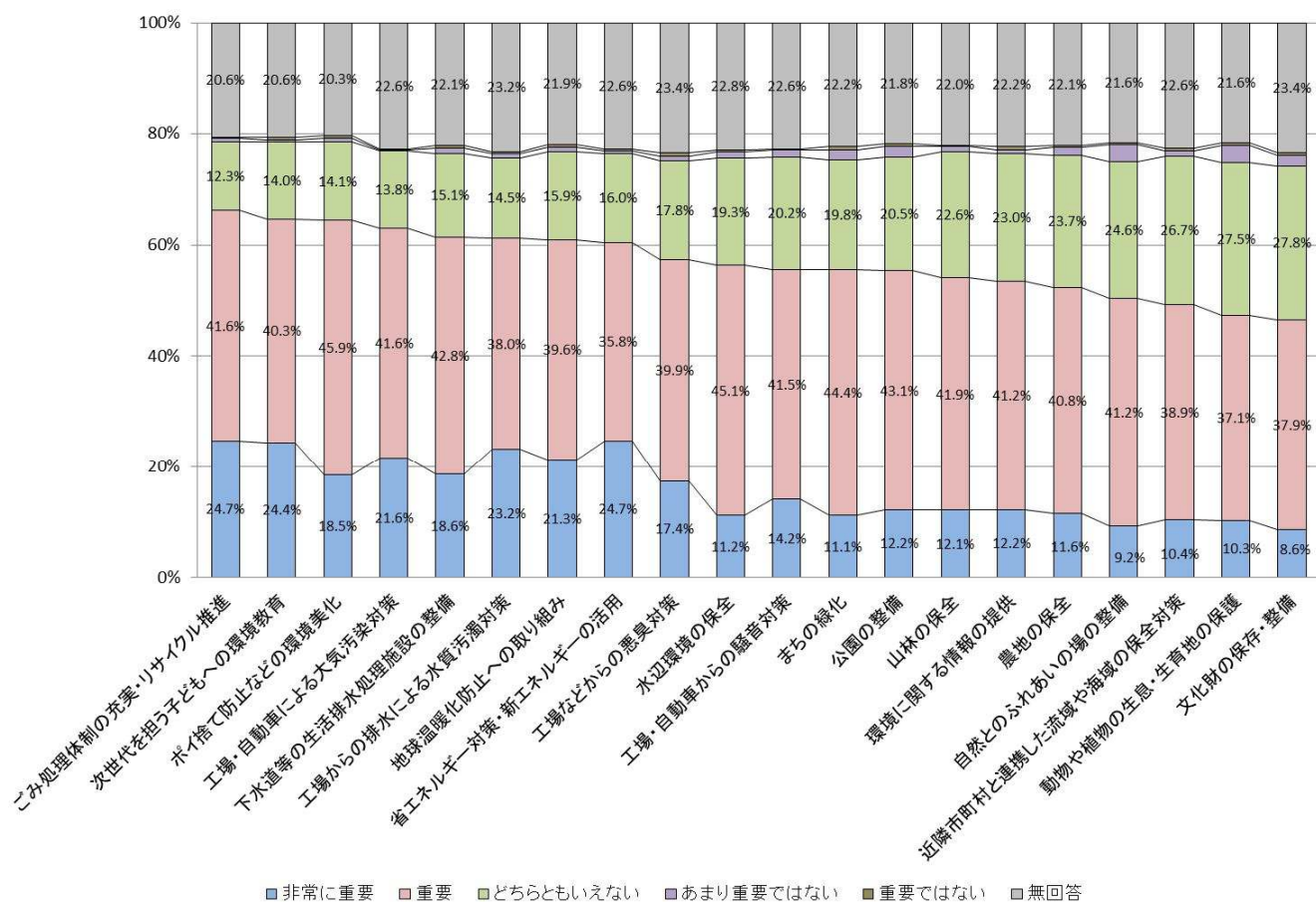
「満足」「まあ満足」を合わせた割合は「下水道等の生活排水処理施設の整備」(44.3%)が最も高く次いで「ごみ処理体制の充実・リサイクル推進」(43.4%)「まちの緑化」(42.1%)となっています。



	満足	まあ満足	どちらともいえない	やや不満	不満	無回答
動物や植物の生息・生育地の保護	3.0%	23.3%	48.3%	7.7%	3.3%	14.4%
山林の保全	2.1%	19.4%	45.5%	14.2%	3.7%	15.2%
水辺環境の保全	1.7%	19.8%	45.7%	14.2%	3.2%	15.4%
農地の保全	1.4%	16.4%	48.1%	13.7%	4.9%	15.4%
自然とのふれあいの場の整備	2.5%	22.0%	42.4%	15.7%	2.8%	14.6%
工場・自動車による大気汚染対策	1.4%	17.8%	39.6%	19.6%	6.8%	14.8%
下水道等の生活排水処理施設の整備	6.8%	37.5%	30.0%	7.9%	3.4%	14.4%
工場からの排水による水質汚濁対策	2.9%	20.9%	45.9%	10.6%	2.8%	16.8%
工場・自動車からの騒音対策	2.6%	20.9%	42.4%	13.8%	4.7%	15.5%
ごみ処理体制の充実・リサイクル推進	6.4%	37.0%	29.0%	11.1%	3.7%	12.7%
工場などからの悪臭対策	3.8%	24.1%	42.7%	9.3%	3.7%	16.3%
省エネルギー対策・新エネルギーの活用	1.6%	13.7%	52.3%	12.2%	4.0%	16.1%
まちの緑化	5.8%	36.3%	33.1%	8.9%	1.1%	15.0%
文化財の保存・整備	2.2%	25.3%	50.6%	5.1%	0.3%	16.5%
ポイ捨て防止などの環境美化	1.6%	17.6%	33.0%	25.4%	10.0%	12.4%
公園の整備	3.1%	26.6%	34.2%	16.0%	6.0%	14.2%
地球温暖化防止への取り組み	0.8%	11.7%	54.1%	13.7%	3.7%	16.0%
近隣市町村と連携した流域や海域の保全対策	1.2%	13.6%	58.6%	8.5%	1.4%	16.7%
次世代を担う子どもへの環境教育	1.1%	12.8%	52.1%	15.6%	2.8%	15.5%
環境に関する情報の提供	0.9%	14.2%	53.5%	12.1%	3.6%	15.6%

《将来を見据えた重要度》

「非常に重要」「重要」を合わせた割合で「ごみ処理体制の充実・リサイクル推進」(66.3%)が最も高く、次いで「次世代を担う子どもへの環境教育」(64.7%)「ポイ捨て防止などの環境美化」(64.4%)となっています。

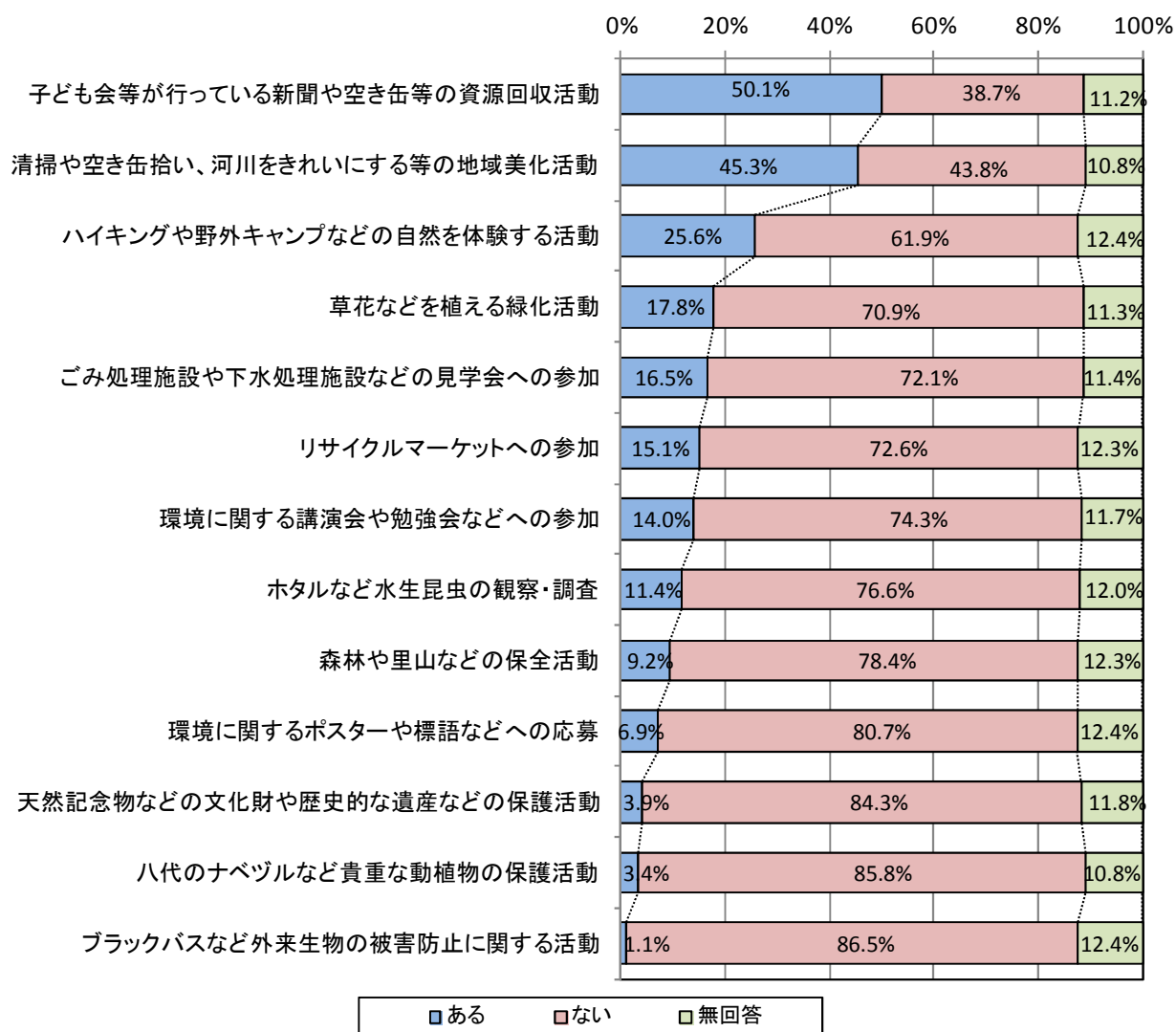


	非常に重要	重要	どちらともいえない	あまり重要ではない	重要ではない	無回答
動物や植物の生息・生育地の保護	10.3%	37.1%	27.5%	3.0%	0.5%	21.6%
山林の保全	12.1%	41.9%	22.6%	1.0%	0.3%	22.0%
水辺環境の保全	11.2%	45.1%	19.3%	1.2%	0.4%	22.8%
農地の保全	11.6%	40.8%	23.7%	1.5%	0.4%	22.1%
自然とのふれあいの場の整備	9.2%	41.2%	24.6%	3.1%	0.4%	21.6%
工場・自動車による大気汚染対策	21.6%	41.6%	13.8%	0.2%	0.3%	22.6%
下水道等の生活排水処理施設の整備	18.6%	42.8%	15.1%	0.9%	0.5%	22.1%
工場からの排水による水質汚濁対策	23.2%	38.0%	14.5%	0.7%	0.4%	23.2%
工場・自動車からの騒音対策	14.2%	41.5%	20.2%	1.3%	0.3%	22.6%
ごみ処理体制の充実・リサイクル推進	24.7%	41.6%	12.3%	0.6%	0.2%	20.6%
工場などからの悪臭対策	17.4%	39.9%	17.8%	0.8%	0.6%	23.4%
省エネルギー対策・新エネルギーの活用	24.7%	35.8%	16.0%	0.5%	0.4%	22.6%
まちの緑化	11.1%	44.4%	19.8%	1.8%	0.6%	22.2%
文化財の保存・整備	8.6%	37.9%	27.8%	1.8%	0.5%	23.4%
ポイ捨て防止などの環境美化	18.5%	45.9%	14.1%	0.7%	0.5%	20.3%
公園の整備	12.2%	43.1%	20.5%	1.9%	0.5%	21.8%
地球温暖化防止への取り組み	21.3%	39.6%	15.9%	0.8%	0.5%	21.9%
近隣市町村と連携した流域や海域の保全対策	10.4%	38.9%	26.7%	1.0%	0.5%	22.6%
次世代を担う子どもへの環境教育	24.4%	40.3%	14.0%	0.3%	0.5%	20.6%
環境に関する情報の提供	12.2%	41.2%	23.0%	0.7%	0.6%	22.2%

【設問25】 環境保全活動にどの程度参加したことがありますか。また、今後、環境保全活動に参加したいと思われませんか？

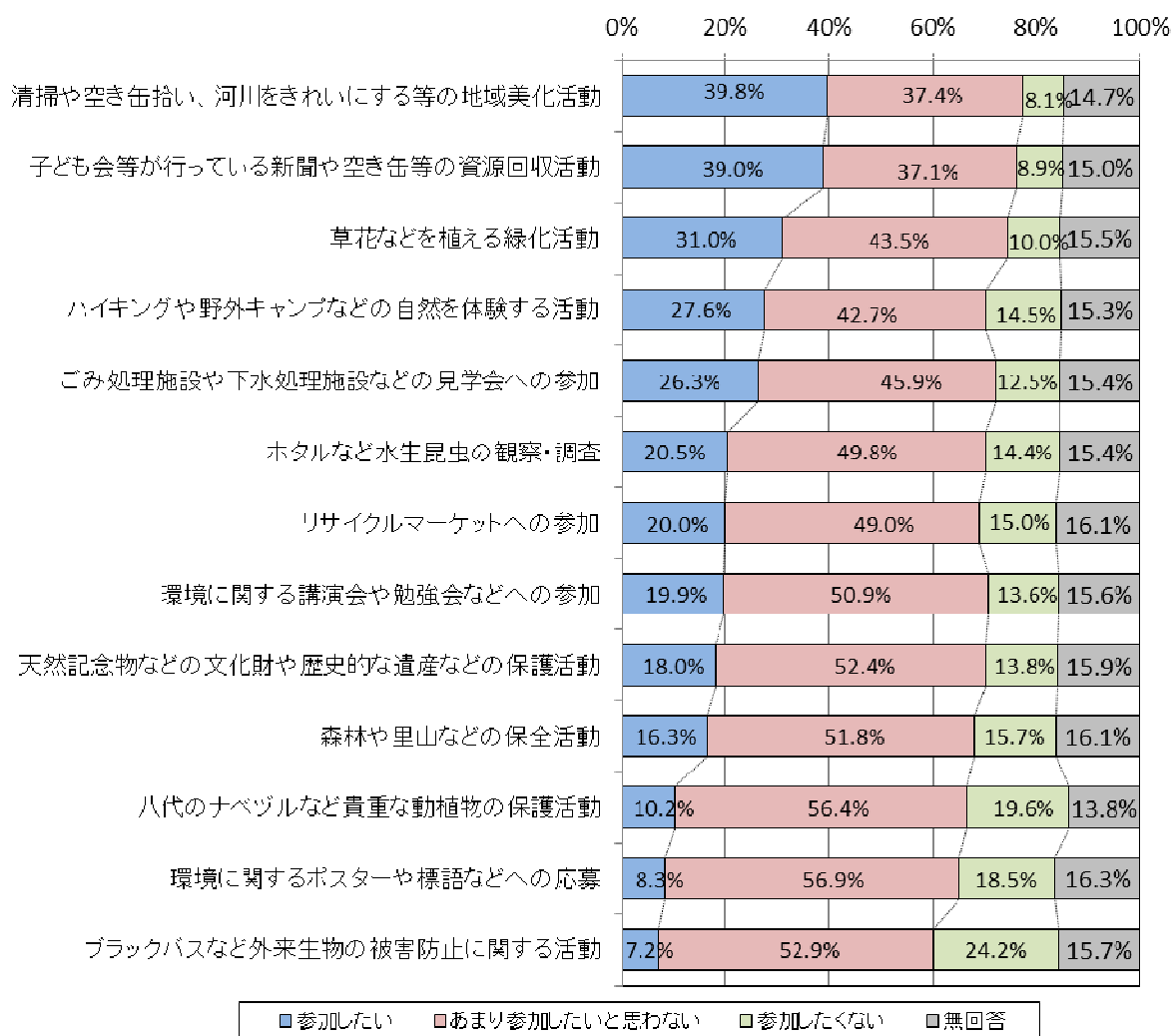
《参加経験》

参加経験が「ある」を選択した人の割合は「子ども会等が行っている新聞や空き缶等の資源回収活動」(50.1%)が最も高く、次いで「清掃や空き缶拾い、河川をきれいにする等の地域美化活動」(45.3%)「ハイキングや野外キャンプなどの自然を体験する活動」(25.6%)となっています。



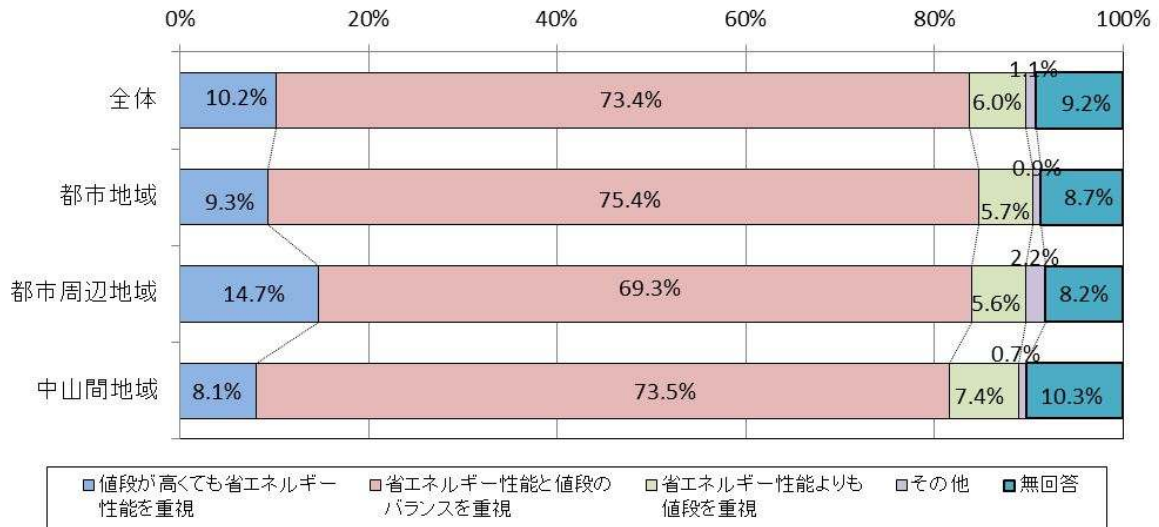
《今後の参加意向》

「参加したい」を選択した人の割合は「清掃や空き缶拾い、河川をきれいにする等の地域美化活動」(39.8%)が最も高く、次いで「子ども会等が行っている新聞や空き缶等の資源回収活動」(39.0%)「草花などを植える緑化活動」(31.0%)となっています。



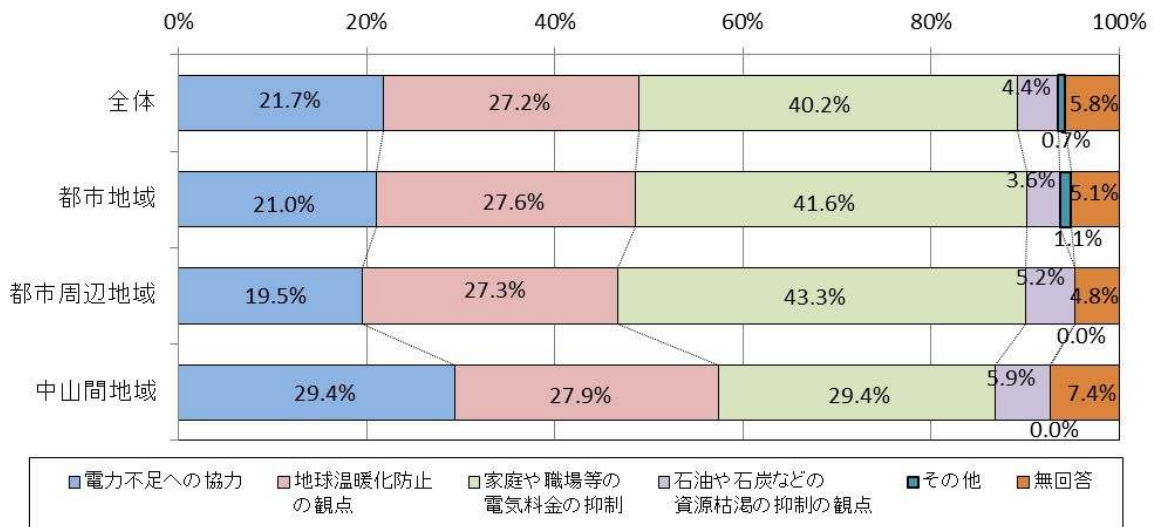
【設問26】 省エネルギーの家電製品への買い替えについて、どうお考えですか？

「省エネルギー性能と値段のバランスを重視」(73.4%)が最も高く、次いで「値段が高くてでも省エネルギー性能を重視」(10.2%)「省エネルギー性能よりも値段を重視」(6.0%)となっています。



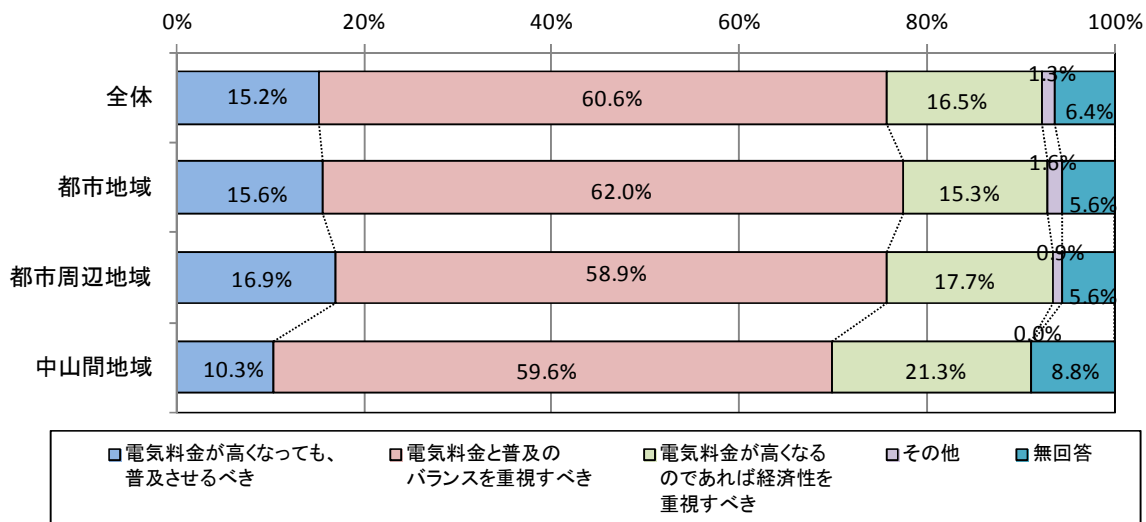
【設問27】 節電に取り組む際の動機として重視することは何ですか？

「家庭や職場等の電気料金の抑制」(40.2%)が最も高く、次いで「地球温暖化防止の観点」(27.2%)「電力不足への協力」(21.7%)となっています。



【設問28】再生可能エネルギー(太陽光・風力発電など)の普及について、どうお考えですか？

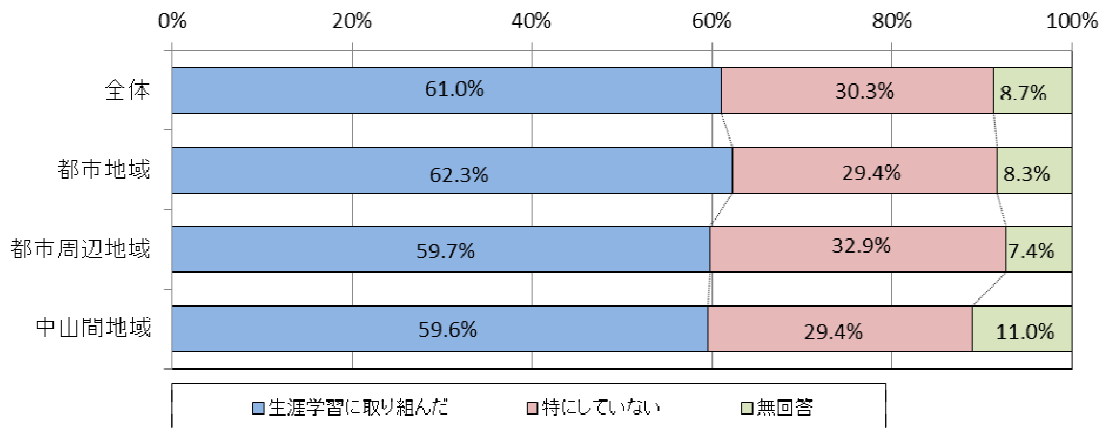
「電気料金と普及のバランスを重視すべき」(60.6%)が最も高く、次いで「電気料金が高くなるのであれば経済性を重視すべき」(16.5%)「電気料金が高くなっても、普及させるべき」(15.2%)となっています。



■ 生涯学習

【設問29】 この1年間に、次の分野に関する生涯学習をしたことがありますか？

「生涯学習に取り組んだ」と回答した人の割合が 61.0%となっています。



《地域別》

「生涯学習に取り組んだ」と回答した人の割合は、都市地域(62.3%)が最も高く、次いで都市周辺地域(59.7%)、中山間地域(59.6%)となっています。

《性別》

「生涯学習に取り組んだ」と回答した人の割合は、男性(62.4%)、女性(60.9%)で、男性の方が高くなっています。

《年齢別》

「生涯学習に取り組んだ」と回答した人の割合は、20歳代(78.0%)が最も高く、次いで30歳代(63.5%)、50歳代(63.2%)となっています。

また「特にしていない」と回答した人の割合は、40歳代(36.9%)が最も高くなっています。

		回答者 (人)	取 り 生 涯 学 習 に 進 ん だ に	特 に し て い な い	無 回 答
全 体		1,095	61.0%	30.3%	8.7%
地 域 別	都市地域	700	62.3%	29.4%	8.3%
	都市周辺地域	231	59.7%	32.9%	7.4%
	中山間地域	136	59.6%	29.4%	11.0%
	無回答	28	46.4%	35.7%	17.9%
性 別	男性	490	62.4%	29.6%	8.0%
	女性	557	60.9%	30.7%	8.4%
	無回答	48	47.9%	33.3%	18.8%
年 齢	18歳・19歳	1	100.0%	0.0%	0.0%
	20歳代	41	78.0%	12.2%	9.8%
	30歳代	104	63.5%	33.7%	2.9%
	40歳代	149	58.4%	36.9%	4.7%
	50歳代	133	63.2%	33.1%	3.8%
	60～64歳	141	58.9%	33.3%	7.8%
	65～74歳	273	61.9%	28.6%	9.5%
	75歳以上	227	59.5%	25.6%	15.0%
無回答	26	42.3%	38.5%	19.2%	

《学習内容》

「生涯学習に取り組んだ」と回答した人の内容は「健康・スポーツに関すること(健康体操、ジョギング、水泳など)」(56.7%) が最も高く、次いで「趣味的なもの(音楽、美術、書道、茶道、写真、陶芸など)」(46.4%) 「ボランティア活動(青少年・自治会活動、手話、介護、福祉など)」(26.8%) となっています。

項 目	割 合
健康・スポーツに関すること(健康体操、ジョギング、水泳など)	56.7%
趣味的なもの(音楽、美術、書道、茶道、写真、陶芸など)	46.4%
ボランティア活動(青少年・自治会活動、手話、介護、福祉など)	26.8%
家庭生活に役立つ知識や技能(料理、洋裁、和裁、介護など)	23.4%
パソコン・インターネットに関すること	22.0%
職業上必要な知識・技能(仕事関連の知識習得、資格取得など)	21.9%
教養的なもの(文学、歴史、政治、経済、自然科学など)	16.6%
自然体験活動(キャンプ、登山、自然観察、農林漁業体験など)	11.8%
子育てに関すること(育児、教育問題など)	11.1%
語学(英会話など)	7.3%
地域づくり(地域活性化のための知識・技能の修得など)	4.8%
その他の生涯学習	1.5%
対 象	668人

※複数選択可能で、割合は各項目の選択者数を対象者数で除したものです。

【設問30】生涯学習で学んだことをどのように生かしたいと思いますか？

「自分や家族の教養・生活の向上」(58.7%)が最も高く、次いで「日常生活に必要な知識を得る」(46.3%) 「地域づくりやまちづくり活動」(20.7%) となっています。

項 目	割 合
自分や家族の教養・生活の向上	58.7%
日常生活に必要な知識を得る	46.3%
地域づくりやまちづくり活動	20.7%
社会福祉活動	15.9%
現在の仕事や就職・転職	15.4%
資格取得	10.5%
その他	0.7%
特にない	9.4%
無回答	0.0%
対 象	668人

※複数選択可能で、割合は各項目の選択者数を対象者数で除したものです。

【設問31】生涯学習をしなかった理由は何ですか？

設問29で「特にしていない」と回答した人の理由として「時間の余裕がない」(38.3%)が最も高く、次いで「きっかけがない」(27.7%)「めんどうである」(16.6%)となっています。

項 目	割 合
時間の余裕がない	38.3%
きっかけがない	27.7%
めんどうである	16.6%
費用がかかる	15.4%
必要な情報が入手できない	11.4%
身近なところに学習・活動できる施設や場所がない	10.5%
学ぶ必要を感じない	10.2%
仲間がいない	9.9%
適当な指導者がいない	3.3%
その他	6.3%
特になし	16.6%
無回答	3.9%
対 象	332人

※複数選択可能で、割合は各項目の選択者数を対象者数で除したものです。

【設問32】今後、ぜひ学ぶ必要があると思うテーマは何ですか？

「健康の維持や増進に関すること」(46.6%)が最も高く、次いで「高齢者の生きがいに関すること」(39.0%)「環境問題・自然保護」(24.7%)となっています。

項 目	割 合
健康の維持や増進に関すること	46.6%
高齢者の生きがいに関すること	39.0%
環境問題・自然保護	24.7%
パソコン・インターネット	20.3%
地域活性化・まちづくり	19.6%
子育て・家庭教育	14.7%
学校教育・子どもの教育	14.2%
スポーツ	11.6%
消費者問題	9.7%
就職対策や職業能力の向上	9.3%
芸術・伝統文化に関すること	9.2%
地域の教育力の向上に関すること	6.0%
NPO・ボランティア活動	5.3%
国際交流や国際問題	5.2%
人権問題に関すること	3.3%
男女共同参画に関すること	2.7%
その他	1.0%
分からない	8.2%
無回答	9.0%
対 象	1,095人

※複数選択可能で、割合は各項目の選択者数を対象者数で除したものです。

【設問33】 公民館が、どんな施設であることを期待しますか？

「高齢者が気楽に集い利用できる施設」(44.7%)が最も高く、次いで「地域住民の文化・教養を向上させるための施設」(40.2%)「地域住民が利用したい時に利用できる貸館施設」(33.9%)となっています。

また、年齢別では、20・30歳代では「地域の子育て支援のための拠点施設」、50歳代では「地域のコミュニティ活動、ボランティア活動などを支援するための施設」、40歳代・60歳以上では「高齢者が気楽に集い利用できる施設」が最も高くなっています。

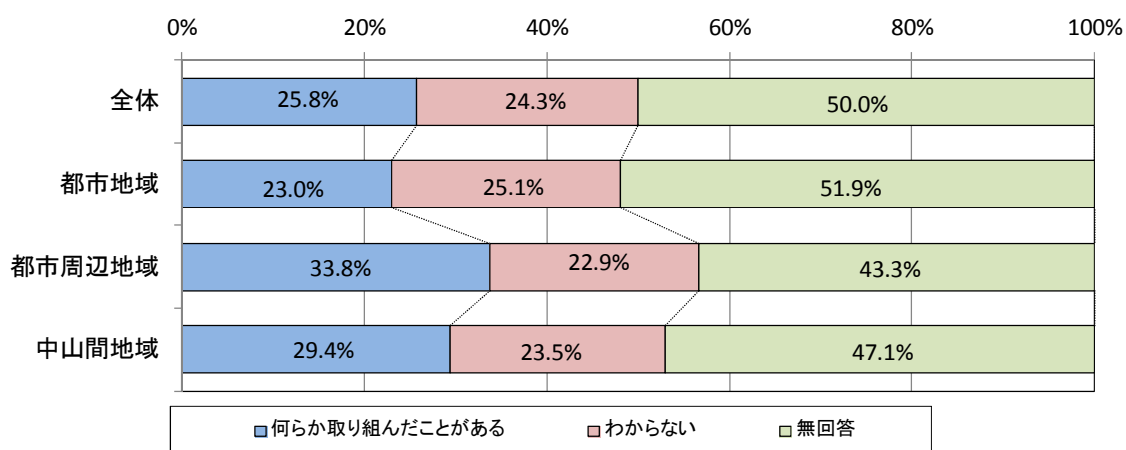
項 目	割合
高齢者が気楽に集い利用できる施設	44.7%
地域住民の文化・教養を向上させるための施設	40.2%
地域住民が利用したい時に利用できる貸館施設	33.9%
地域のコミュニティ活動、ボランティア活動などを支援するための施設	31.8%
生涯学習をするための情報提供や相談、アドバイスをしてくれる施設	22.1%
地域の子育て支援のための拠点施設	18.7%
地域の課題を解決するための学習を行う施設	12.8%
青少年が気楽に集い利用できる施設	11.6%
その他	0.3%
わからない	5.1%
無回答	7.2%
対 象	1,095

※複数選択可能で、割合は各項目の選択者数を対象者数で除したものです。

		回答者(人)	地域住民の文化・教養を向上させるための施設	地域の課題を解決するため	生涯学習、相談、アドバイスの情報提供	地域の子育て支援のための拠点施設	高齢者が気楽に集い利用できる施設	青少年が気楽に集い利用できる施設	地域のコミュニティ活動などを支援するための施設	地域住民が利用したい時に利用できる貸館施設	その他	わからない	無回答
全 体		1,095	40.2%	12.8%	22.1%	18.7%	44.7%	11.6%	31.8%	33.9%	0.3%	5.1%	7.2%
地域別	都市地域	700	39.9%	12.9%	22.3%	19.0%	46.9%	12.6%	32.3%	32.1%	0.3%	5.1%	7.1%
	都市周辺地域	231	38.5%	10.4%	19.0%	18.2%	39.8%	10.4%	34.2%	40.3%	0.4%	5.6%	6.9%
	中山間地域	136	43.4%	17.6%	28.7%	19.1%	44.9%	9.6%	23.5%	33.1%	0.0%	4.4%	5.9%
	無回答	28	46.4%	7.1%	10.7%	14.3%	32.1%	7.1%	39.3%	28.6%	0.0%	3.6%	17.9%
性別	男性	490	39.0%	14.7%	20.2%	17.8%	46.9%	12.9%	33.7%	30.6%	0.4%	5.1%	6.7%
	女性	557	41.7%	11.8%	24.4%	20.1%	42.5%	10.6%	30.9%	37.0%	0.2%	5.0%	7.2%
	無回答	48	35.4%	4.2%	14.6%	12.5%	47.9%	10.4%	22.9%	31.3%	0.0%	6.3%	12.5%
年 齢	18歳・19歳	1	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	20歳代	41	29.3%	12.2%	24.4%	31.7%	26.8%	19.5%	29.3%	31.7%	0.0%	2.4%	9.8%
	30歳代	104	33.7%	13.5%	19.2%	42.3%	38.5%	21.2%	30.8%	36.5%	1.0%	4.8%	2.9%
	40歳代	149	36.2%	8.7%	23.5%	32.9%	43.6%	17.4%	40.3%	37.6%	0.0%	5.4%	2.7%
	50歳代	133	34.6%	15.0%	31.6%	20.3%	33.1%	14.3%	39.8%	33.8%	0.8%	5.3%	6.0%
	60～64歳	141	37.6%	17.0%	21.3%	18.4%	43.3%	5.7%	33.3%	41.8%	0.0%	6.4%	3.5%
	65～74歳	273	45.8%	11.7%	20.9%	9.5%	50.9%	8.1%	33.0%	31.9%	0.4%	4.0%	8.8%
	75歳以上	227	45.8%	13.7%	20.3%	7.5%	52.9%	8.4%	19.8%	28.6%	0.0%	5.7%	12.3%
無回答	26	38.5%	3.8%	7.7%	11.5%	38.5%	11.5%	30.8%	26.9%	0.0%	7.7%	11.5%	

【設問34】 この1年間に、学校と連携した次のような地域活動をしましたか？

「何らか取り組んだことがある」と回答した人の割合が 25.8%となっています。



《地域別》

「何らか取り組んだことがある」と回答した人の割合は、都市周辺地域(33.8%)が最も高く、次いで中山間地域(29.4%)、都市地域(23.0%)となっています。

《性別》

「何らか取り組んだことがある」と回答した人の割合は、男性(25.9%)、女性(26.2%)となっています。

《年齢別》

「何らか取り組んだことがある」と回答した人の割合は、40歳代(43.6%)が最も高く、次いで30歳代(29.8%)、75歳以上(28.6%)となっています。

		回答者 (人)	何らか 取り組 んだ 割合	わ か ら な い 割合	無 回 答 割合
全 体		1,095	25.8%	24.3%	50.0%
地 域 別	都市地域	700	23.0%	25.1%	51.9%
	都市周辺地域	231	33.8%	22.9%	43.3%
	中山間地域	136	29.4%	23.5%	47.1%
	無回答	28	10.7%	17.9%	71.4%
性 別	男性	490	25.9%	27.6%	46.5%
	女性	557	26.2%	22.1%	51.7%
	無回答	48	18.8%	16.7%	64.6%
年 齢	18歳・19歳	1	100.0%	0.0%	0.0%
	20歳代	41	9.8%	39.0%	51.2%
	30歳代	104	29.8%	33.7%	36.5%
	40歳代	149	43.6%	19.5%	36.9%
	50歳代	133	21.1%	27.8%	51.1%
	60～64歳	141	16.3%	29.1%	54.6%
	65～74歳	273	22.3%	23.1%	54.6%
	75歳以上	227	28.6%	17.6%	53.7%
無回答	26	15.4%	19.2%	65.4%	

《連携内容》

「何らか取り組んだことがある」と回答した人では「環境整備ボランティア(学校敷地内の草刈り、植木の手入れ、施設の清掃など)」(34.8%) が最も高く、次いで「交通安全見守り隊」(29.1%) 「その他の地域活動」(28.4%)となっています。

項 目	割 合
環境整備ボランティア（学校敷地内の草刈り、植木の手入れ、施設の清掃など）	34.8%
交通安全見守り隊	29.1%
その他の地域活動	28.4%
PTA・子ども会役員	23.0%
昔遊びや伝統芸能の指導者	8.2%
学習アシスタント（授業補助、本の読み聞かせ、部活動指導など）	5.0%
学校運営協議会委員	4.6%
放課後子ども教室の安全管理員	2.5%
対 象	282人

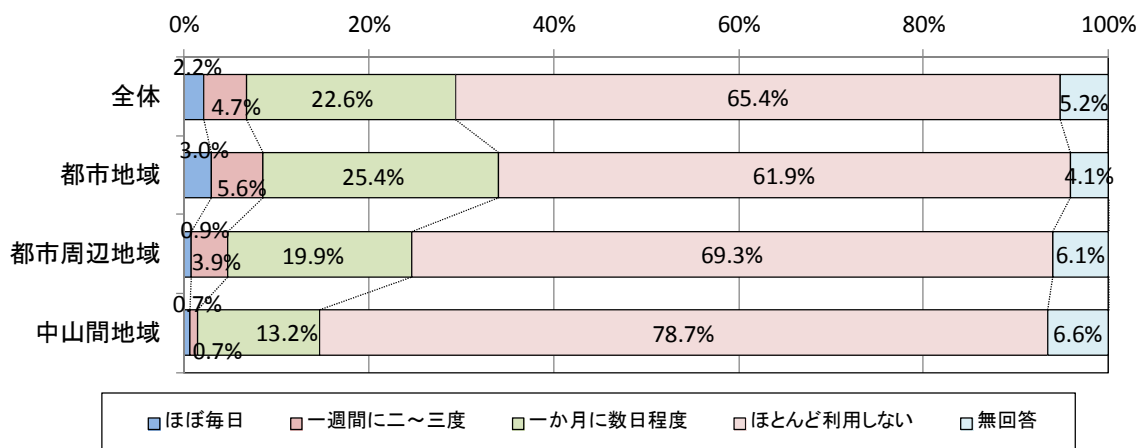
※複数選択可能で、割合は各項目の選択者数を対象者数で除したものです。

■ 公共交通機関の利用状況

【設問35】 バスや鉄道などの公共交通機関を使う頻度はどのくらいですか？

公共交通機関を使う頻度は「ほとんど利用しない」(65.4%)が最も高く、次いで「一か月に数日程度」(22.6%)「一週間に二～三度」(4.7%)となっています。

なお「ほとんど利用しない」理由(自由記述)の主な回答は「自動車・マイカー利用」(419人)「バイク利用」(16人)「駅・バス停が遠い」(12人)「不便だから」(12人)などとなっています。



《地域別》

「ほとんど利用しない」を選択した人の割合は、中山間地域(78.7%)、都市周辺地域(69.3%)、都市地域(61.9%)の順で高くなっています。

《年齢別》

「ほぼ毎日」を選択した人の割合は20歳代(4.9%)、「一週間に二～三度」は75歳以上(11.5%)が最も高くなっています。

一方、「ほとんど利用しない」は75歳以上(51.1%)が最も低く、年齢層が若くなるとともに率が上昇しています。

		回答者(人)	ほぼ毎日	一週間に二～三度	一か月に数日程度	ほとんど利用しない	無回答
全体		1,095	2.2%	4.7%	22.6%	65.4%	5.2%
地域別	都市地域	700	3.0%	5.6%	25.4%	61.9%	4.1%
	都市周辺地域	231	0.9%	3.9%	19.9%	69.3%	6.1%
	中山間地域	136	0.7%	0.7%	13.2%	78.7%	6.6%
	無回答	28	0.0%	7.1%	17.9%	57.1%	17.9%
年齢	18歳・19歳	1	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%
	20歳代	41	4.9%	2.4%	26.8%	58.5%	7.3%
	30歳代	104	1.9%	1.0%	14.4%	79.8%	2.9%
	40歳代	149	3.4%	2.7%	18.8%	73.2%	2.0%
	50歳代	133	1.5%	3.0%	21.1%	69.2%	5.3%
	60～64歳	141	2.1%	3.5%	22.0%	68.8%	3.5%
	65～74歳	273	1.1%	3.3%	24.5%	65.9%	5.1%
	75歳以上	227	3.1%	11.5%	26.0%	51.1%	8.4%
無回答	26	0.0%	3.8%	30.8%	53.8%	11.5%	

【設問36】 買い物や医療機関に出向くとき、主にどの交通手段を利用しますか？

買い物や医療機関に出向くときの主な交通手段は「自家用車・バイク」(69.6%)が最も高く、次いで「徒歩」(9.8%)「自転車」(9.6%)となっています。

また、「バス」(3.6%)と「鉄道」(0.4%)を合わせた利用割合は4.0%となっています。

《地域別》

「自家用車・バイク」を選択した人の割合は、中山間地域(83.1%)、都市周辺地域(76.6%)都市地域(65.4%)の順で高くなっています。

「バス」と「鉄道」を合わせた割合は、都市周辺地域(5.2%)が最も高く、次いで都市地域(3.8%)中山間地域(2.2%)となっています。

《年齢別》

「自家用車・バイク」を選択した人の割合は、40歳代(84.6%)が最も高く、次いで50歳代(82.0%)30歳代(80.8%)となっています。

「バス」と「鉄道」を合わせた割合は、75歳以上(9.3%)が最も高く、次いで60～64歳(4.2%)65～74歳(3.7%)となっており、高齢になるほどバスや鉄道の利用が高い傾向にあります。

		回答者 (人)	徒歩	自転車	自家用車・ バイク	バス	鉄道	タクシー	その他	無回答
全体		1,095	9.8%	9.6%	69.6%	3.6%	0.4%	1.9%	1.2%	4.0%
地域別	都市地域	700	12.9%	11.9%	65.4%	3.7%	0.1%	1.6%	0.9%	3.6%
	都市周辺地域	231	4.3%	5.6%	76.6%	3.9%	1.3%	3.0%	1.3%	3.9%
	中山間地域	136	2.9%	4.4%	83.1%	2.2%	0.0%	1.5%	2.2%	3.7%
	無回答	28	10.7%	10.7%	50.0%	3.6%	0.0%	3.6%	3.6%	17.9%
年齢	18歳・19歳	1	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	20歳代	41	0.0%	9.8%	80.5%	0.0%	0.0%	0.0%	2.4%	7.3%
	30歳代	104	3.8%	11.5%	80.8%	0.0%	0.0%	1.9%	0.0%	1.9%
	40歳代	149	6.7%	6.0%	84.6%	1.3%	0.0%	0.0%	0.0%	1.3%
	50歳代	133	6.0%	5.3%	82.0%	1.5%	0.0%	0.0%	0.0%	5.3%
	60～64歳	141	11.3%	11.3%	70.9%	3.5%	0.7%	0.0%	0.0%	2.1%
	65～74歳	273	6.2%	10.6%	74.4%	2.6%	1.1%	1.1%	0.4%	3.7%
	75歳以上	227	22.0%	10.6%	41.4%	9.3%	0.0%	6.2%	4.4%	6.2%
無回答	26	7.7%	11.5%	50.0%	7.7%	0.0%	7.7%	3.8%	11.5%	

■ 市役所の窓口・電話対応

【設問37】市役所(総合支所・支所含む)での職員の窓口対応について、どう感じられましたか？

《みだしなみ・服装》

「非常に良かった」(15.8%)「どちらかといえば良かった」(63.6%) となっており、79.4%の人がおおむね良かったと回答されています。

《あいさつ・言葉づかい》

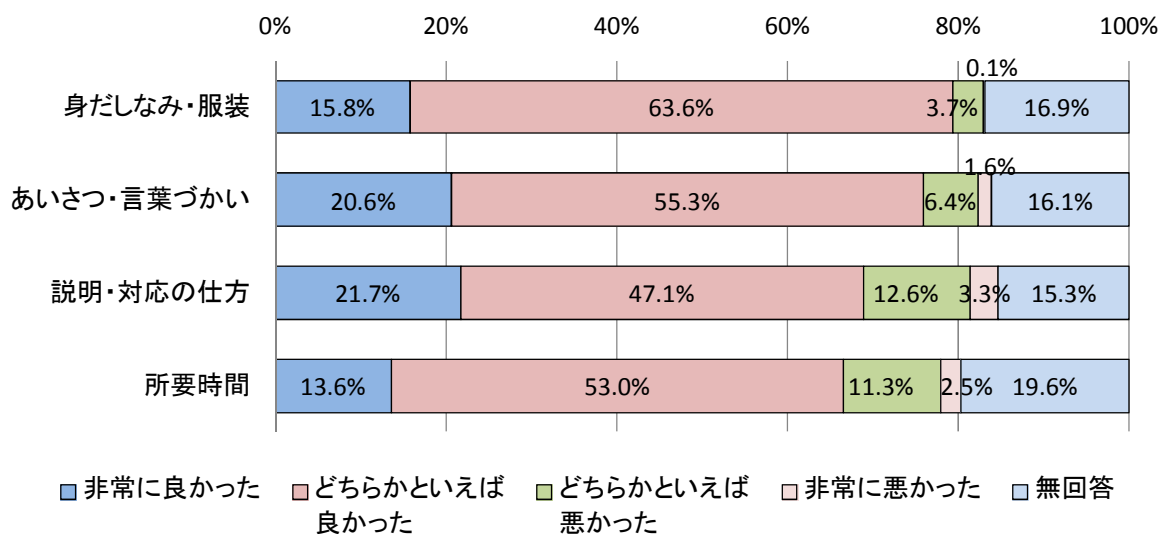
「非常に良かった」(20.6%)「どちらかといえば良かった」(55.3%) となっており、75.9%の人がおおむね良かったと回答されています。

《説明・対応の仕方》

「非常に良かった」(21.7%)「どちらかといえば良かった」(47.1%) となっており、68.8%の人がおおむね良かったと回答されています。

《所要時間》

「非常に良かった」(13.6%)「どちらかといえば良かった」(53.0%) となっており、66.6%の人がおおむね良かったと回答されています。



【設問38】市役所(総合支所・支所含む)での職員の電話対応について、どう感じられましたか？

《電話の印象》

「非常に良かった」(13.1%)「どちらかといえば良かった」(35.6%)を合わせた割合が48.7%で「どちらかといえば悪かった」(5.2%)「非常に悪かった」(1.4%)を合わせた割合の6.6%を大幅に上回り、おおむね良かったと回答されています。

《あいさつ・言葉づかい》

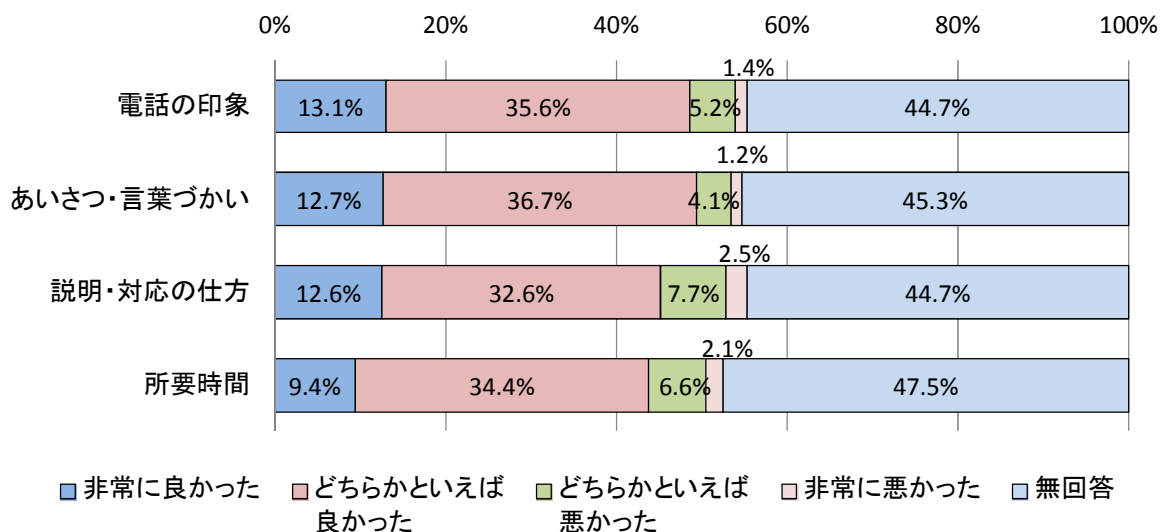
「非常に良かった」(12.7%)「どちらかといえば良かった」(36.7%)を合わせた割合が49.4%で「どちらかといえば悪かった」(4.1%)「非常に悪かった」(1.2%)を合わせた割合の5.3%を大幅に上回り、おおむね良かったと回答されています。

《説明・対応の仕方》

「非常に良かった」(12.6%)「どちらかといえば良かった」(32.6%)を合わせた割合が45.2%で「どちらかといえば悪かった」(7.7%)「非常に悪かった」(2.5%)を合わせた割合の10.2%を大幅に上回り、おおむね良かったと回答されています。

《所要時間》

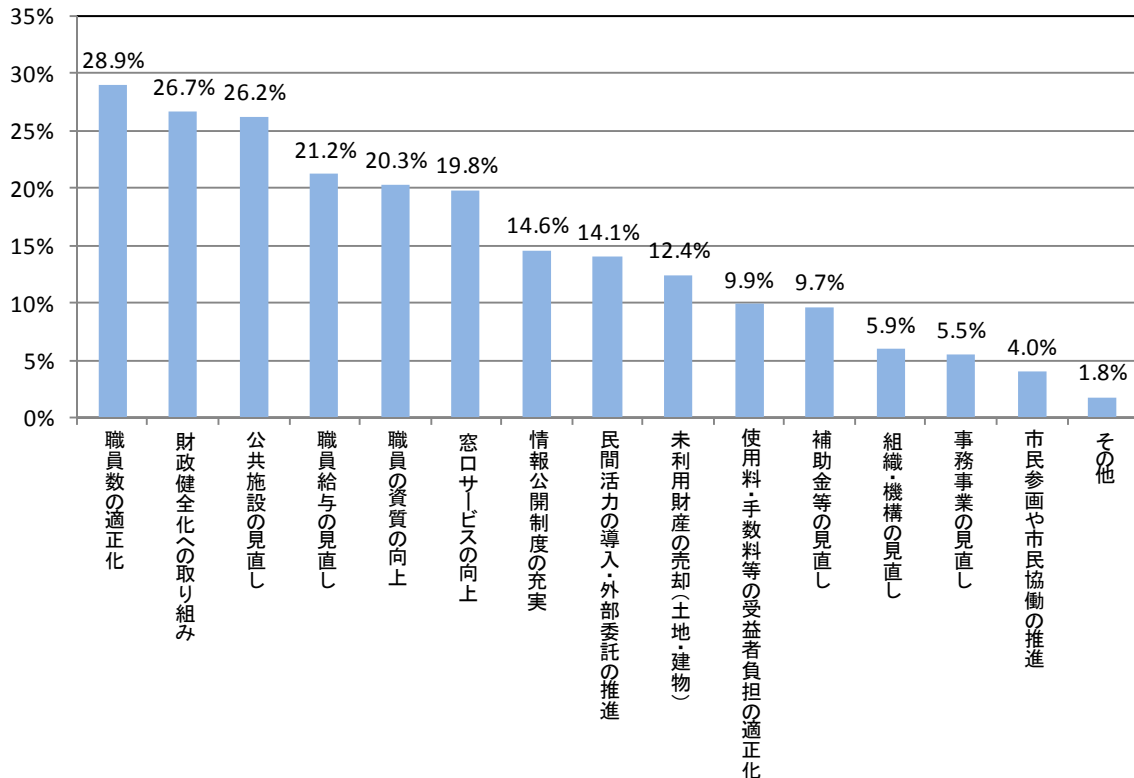
「非常に良かった」(9.4%)「どちらかといえば良かった」(34.4%)を合わせた割合が43.8%で「どちらかといえば悪かった」(6.6%)「非常に悪かった」(2.1%)を合わせた割合の8.7%を大幅に上回り、おおむね良かったと回答されています。



■ 今後の行財政改革への取り組み

【設問39】市では、より一層効率的な市政運営や市民サービスの向上を図るため、行財政改革に積極的に取り組んでいます。今後、何に重点的に取り組むべきと思いますか？

「職員数の適正化」を選択した人の割合(28.9%)が最も高く、次いで「財政健全化への取り組み」(26.7%)「公共施設の見直し」(26.2%)となっています。



《地域別》

都市地域では「職員数の適正化」(29.3%)「公共施設の見直し」(26.4%)「財政健全化への取り組み」(26.0%)の順で高くなっています。

都市周辺地域では「財政健全化への取り組み」(30.3%)「職員数の適正化」(26.8%)「公共施設の見直し」(25.1%)の順で高くなっています。

中山間地域では「職員数の適正化」(29.4%)「公共施設の見直し」(27.2%)「財政健全化への取り組み」(26.5%)の順で高くなっています。

《年齢別》

20歳代と30歳代では「公共施設の見直し」が最も高く、40歳代から60～64歳までは「職員数の適正化」が最も高くなっています。

65～74歳では「職員数の適正化」と「財政健全化への取り組み」が最も高く、75歳以上では「財政健全化への取り組み」が最も高くなっています。

項目	全体	都市地域	都市周辺地域	中山間地域
職員数の適正化	28.9%	29.3%	26.8%	29.4%
財政健全化への取り組み	26.7%	26.0%	30.3%	26.5%
公共施設の見直し	26.2%	26.4%	25.1%	27.2%
職員給与の見直し	21.2%	22.9%	21.2%	12.5%
職員の資質の向上	20.3%	19.7%	20.8%	22.8%
窓口サービスの向上	19.8%	19.4%	20.8%	20.6%
情報公開制度の充実	14.6%	15.3%	13.9%	13.2%
民間活力の導入・外部委託の推進	14.1%	15.6%	13.0%	9.6%
未利用財産の売却(土地・建物)	12.4%	12.1%	12.6%	13.2%
使用料・手数料等の受益者負担の適正化	9.9%	11.0%	7.4%	8.1%
補助金等の見直し	9.7%	9.7%	8.7%	12.5%
組織・機構の見直し	5.9%	6.4%	6.1%	2.9%
事務事業の見直し	5.5%	5.6%	5.6%	4.4%
市民参画や市民協働の推進	4.0%	4.1%	3.9%	4.4%
その他	1.8%	1.7%	2.2%	2.2%
無回答	11.2%	10.1%	12.1%	13.2%
対象者数	1,095人	700人	231人	136人

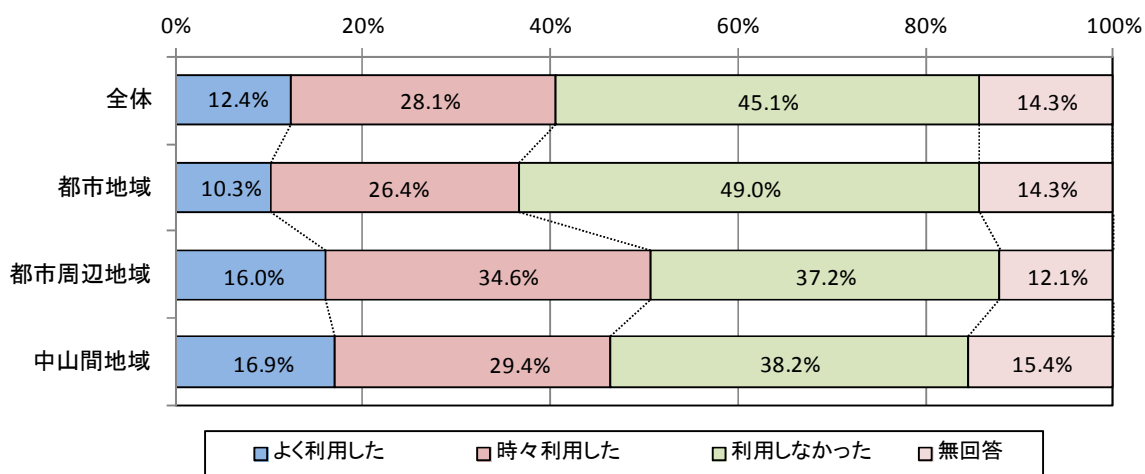
※複数選択可能で、割合は、各項目を選択した人数を、それぞれの対象者数で除したものです。

項目	全体	18歳・19歳	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60～64歳	65～74歳	75歳以上
職員数の適正化	28.9%	0.0%	19.5%	26.9%	30.2%	33.8%	31.9%	32.6%	22.0%
財政健全化への取り組み	26.7%	100.0%	24.4%	20.2%	23.5%	17.3%	26.2%	32.6%	31.3%
公共施設の見直し	26.2%	0.0%	43.9%	27.9%	26.8%	23.3%	29.8%	22.7%	25.6%
職員給与の見直し	21.2%	100.0%	22.0%	26.9%	19.5%	24.1%	22.7%	22.7%	15.0%
職員の資質の向上	20.3%	0.0%	14.6%	20.2%	25.5%	26.3%	21.3%	18.7%	16.3%
窓口サービスの向上	19.8%	0.0%	17.1%	18.3%	21.5%	23.3%	22.0%	17.9%	18.9%
情報公開制度の充実	14.6%	0.0%	12.2%	7.7%	14.8%	13.5%	23.4%	12.8%	15.9%
民間活力の導入・外部委託の推進	14.1%	0.0%	9.8%	15.4%	14.8%	21.8%	10.6%	13.2%	13.2%
未利用財産の売却(土地・建物)	12.4%	0.0%	9.8%	13.5%	10.7%	12.8%	10.6%	12.5%	14.1%
使用料・手数料等の受益者負担の適正化	9.9%	0.0%	24.4%	12.5%	15.4%	6.0%	8.5%	8.4%	7.0%
補助金等の見直し	9.7%	0.0%	22.0%	14.4%	10.1%	8.3%	9.9%	9.9%	5.7%
組織・機構の見直し	5.9%	0.0%	7.3%	8.7%	6.7%	5.3%	4.3%	7.3%	3.5%
事務事業の見直し	5.5%	0.0%	2.4%	8.7%	6.0%	4.5%	7.1%	5.9%	3.1%
市民参画や市民協働の推進	4.0%	100.0%	4.9%	6.7%	4.0%	6.0%	2.1%	2.2%	4.8%
その他	1.8%	0.0%	2.4%	1.9%	2.7%	2.3%	1.4%	1.5%	1.8%
無回答	11.2%	0.0%	4.9%	6.7%	6.0%	10.5%	8.5%	12.8%	17.2%
対象者数	1,095人	1人	41人	104人	149人	133人	141人	273人	227人

【設問40】 この1年間に、次のような公共施設を利用しましたか？

〔公民館・コミュニティセンターなどの市民交流施設〕

「利用しなかった」(45.1%)が最も高く、次いで「時々利用した」(28.1%)「よく利用した」(12.4%)となっています。



《地域別》

「よく利用した」と回答した人の割合は、中山間地域(16.9%)が最も高く、次いで都市周辺地域(16.0%)、都市地域(10.3%)となっています。

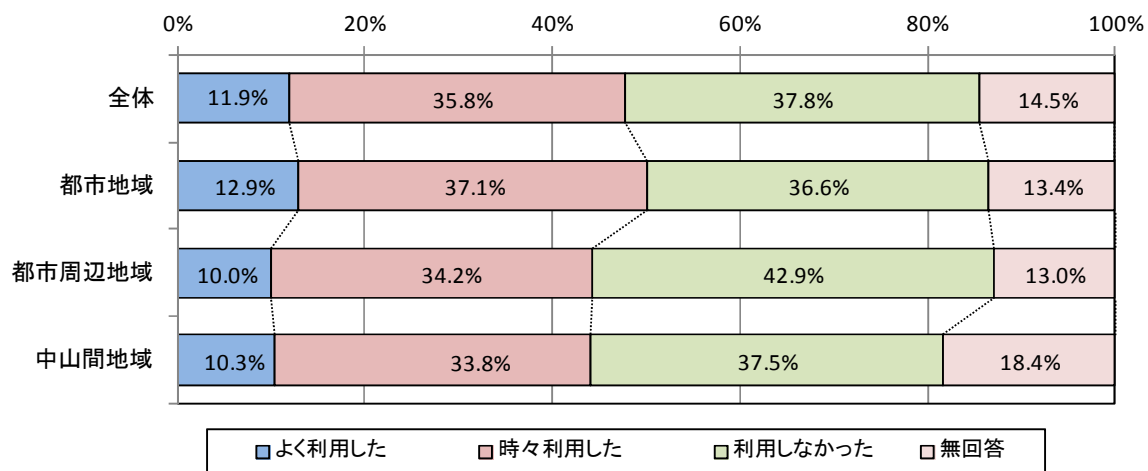
《年齢別》

「よく利用した」と回答した人の割合は、75歳以上(15.9%)が最も高く、次いで65～74歳(15.0%)、40歳代(12.1%)で高くなっています。

		回答者(人)	よく利用した	時々利用した	利用しなかった	無回答
全体		1,095	12.4%	28.1%	45.1%	14.3%
地域別	都市地域	700	10.3%	26.4%	49.0%	14.3%
	都市周辺地域	231	16.0%	34.6%	37.2%	12.1%
	中山間地域	136	16.9%	29.4%	38.2%	15.4%
	無回答	28	14.3%	10.7%	46.4%	28.6%
年齢	18歳・19歳	1	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%
	20歳代	41	7.3%	24.4%	58.5%	9.8%
	30歳代	104	10.6%	39.4%	43.3%	6.7%
	40歳代	149	12.1%	31.5%	50.3%	6.0%
	50歳代	133	9.0%	24.8%	55.6%	10.5%
	60～64歳	141	7.8%	24.1%	54.6%	13.5%
	65～74歳	273	15.0%	30.0%	38.5%	16.5%
	75歳以上	227	15.9%	26.0%	35.7%	22.5%
無回答	26	15.4%	7.7%	46.2%	30.8%	

〔図書館・美術博物館・文化会館などの文化施設〕

「利用しなかった」(37.8%)が最も高く、次いで「時々利用した」(35.8%)「よく利用した」(11.9%)となっています。



《地域別》

「よく利用した」と回答した人の割合は、都市地域(12.9%)が最も高く、次いで中山間地域(10.3%)、都市周辺地域(10.0%)となっています。

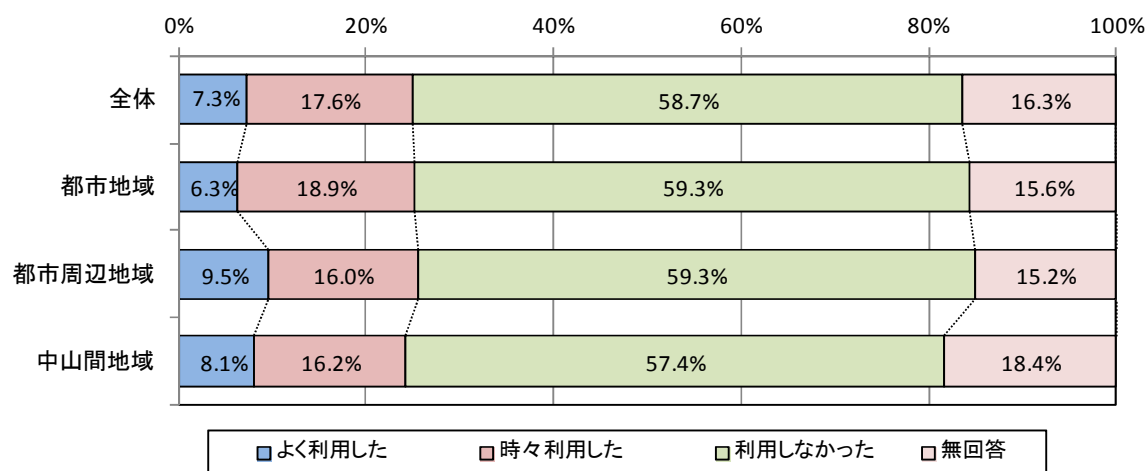
《年齢別》

「よく利用した」と回答した人の割合は、30・40歳代(15.4%)、60～64歳(13.5%)の順となっています。

		回答者(人)	よく利用した	時々利用した	利用しなかった	無回答
全体		1,095	11.9%	35.8%	37.8%	14.5%
地域別	都市地域	700	12.9%	37.1%	36.6%	13.4%
	都市周辺地域	231	10.0%	34.2%	42.9%	13.0%
	中山間地域	136	10.3%	33.8%	37.5%	18.4%
	無回答	28	10.7%	25.0%	28.6%	35.7%
年齢	18歳・19歳	1	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	20歳代	41	12.2%	34.1%	48.8%	4.9%
	30歳代	104	15.4%	44.2%	34.6%	5.8%
	40歳代	149	15.4%	42.3%	37.6%	4.7%
	50歳代	133	7.5%	38.3%	45.9%	8.3%
	60～64歳	141	13.5%	32.6%	41.1%	12.8%
	65～74歳	273	12.8%	37.0%	34.4%	15.8%
	75歳以上	227	8.4%	29.1%	34.4%	28.2%
無回答	26	7.7%	19.2%	42.3%	30.8%	

〔体育館・運動場・プールなどのスポーツ施設〕

「利用しなかった」(58.7%)が最も高く、次いで「時々利用した」(17.6%)「よく利用した」(7.3%)となっています。



《地域別》

「よく利用した」と回答した人の割合は、都市周辺地域(9.5%)が最も高く、次いで中山間地域(8.1%)、都市地域(6.3%)となっています。

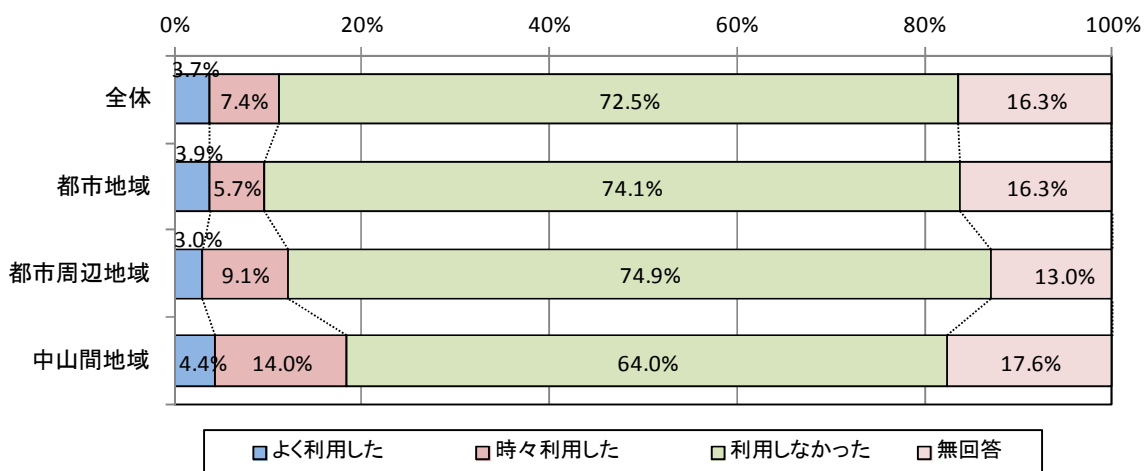
《年齢別》

「よく利用した」と回答した人の割合は、30歳代(14.4%)、40歳代(10.1%)、20歳代(9.8%)などで高くなっています。

		回答者(人)	よく利用した	時々利用した	利用しなかった	無回答
全体		1,095	7.3%	17.6%	58.7%	16.3%
地域別	都市地域	700	6.3%	18.9%	59.3%	15.6%
	都市周辺地域	231	9.5%	16.0%	59.3%	15.2%
	中山間地域	136	8.1%	16.2%	57.4%	18.4%
	無回答	28	10.7%	7.1%	46.4%	35.7%
年齢	18歳・19歳	1	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	20歳代	41	9.8%	29.3%	51.2%	9.8%
	30歳代	104	14.4%	34.6%	48.1%	2.9%
	40歳代	149	10.1%	32.9%	51.7%	5.4%
	50歳代	133	4.5%	16.5%	70.7%	8.3%
	60～64歳	141	5.7%	14.9%	66.7%	12.8%
	65～74歳	273	8.4%	9.9%	61.5%	20.1%
	75歳以上	227	1.8%	11.0%	55.1%	32.2%
無回答	26	15.4%	3.8%	53.8%	26.9%	

〔福祉センター・憩の家・デイサービスセンターなどの福祉施設〕

「利用しなかった」(72.5%)が最も高く、次いで「時々利用した」(7.4%)「よく利用した」(3.7%)となっています。



《地域別》

「よく利用した」と回答した人の割合は、中山間地域(4.4%)が最も高く、次いで都市地域(3.9%)都市周辺地域(3.0%)となっています。

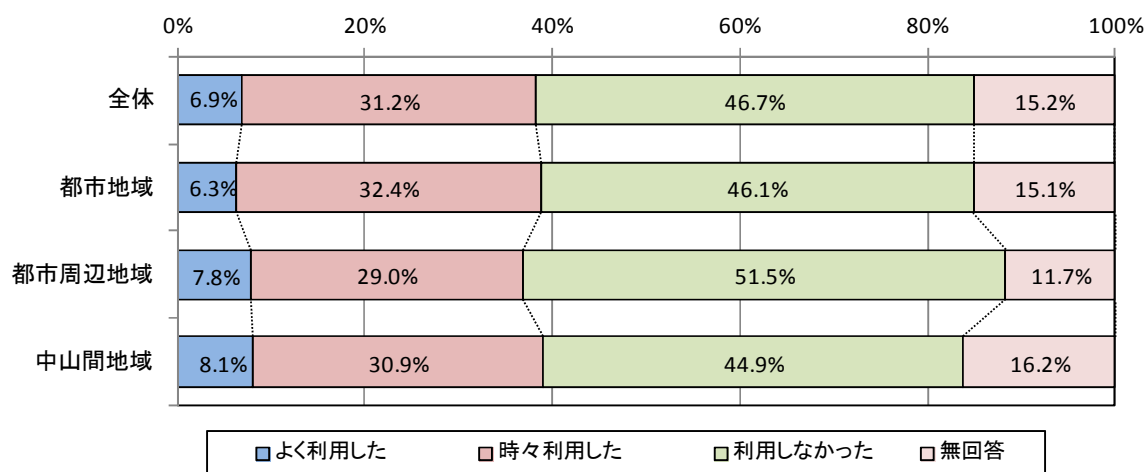
《年齢別》

「よく利用した」と回答した人の割合は、75歳以上(6.6%)、30歳代(3.8%)、40歳代(3.4%)の順となっています。

		回答者(人)	よく利用した	時々利用した	利用しなかった	無回答
全体		1,095	3.7%	7.4%	72.5%	16.3%
地域別	都市地域	700	3.9%	5.7%	74.1%	16.3%
	都市周辺地域	231	3.0%	9.1%	74.9%	13.0%
	中山間地域	136	4.4%	14.0%	64.0%	17.6%
	無回答	28	3.6%	3.6%	53.6%	39.3%
年齢	18歳・19歳	1	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	20歳代	41	0.0%	4.9%	80.5%	14.6%
	30歳代	104	3.8%	5.8%	82.7%	7.7%
	40歳代	149	3.4%	4.0%	85.2%	7.4%
	50歳代	133	2.3%	6.0%	82.7%	9.0%
	60～64歳	141	2.8%	2.8%	80.9%	13.5%
	65～74歳	273	2.9%	9.5%	69.2%	18.3%
	75歳以上	227	6.6%	12.3%	52.4%	28.6%
無回答	26	3.8%	3.8%	61.5%	30.8%	

〔保健センター・市立病院・市立診療所などの保健衛生施設〕

「利用しなかった」(46.7%)が最も高く、次いで「時々利用した」(31.2%)「よく利用した」(6.9%)となっています。



《地域別》

「よく利用した」と回答した人の割合は、中山間地域(8.1%)が最も高く、次いで都市周辺地域(7.8%)、都市地域(6.3%)となっています。

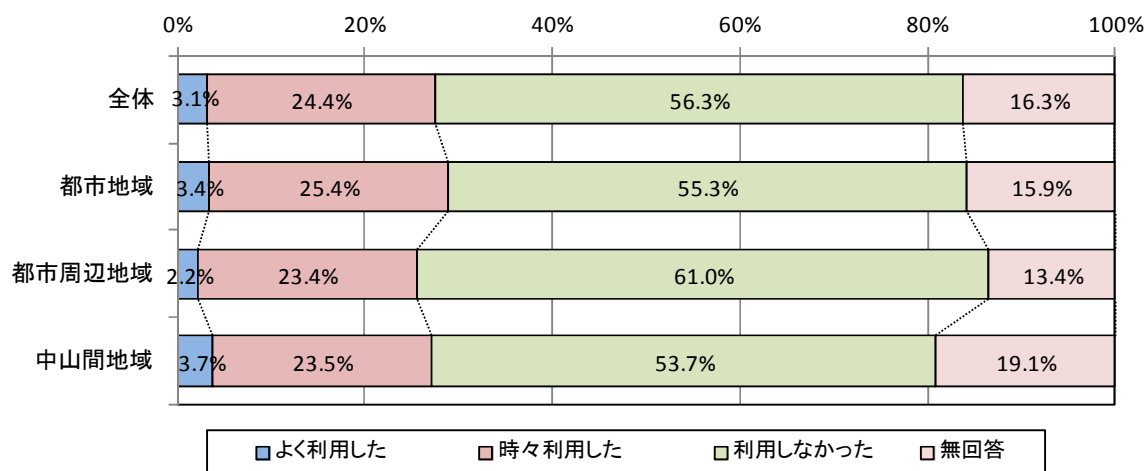
《年齢別》

「よく利用した」と回答した人の割合は、75歳以上(10.6%)が最も高く、次いで30歳代(9.6%)65～74歳(7.0%)となっています。

		回答者(人)	よく利用した	時々利用した	利用しなかった	無回答
全体		1,095	6.9%	31.2%	46.7%	15.2%
地域別	都市地域	700	6.3%	32.4%	46.1%	15.1%
	都市周辺地域	231	7.8%	29.0%	51.5%	11.7%
	中山間地域	136	8.1%	30.9%	44.9%	16.2%
	無回答	28	10.7%	21.4%	28.6%	39.3%
年齢	18歳・19歳	1	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%
	20歳代	41	4.9%	43.9%	39.0%	12.2%
	30歳代	104	9.6%	35.6%	48.1%	6.7%
	40歳代	149	5.4%	39.6%	47.7%	7.4%
	50歳代	133	3.0%	33.8%	54.1%	9.0%
	60～64歳	141	5.0%	24.1%	58.9%	12.1%
	65～74歳	273	7.0%	33.7%	41.8%	17.6%
	75歳以上	227	10.6%	22.9%	41.9%	24.7%
	無回答	26	7.7%	19.2%	34.6%	38.5%

〔宿泊施設・動物園などの観光施設〕

「利用しなかった」(56.3%)が最も高く、次いで「時々利用した」(24.4%)「よく利用した」(3.1%)となっています。



《地域別》

「よく利用した」と回答した人の割合は、中山間地域(3.7%)が最も高く、次いで都市地域(3.4%)、都市周辺地域(2.2%)となっています。

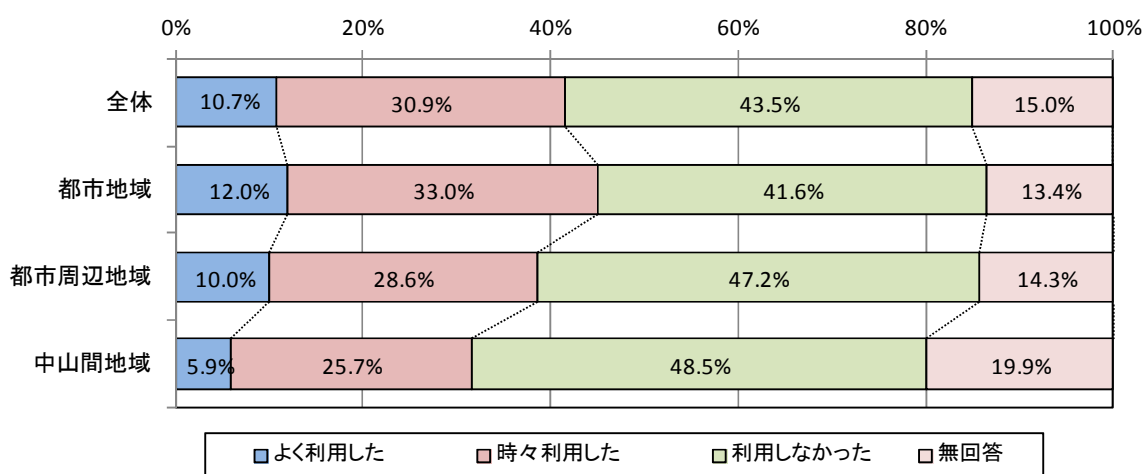
《年齢別》

「よく利用した」と回答した人の割合は、30歳代(13.5%)が最も高く、次いで20歳代(12.2%)40歳代(4.0%)となっています。

		回答者(人)	よく利用した	時々利用した	利用しなかった	無回答
全体		1,095	3.1%	24.4%	56.3%	16.3%
地域別	都市地域	700	3.4%	25.4%	55.3%	15.9%
	都市周辺地域	231	2.2%	23.4%	61.0%	13.4%
	中山間地域	136	3.7%	23.5%	53.7%	19.1%
	無回答	28	0.0%	10.7%	53.6%	35.7%
年齢	18歳・19歳	1	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%
	20歳代	41	12.2%	39.0%	41.5%	7.3%
	30歳代	104	13.5%	54.8%	27.9%	3.8%
	40歳代	149	4.0%	30.9%	58.4%	6.7%
	50歳代	133	1.5%	24.1%	66.9%	7.5%
	60～64歳	141	2.1%	25.5%	59.6%	12.8%
	65～74歳	273	1.5%	19.8%	60.1%	18.7%
	75歳以上	227	0.0%	10.6%	57.7%	31.7%
	無回答	26	0.0%	7.7%	53.8%	38.5%

〔都市公園・児童遊園などの公園や緑地〕

「利用しなかった」(43.5%)が最も高く、次いで「時々利用した」(30.9%)「よく利用した」(10.7%)となっています。



《地域別》

「よく利用した」と回答した人の割合は、都市地域(12.0%)が最も高く、次いで都市周辺地域(10.0%)、中山間地域(5.9%)となっています。

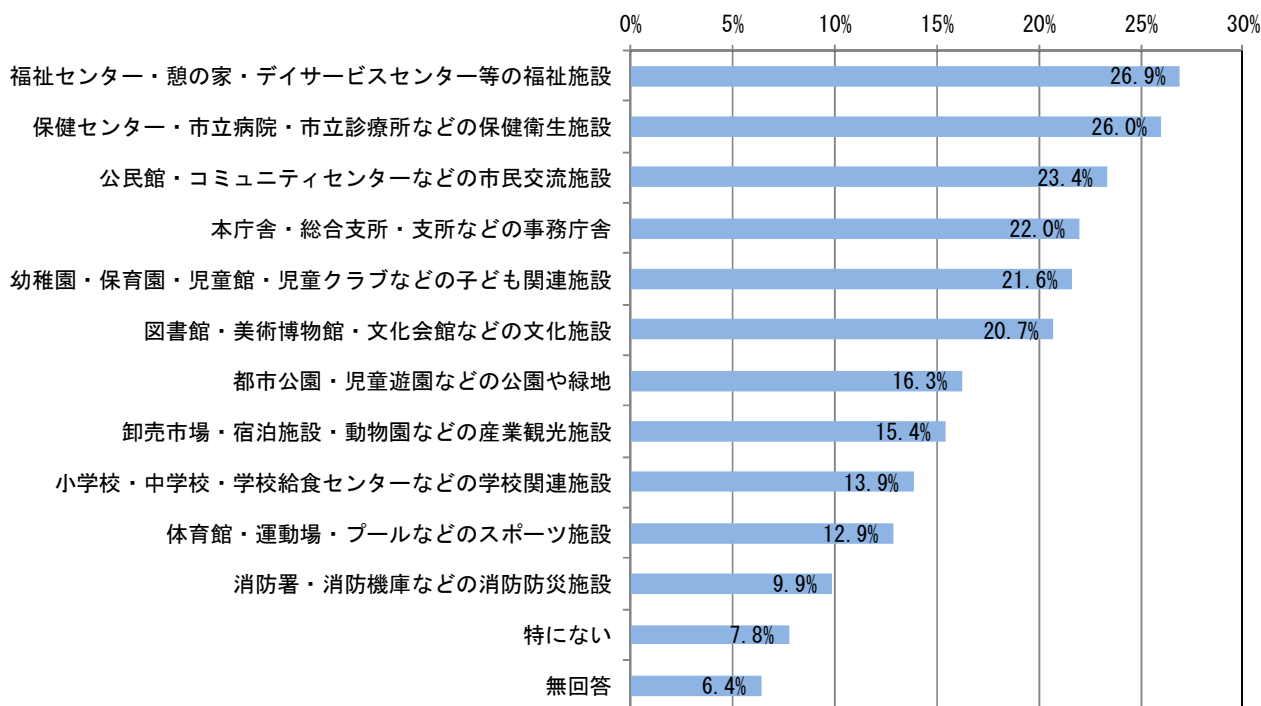
《年齢別》

「よく利用した」と回答した人の割合は、30歳代(25.0%)、40歳代(18.1%)、20歳代(14.6%)の順となっています。

		回答者(人)	よく利用した	時々利用した	利用しなかった	無回答
全体		1,095	10.7%	30.9%	43.5%	15.0%
地域別	都市地域	700	12.0%	33.0%	41.6%	13.4%
	都市周辺地域	231	10.0%	28.6%	47.2%	14.3%
	中山間地域	136	5.9%	25.7%	48.5%	19.9%
	無回答	28	7.1%	21.4%	35.7%	35.7%
年齢別	18歳・19歳	1	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	20歳代	41	14.6%	48.8%	26.8%	9.8%
	30歳代	104	25.0%	54.8%	16.3%	3.8%
	40歳代	149	18.1%	34.2%	43.0%	4.7%
	50歳代	133	6.8%	34.6%	51.9%	6.8%
	60～64歳	141	7.1%	31.2%	51.1%	10.6%
	65～74歳	273	9.2%	27.5%	46.5%	16.8%
	75歳以上	227	4.8%	18.1%	46.7%	30.4%
無回答	26	7.7%	15.4%	38.5%	38.5%	

【設問41】 今後まちづくりを進める上で、特にどの公共施設を充実していくべきとお考えですか？

「福祉センター・憩の家・デイサービスセンターなどの福祉施設」を選択した人の割合(26.9%)が最も高く、次いで「保健センター・市立病院・市立診療所などの保健衛生施設」(26.0%)「公民館・コミュニティセンターなどの市民交流施設」(23.4%)となっています。



《地域別》

都市地域と都市周辺地域では「福祉センター・憩の家・デイサービスセンターなどの福祉施設」、中山間地域では「本庁舎・総合支所・支所などの事務庁舎」が最も高くなっています。

《年齢別》

20・30・50歳代では「幼稚園・保育園・児童館・児童クラブなどの子ども関連施設」、40歳代では「卸売市場・宿泊施設・動物園などの産業観光施設」が最も高くなっています。

また、60～64歳と75歳以上では「福祉センター・憩の家・デイサービスセンターなどの福祉施設」、65～74歳では「保健センター・市立病院・市立診療所などの保健衛生施設」が最も高くなっています。

項目	全体	都市地域	都市周辺地域	中山間地域
福祉センター・憩の家・デイサービスセンターなどの福祉施設	26.9%	27.3%	29.4%	24.3%
保健センター・市立病院・市立診療所などの保健衛生施設	26.0%	25.7%	28.6%	26.5%
公民館・コミュニティセンターなどの市民交流施設	23.4%	23.1%	26.0%	19.1%
本庁舎・総合支所・支所などの事務庁舎	22.0%	21.0%	19.9%	32.4%
幼稚園・保育園・児童館・児童クラブなどの子ども関連施設	21.6%	21.0%	23.4%	22.1%
図書館・美術博物館・文化会館などの文化施設	20.7%	23.3%	17.3%	14.7%
都市公園・児童遊園などの公園や緑地	16.3%	16.4%	19.0%	11.8%
卸売市場・宿泊施設・動物園などの産業観光施設	15.4%	17.6%	11.3%	13.2%
小学校・中学校・学校給食センターなどの学校関連施設	13.9%	14.3%	11.7%	16.2%
体育館・運動場・プールなどのスポーツ施設	12.9%	13.7%	13.4%	8.1%
消防署・消防機庫などの消防防災施設	9.9%	9.0%	10.0%	12.5%
対象者数	1,095人	700人	231人	136人

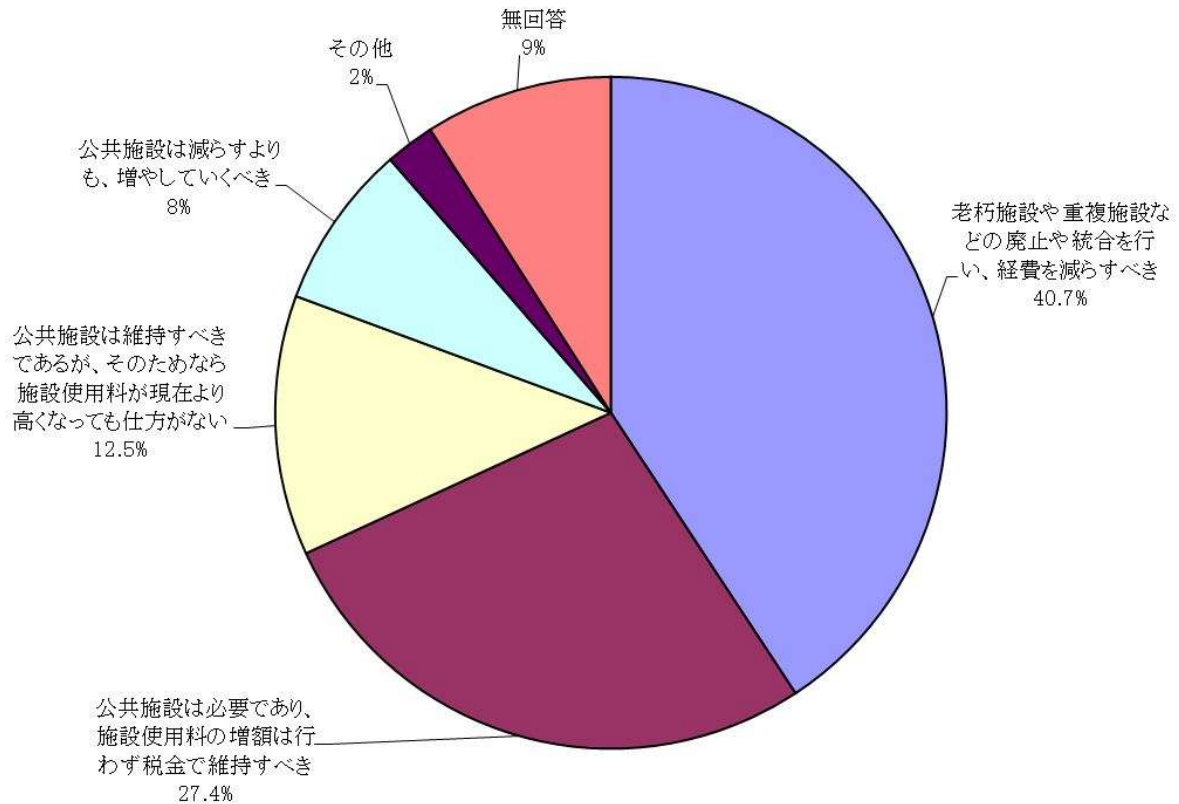
※複数選択可能で、割合は各項目を選択した人数を、それぞれの対象者数で除したものです。

項目	全体	18歳・19歳	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60～64歳	65～74歳	75歳以上
福祉センター・憩の家・デイサービスセンターなどの福祉施設	26.9%	0.0%	17.1%	11.5%	23.5%	30.8%	29.1%	28.9%	32.6%
保健センター・市立病院・市立診療所などの保健衛生施設	26.0%	0.0%	12.2%	22.1%	22.1%	28.6%	25.5%	30.8%	26.9%
公民館・コミュニティセンターなどの市民交流施設	23.4%	100.0%	17.1%	12.5%	17.4%	19.5%	25.5%	25.6%	30.8%
本庁舎・総合支所・支所などの事務庁舎	22.0%	0.0%	14.6%	11.5%	12.8%	19.5%	20.6%	29.3%	27.3%
幼稚園・保育園・児童館・児童クラブなどの子ども関連施設	21.6%	0.0%	41.5%	45.2%	24.2%	31.6%	19.1%	15.8%	8.8%
図書館・美術博物館・文化会館などの文化施設	20.7%	0.0%	29.3%	17.3%	24.2%	21.8%	27.0%	20.9%	15.4%
都市公園・児童遊園などの公園や緑地	16.3%	100.0%	19.5%	32.7%	18.8%	12.0%	20.6%	12.5%	10.6%
卸売市場・宿泊施設・動物園などの産業観光施設	15.4%	0.0%	29.3%	23.1%	27.5%	21.1%	14.9%	8.4%	7.9%
小学校・中学校・学校給食センターなどの学校関連施設	13.9%	100.0%	19.5%	29.8%	26.2%	11.3%	9.9%	9.5%	7.0%
体育館・運動場・プールなどのスポーツ施設	12.9%	0.0%	39.0%	19.2%	18.8%	10.5%	12.1%	12.5%	4.0%
消防署・消防機庫などの消防防災施設	9.9%	0.0%	7.3%	7.7%	10.7%	11.3%	11.3%	10.3%	7.0%
対象者数	1,095人	1人	41人	104人	149人	133人	141人	273人	227人

※複数選択可能で、割合は各項目を選択した人数を、それぞれの対象者数で除したものです。

**【設問42】 福祉や医療・子育てなど、将来に向けて必要な行政サービスを維持するうえで、今後
の本市の公共施設のあり方について、あなたのお考えに近いのはどれですか？**

「老朽施設や重複施設などの廃止や統合を行い、経費を減らすべきである（施設の見直し）」（40.7%）が最も高く、次いで「今ある公共施設は必要であり、施設使用料の増額は行わず、税金を使って現在の施設を維持すべきである（現状維持）」（27.4%）「公共施設は維持すべきであるが、そのためなら、施設使用料が現在より高くなっても仕方がない（使用料値上げによる現状維持）」（12.5%）となっています。



《地域別》

「老朽施設や重複施設などの廃止や統合を行い、経費を減らすべきである（施設の見直し）」と回答した人の割合は、都市地域（41.9%）が最も高く、次いで中山間地域（39.0%）、都市周辺地域（37.2%）となっています。

「今ある公共施設は必要であり、施設使用料の増額は行わず、税金を使って現在の施設を維持すべきである（現状維持）」と回答した人の割合は、中山間地域（34.6%）が最も高く、次いで、都市周辺地域（29.9%）、都市地域（25.7%）となっています。

《年齢別》

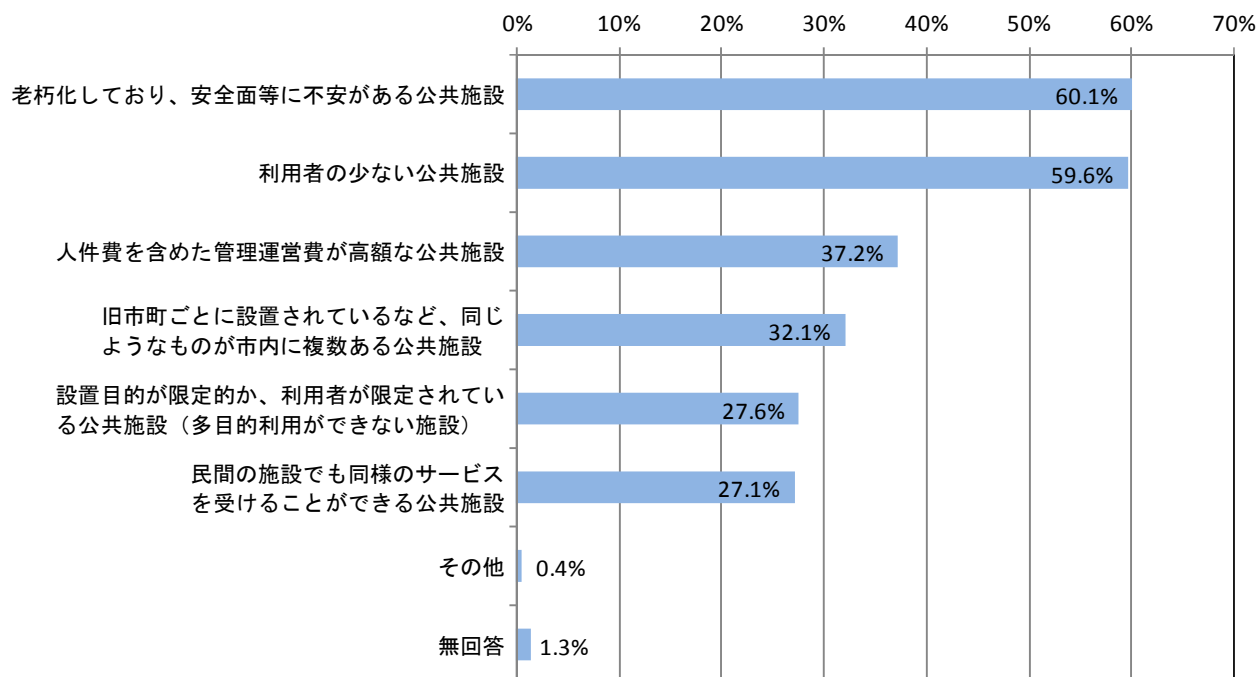
「老朽施設や重複施設などの廃止や統合を行い、経費を減らすべきである（施設の見直し）」と回答した人の割合は、40歳代（53.0%）が最も高く、次いで20歳代（48.8%）、50歳代（45.9%）となっています。

「今ある公共施設は必要であり、施設使用料の増額は行わず、税金を使って現在の施設を維持すべきである（現状維持）」と回答した人の割合は、30歳代（33.7%）、20歳代（31.7%）、75歳以上（28.6%）の順となっています。

		回答者（人）	公共施設は減らすよりも、増やしていくべきである	今ある公共施設は必要であり、施設使用料は増額せず税金を使い現在の施設を維持すべき（現状維持）	公共施設は維持すべきで、そのために施設使用料が高くなっても仕方がない（使用料値上げによる現状維持）	老朽施設や重複施設などを廃止・統合し、経費を減らすべき（施設の見直し）	その他	無回答
全 体		1,095	7.9%	27.4%	12.5%	40.7%	2.4%	9.0%
地域別	都市地域	700	8.6%	25.7%	11.9%	41.9%	2.4%	9.6%
	都市周辺地域	231	6.9%	29.9%	16.5%	37.2%	2.6%	6.9%
	中山間地域	136	6.6%	34.6%	10.3%	39.0%	1.5%	8.1%
	無回答	28	7.1%	14.3%	7.1%	50.0%	3.6%	17.9%
年齢	18歳・19歳	1	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	20歳代	41	7.3%	31.7%	9.8%	48.8%	0.0%	2.4%
	30歳代	104	8.7%	33.7%	8.7%	40.4%	2.9%	5.8%
	40歳代	149	8.1%	26.8%	6.7%	53.0%	2.0%	3.4%
	50歳代	133	4.5%	23.3%	15.8%	45.9%	5.3%	5.3%
	60～64歳	141	7.8%	24.8%	14.2%	40.4%	1.4%	11.3%
	65～74歳	273	8.1%	27.5%	13.9%	39.2%	1.8%	9.5%
	75歳以上	227	10.1%	28.6%	14.5%	29.5%	2.6%	14.5%
無回答	26	3.8%	19.2%	7.7%	50.0%	0.0%	19.2%	

【設問43】 公共施設を見直す際、施設の大規模改修や更新の他、施設の統合・廃止も必要と考えられます。その場合、どのような施設から統合や廃止をしていくべきとお考えですか？

設問42で「老朽施設や重複施設などの廃止や統合を行い、経費を減らすべきである(施設の見直し)」と回答した人では「老朽化しており、安全面等に不安がある公共施設」(60.1%)が最も高く、次いで「利用者の少ない公共施設」(59.6%)「人件費を含めた管理運営費が高額な公共施設」(37.2%)となっています。



《地域別》

都市地域では「利用者の少ない公共施設」、都市周辺地域と中山間地域では「老朽化しており、安全面等に不安がある公共施設」と回答した人の割合が最も高くなっています。

《年齢別》

20歳代から50歳代までは「老朽化しており、安全面等に不安がある公共施設」、60～64歳・75歳以上では「利用者の少ない公共施設」と回答した人の割合が最も高くなっています。

項目	全体	都市地域	都市周辺地域	中山間地域
老朽化しており、安全面等に不安がある公共施設	60.1%	59.0%	60.5%	69.8%
利用者の少ない公共施設	59.6%	61.8%	57.0%	54.7%
人件費を含めた管理運営費が高額な公共施設	37.2%	36.2%	38.4%	43.4%
旧市町ごとに設置されているなど、同じようなものが市内に複数ある公共施設	32.1%	32.1%	34.9%	24.5%
設置目的が限定的か、利用者が限定されている公共施設（多目的利用ができない施設）	27.6%	28.0%	26.7%	26.4%
民間の施設でも同様のサービスを受けることができる公共施設	27.1%	25.6%	32.6%	28.3%
その他	0.4%	0.3%	1.2%	0.0%
無回答	1.3%	1.7%	0.0%	0.0%
対象者数	446人	293人	86人	53人

※複数選択可能で、割合は各項目を選択した人数を、それぞれの対象者数で除したものです。

項目	全体	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60～64歳	65～74歳	75歳以上
老朽化しており、安全面等に不安がある公共施設	60.1%	70.0%	57.1%	55.7%	65.6%	57.9%	60.7%	62.7%
利用者の少ない公共施設	59.6%	55.0%	40.5%	51.9%	60.7%	70.2%	65.4%	64.2%
人件費を含めた管理運営費が高額な公共施設	37.2%	45.0%	45.2%	40.5%	32.8%	42.1%	35.5%	32.8%
旧市町ごとに設置されているなど、同じようなものが市内に複数ある公共施設	32.1%	30.0%	38.1%	30.4%	37.7%	19.3%	33.6%	31.3%
設置目的が限定的か、利用者が限定されている公共施設（多目的利用ができない施設）	27.6%	15.0%	23.8%	27.8%	27.9%	33.3%	26.2%	29.9%
民間の施設でも同様のサービスを受けることができる公共施設	27.1%	35.0%	38.1%	25.3%	29.5%	26.3%	23.4%	26.9%
その他	0.4%	0.0%	0.0%	2.5%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
無回答	1.3%	0.0%	0.0%	2.5%	3.3%	0.0%	0.9%	0.0%
対象者数	446人	20人	42人	79人	61人	57人	107人	67人

※複数選択可能で、割合は各項目を選択した人数を、それぞれの対象者数で除したものです。

【その他】意見・要望など（自由意見記入欄）

※ 論点整理のため、一部加筆、修正及び要約しています。

■ 教育・文化

【教育】

- ・ 小学校、中学校とも校区に関係なく、通学校を自由に選べるようにしてほしい。
- ・ 教育改革を早急に。
- ・ 教育環境を整えるために、財政は教育現場に予算を投入すべき。
- ・ 就学援助の基準が低すぎる。本当に生活が苦しい人に援助してほしい。
- ・ 他市に比べて、小学校や中学校が老朽化していて、耐震強度も低く、子どもが学ぶ場としてとても不安。
- ・ 小中学校の特殊学級を充実させてほしい。人件費重視でICTやコーディネータだけで賄おうとせずに、本採用の経験・専門知識のある職員を望む。

【図書館】

- ・ 中央図書館の老朽化・駐車場が少なく不便。駐車場を増やしてほしい。
- ・ 短時間でもよいので、年末年始や祝日も中央図書館を開館してほしい。
- ・ 開館時間内での利用が難しい。金・土曜日の夜は、20時まで開館してほしい。
- ・ DVDの貸し出し・視聴やカフェを併設した図書館を整備してほしい。

■ 市民生活

【自治会・コミュニティ】

- ・ 高齢化により自治会役員になる人がいない。市役所に自治会課のような面倒を見てくれる便利屋さんの組織が、将来必要になるのでは。
- ・ ボランティアの見守り隊の方々に、市から何らかの敬意を形に表してほしい。
- ・ 地域の活性化のため、地域のリーダー育成や有能な公民館主事を配置してほしい。
- ・ 新南陽コミュニティマイクロバスの更新。

【公共交通】

- ・ 高齢化が進んでいるので、公共交通機関の整備に力を入れてほしい。
- ・ 高齢者の運賃（バス・タクシー）を割引できないか。
- ・ バスやふれあいタクシーの補助金が高額すぎる。退職者ボランティアで運行できないか。
- ・ 櫛ヶ浜駅周辺が汚い。自転車の駐輪を有料に。駅前の池を埋めて、送迎エリアを作るべき。

【交通安全】

- ・ 小学生や高齢者に対する交通安全教育を徹底してほしい。

■ 福祉・保健・医療

【高齢者福祉】

- ・市役所からの公的文書の内容が難しいので、通知した後電話でフォローしてほしい。
- ・高齢者向けの福祉サービスの充実と老人ホームを増やし、安心して老後を迎える環境を整備してほしい。
- ・老後の食事が心配。有料の給食制度を充実してほしい。
- ・行政やNPOなどの一人暮らしの高齢者の見守りのサポートを強化してほしい。
- ・高齢者の生活負担を軽減してほしい。

【障害者福祉】

- ・親子共に障害者で高齢、先行きが不安。障害者の支援を手厚くしてほしい。
- ・障害者福祉を充実させて、重度障害者とその家族が幸せに住みやすいまちにほしい。

【子育て】

- ・順番待ちで子どもが保育園に行けないので、早めに対処してほしい。
- ・週休2日の職場ばかりではない。第2・4土曜日の半日保育を見直してほしい。
- ・保育園の保育料を安くしてほしい。
- ・保育園に通っている子どもを病児保育に預けるときは、保育料を減額してほしい。
- ・育児の不安を抱える若い母親が相談できる年中無休の場所（赤ちゃん広場）を整備し、有能・経験豊富・温かな保健師を待機させてほしい。
- ・ぞうさんの家の駐車場を増やしてほしい。
- ・乳幼児医療の年齢対象の拡充（中学生まで）もしくは一部補助してほしい。
- ・母子家庭より収入が多くても、父親の方が大変。父子家庭の福祉や補助・援助の拡充を。

【生活保護】

- ・持ち家があっても生活保護が受給できる制度の導入。
- ・生活保護を受給して、楽に生活している人がいる。追跡調査をしてほしい。

【医療】

- ・中山間地域の救急医療体制の充実。高齢者は車で通院ができない。
- ・徳山駅周辺に病院を誘致してほしい。
- ・看護師不足。潜在看護師が仕事復帰しやすい環境を作ってほしい。
- ・救急で病院に行ったときにずいぶん待たされ、病状が悪化した。
- ・不妊治療の助成金に利用限度があり、治療費が高額で進められない。
- ・無料でメンタルカウンセリングが受けられるセンターを作ってほしい。

■ 安心安全

【防災・安心安全】

- ・南海トラフ地震を想定した対策、老朽化した上下水道管の取替え、津波対策をどうしているのか広報で公表してほしい。
- ・コンビナート事故などの対策など、近隣住民に何も説明がないので不安。小さい事故でも公表し、状況を説明してほしい。
- ・大雨時に夜市川の水位が上昇して大変危険。堆積している砂や石を除去できないか。
- ・徳山駅前も重要だが、新地周辺も大雨時には床下浸水になる。排水の改善をしてほしい。
- ・薄暗い通学路が多いので、防犯のため、早急に街灯の設置をしてほしい。
- ・配布されたハザードマップに、誤植があったのが残念。

■ 環境共生

【環境】

- ・工場地帯からの排ガスにより市街地の空気が汚い。もう少し規制できないか。
- ・工場が多い海岸エリア、近年の自然環境（水・空気など）の状況や観測データの概略について広報してほしい。
- ・原子力発電に頼らず、安全な太陽光発電の取り組みを進めてほしい。
- ・中国電力や国・県に対して、上関原発の白紙撤回を提言してほしい。
- ・原発を作らせないため、市が率先して自然エネルギー活用のモデルとなってほしい。
- ・動物保護の観点で、地域の野良猫の避妊手術の一部補助をしてほしい。
- ・野良猫の対策を。猫の飼い方のマナーを呼びかけてほしい。
- ・飼い犬か野良犬か分からない犬が近所をうろついている危険。

【ごみ】

- ・ごみの分別が難しい。分別をもう少し大まかにしてほしい。
- ・分かりやすい分別にすることで、不法投棄や分別を無視した捨て方が減る。
- ・会社などは燃えるごみ・燃えないごみに関わらず焼いている。焼却炉があるところは撤去などのお願いや取り締まりができないか。
- ・市全体でゴミ袋の統一をしてほしい。
- ・家庭ごみの集積場所の困難を解消してほしい。

【墓地】

- ・一人暮らしで墓地の管理ができない。共同墓地を整備してほしい。
- ・合葬式の無料永代墓地を整備してほしい。

■ 都市基盤

【中心市街地】

- ・徳山駅周辺の中心市街地の活性化には、無料駐車場が絶対必要。
- ・駐車場代が無料で、雨に濡れることなく買い物ができるようにしてほしい。
- ・無料駐車場の整備ができないのであれば、自転車道の充実や駐輪場の整備をして若者を集める、自転車を中心にしたまちづくりを目指しては。
- ・新幹線が停車するのは大きな利点なので、オフィス街として開発すると、働く人が増え、店舗も増えるのでは。
- ・徳山駅を改装してきれいにしても人は集まらない。買い物をする人を集めるために大きなショッピングモールを作った方がよい。
- ・徳山駅ビルに市役所や商業の機能を集中させるべき。
- ・買い物や各種公共サービス・イベント・医療など、徳山駅周辺に行けば何でも揃うと思える場所にしてほしい。
- ・近鉄松下の閉店セールに多くの人が集まったのだから、ニーズに合えば消費することは惜しまない。
- ・駅ビルの上に小児科病院を設置してみてもは。医療従事者や介護職の人を育てる教育施設、資格、生涯学習の場所も必要。
- ・信号が自動車優先になっており、歩行者が横断できる時間が短い。
- ・どの施設も洋式トイレが不足しており、高齢者には不便。
- ・徳山駅前に大気汚染に強い木をたくさん植えてほしい。

【道路・河川・港】

- ・国道2号の渋滞緩和のための高架道路を作ってほしい。
- ・雨が降るたびに水に浸かる道路が、何十年たっても改善されない。
- ・徳山地域は自転車道を整備されているが、熊毛地域は国道2号沿いの歩道が狭くて危険で通学時の事故もある。地域により整備の格差があるのでは。
- ・人や自転車・単車・車いすなどの転落を防ぐために、側溝に蓋をして道路と一体化して道幅を広げてほしい。
- ・自転車道の改修に不満。昨今の自転車交通に対する問題を踏まえ、歩車分離を実効性のある形で実現してほしい。
- ・道路拡張工事に時間を掛け過ぎ。
- ・川に草木がうっそうと茂っていて、本来の役割を果たしていない。
- ・釣りができるように、海岸や岸壁を開放してほしい。

【区画整理】

- ・区画整理事業を進めるときは、早く実行してほしい。

【市営住宅・住宅環境】

- ・市営住宅の空き部屋の維持も税金なので、家賃や入居条件を見直すべき。
- ・市営住宅の駐車場問題などを改善してほしい。
- ・市営住宅を増設してほしい。
- ・新築住宅の購入は難しい。中古住宅やリフォームの補助をしてほしい。
- ・中山間地域の空き家が多い。空き家を利用してくれる人を探す手助けをしてほしい。

【公園・街路樹】

- ・木が伸びすぎて見通しが悪いので、切してほしい。
- ・街路樹が伸び過ぎの時も切りすぎの時もあり、剪定が極端すぎる。
- ・草が伸びているので、草刈りをしてほしい。
- ・木が大きくなりすぎて、枯葉の清掃が大変。電線にかかる木もあるので危険。
- ・公園に野良犬や猫が多くて危険。駆除してほしい。
- ・公園内の駐車場を自家用駐車場にしている人がいるので、指導してほしい。
- ・トイレの緊急ボタンを押しても消防・警察・市役所に届かない。なぜ設置しているのか。
- ・小さな公園で、キャッチボールなど遊びの制限が多すぎる。もっとゆとりある公園を。
- ・公園のボール遊びを規制してほしい。毎日のように家の敷地に入ってくるので、ネットなどの整備をしてほしい。
- ・犬と気軽に入れる公園（ドックラン）の整備をしてほしい。
- ・遊具が古く、遊ぶと服が汚れる。
- ・使用禁止の遊具が放置されたまま。

【通信インフラ】

- ・光ケーブルでのインターネット環境を整備してほしい。

■ 産業・観光

【産業活性化】

- ・商業都市や消費都市でなく、生産都市でしか地域活性化はできない。現在の企業に頼るだけでなく、積極的に未来型企業の誘致、起業支援(工業・農林業・水産業)に取り組んでほしい。
- ・企業活性化のために、公共工事を増やしてほしい。

【農林業】

- ・農地の売り買いが制限される中、農業後継者がやめてしまえば、荒廃は進む一方。
- ・イノシシやサル農作物の被害が増加。サルの減少対策を早急にしてほしい。
- ・里山を荒らさずにきれいにすることで、イノシシやサルが出にくくなる。
- ・荒廃した山林が増えているので、市が山林を買い取り、市有林として整備してほしい。

【道の駅】

- ・西部道の駅に期待。観光・農産物・市内の企業支援に役立つように取り組んでほしい。
- ・市営の道の駅は、縮小するより拡張する方が、まちの活性化につながる。
- ・道の駅の規模が大き過ぎて、採算が取れるのか心配。

【雇用・若者対策】

- ・県外に進学した学生が、卒業後に周南市や県内に就職できる環境づくりをしてほしい。
- ・若い人の就労が行政でできないか。観光サービスが民間以下なので、魅力を十分に発信したり、接客したりする人員を確保して、活用してほしい。
- ・40代以降の人も活用できる「若者サポートセンター」のような施設を作してほしい。
- ・在宅ワークなどの起業を希望する人に対する教育訓練の拡大をしてほしい。
- ・農村に住んで農業に従事したいと考える若者もいるが、農地法などが妨げになっている。
- ・この街に若者が残れる政策、若い人が活躍し夢を実現できる政策を推進してほしい。
- ・街コンなどの一時的なものではなく20～40歳代が集える場所や機会を周知してほしい。

【観光】

- ・自然（海・川・山等）と親しむ研修施設がない。大田原自然の家等の設備を充実して、人の交流や体験・経験をしてもらうべき。
- ・公共施設をうまく活用して、児玉源太郎や陶氏など、郷土の偉人情報を発信してほしい。
- ・植物園がほしい。

【動物園】

- ・科学的に臭いを取る水のリサイクル等の技術を使った動物園にしてほしい。
- ・明るい雰囲気になり、以前よりも利用するようになった。
- ・動物園の再開発を一日も早く実行してほしい。

【ナベヅル保護】

- ・ナベヅル対策が不十分。水を張ったねぐらの確保が必要。

【スポーツ施設】

- ・市水泳場の老朽化。衛生面からも気になる。
- ・市庭球場の稼働率が低い。料金を下げて、利用者を増やし収入を上げるべき。
- ・施設のインストラクターが本気で教えてくれない。
- ・周南市にある、中国地方一のスポーツ施設、野球場などを充実し発信すること。
- ・インラインスケートパークを作してほしい。

■ 市政運営に関すること

【税・公共料金・使用料・財政】

- ・税金が高すぎる。有効的な使い方をして、減税してほしい。
- ・熊毛地域の都市計画税を撤廃してほしい。
- ・市最大の問題は人口減。子育て世代に思い切った減税をすべき。
- ・年金世帯として、国民健康保険料が高くて困っている。
- ・上下水道料金が、全国的に見ても高すぎる。
- ・上下水道料金や徴収方法は、旧新南陽時代の方が良かった。
- ・政所駐車場の運営は、商店街に費用負担させるべき。
- ・公有財産の売却で、財政不足を補うべき。
- ・どうやって市の借金を減らす計画なのか、広報では分からない。
- ・業者から平等に見積もりを取って、安い業者を使ってほしい。

【広報・ホームページ】

- ・自治会に配布される広報の予備が無駄。
- ・紙の無駄であり、高齢化で配布が大変なので、月2回の発行でなくてもよい。
- ・学生でアパート暮らしなので、市の情報が分からない。回覧制度などはないのか。
- ・広報に地域でできるボランティア活動の情報を掲載してほしい。
- ・ホームページで情報が更新されていない。また、必要な情報が出てこない。
- ・手続きや相談する所が分からない。インターネットでなくても分かるようにしてほしい。
- ・テレビなどを活用して、市の政策や実施などの情報発信をすべき。

【公共施設再配置】

- ・事務庁舎で利用者が限定されているものは、今ある建物に1か所ずつ配置し、証明書の発行や相談窓口などは交通拠点などを中心に何か所にもあればよい。
- ・総合支所廃止に反対。本庁にすべてを集中しすぎている。総合支所で用事を済ませたい。
- ・本庁舎・支所の統合に反対。中山間地域の高齢者が生活しやすいように、支所・公民館などを廃止しないでほしい。
- ・市の各課が分散している。維持管理費などを考慮し、古い庁舎を解体して統合すべき。
- ・市民館の会議室を廃止するのであれば、同様の料金で使用できる施設を望む。
- ・公共施設は、利用者が少なくても、その場所に必要であれば公平に残すべき。
- ・市役所建て替えよりも学校の改修を優先すべき。
- ・赤字続きの特定施設は早く廃止すべき。箱モノを最小限に留め、福祉を充実してほしい。
- ・特定の人や団体が占有していて、一般市民が利用する機会がない（申し込みし難い）。
- ・車が運転できなくなったら、公共施設に行くのが難しくなるので、近くにあってほしい。
- ・周南・下松・光市で各々実施している公共施設の使用を周南地区として統一してほしい。

【市役所本庁舎・支所・公民館】

- ・市役所の駐車場が利用しにくいので、拡張してほしい。無関係の人が駐車している。
- ・市役所の中で、目的の部署がどこにあるのか分からない。
- ・個性的な市庁舎を建設してほしい。
- ・公民館の炊事場を広くしてほしい。洋式トイレの整備をしてほしい。
- ・公民館に図書館を置くべき。

【市職員・業務】

- ・職員の数が多い。給与が高すぎる。
- ・職員の多機能化・多能化が遅れているので、資質向上のため昇進は試験制度にしては。
- ・電話の対応や回答が遅い。窓口で職員がすぐ出てこない。
- ・窓口での職員の言葉遣いや対応に不愉快な思いをした。
- ・市公用車の運転マナーが悪い。
- ・職員が休暇のため、再度来庁するように言われた。誰でもできる体制にしてほしい。
- ・福祉担当は事務所にいるだけでなく、現場に配置して、サービス向上に努めてほしい。
- ・民間にできる業務は、委託してコスト削減に努めてほしい。
- ・土曜日の午前中だけでも、市役所を開けてほしい。
- ・支所で分からないことを本庁に尋ねるように言われた。
- ・本庁舎の窓口が使いにくくて分かりにくい、総合支所での手続き項目を増やしてほしい。

【議会】

- ・議員はあまりに不勉強で、市民代表としての自覚がゼロ。人数を減らしてほしい。
- ・大した仕事をしていないのに、年間700万円の報酬は高すぎる。
- ・メンツにこだわるばかりで、市をやりこめれば、自分が偉いと誤解している議員が多い。
- ・特定地域のみ要望や市の計画への批判だけでなく、あるべき姿のベクトルを合わせて全市的な議論してほしい。
- ・行政のスピードある仕事を妨害しているのは、議会ではないか。
- ・議員の配分が公平でない。地区ごとの定員を定めるべき。

【合併】

- ・徳山と熊毛は行政上一体感がなく、選挙区も別。熊毛では多くの反対意見があったのに合併という結果になった。下松・光市と合併した方が、市民の意見を聞いてくれたのでは。
- ・熊毛地区の文化圏や交流は昔から下松・光市。両市との合併を実現して、より豊かな周南市にしてほしい。
- ・合併のメリットをあまり感じない。
- ・合併後の住所が分かりにくい、旧市町名を復活してほしい。

周南市市民アンケート調査

～ 調査へのご協力のお願い ～

皆様には平素より、周南市政の運営にご協力いただき誠にありがとうございます。
さて、本市では、平成17年度から26年度までを計画期間とする、まちづくり総合計画「ひと・輝きプラン 周南」に基づき、市政運営を行っています。

市では、27年度からの次期総合計画の策定にあたり、その基礎資料として市民アンケート調査を実施し、皆様のニーズや満足度、市政に対する考えなどを伺いたいと考えています。このたびの調査にあたり、市内にお住まいの18歳以上の方から2,500人を無作為に抽出させていただきます、そのお一人として、あなたにご協力をお願いすることになりました。

調査は無記名式で行い、お答えいただいた内容は、調査の目的以外に使用することはありませんので、率直なご意見を願います。

結果につきましては、「広報しゅうなん」などで公表いたします。

お忙しいところ恐れ入りますが、本調査の目的をご理解のうえ、ぜひご協力をよろしくお願いたします。

平成25年5月

周南市長 木村 健一郎

- 調査の期間 平成25年5月20日（月）から5月31日（金）まで
- 調査方法 郵送による配布・回収で、調査は無記名式
- 調査対象者 平成25年5月1日現在、市内にお住まいの18歳以上の方の中から、無作為に抽出した2,500人

● ご記入にあたっての注意事項

- 封筒のあて名のご本人がお答えください。なお、ご本人が回答できない場合は、ご家族の方などが代わってお答えください。
- ご記入にあたっては、黒鉛筆または黒ボールペンをご使用ください。
- ご記入いただきました調査票は、3つ折りにして、同封の返信用封筒に入れて、

平成25年5月31日（金）までに投かんしてください。（※切手不要）

- 周南市まちづくり総合計画は、市役所本庁舎市民さろん、各総合支所情報公開コーナーで閲覧できます。また、市ホームページにも掲載しています。

<http://www.city.shunan.lg.jp/section/kikaku/keikaku/sougoukeikaku.html>

このアンケート調査に関するお問い合わせ先

周南市企画総務部政策企画課 電話：0834-22-8478

E-mail: kikaku@city.shunan.lg.jp

はじめに まちづくり総合計画とは？

まちづくり総合計画とは、周南市のまちづくりの指針となるものであり、「基本構想」「基本計画」「実施計画」の3つにより構成されています。

○ **基本構想**… 市民と行政がともに進めていくまちづくりの基本理念・方向性を示すもので、本
市がめざす将来の都市像、まちづくりの目標、施策の大綱等を掲げています。

○ **基本計画**… 基本構想で定めたまちづくりの目標等を実現するための施策展開の指針となるも
ので、分野ごとに方向性や主要施策を示すものです。

○ **実施計画**… 基本計画に従って、具体的な施策、事業及び財政計画を示すものです。

それぞれ事業の進み具合を踏まえ、毎年度見直しを行います。

※ このアンケート調査は、平成27年度からはじまる「まちづくり総合計画」を策定するための基礎資料といたします。

● ご回答いただくあなたご自身についてお伺いします。

平成25年5月1日現在で、あてはまるものに1つだけ○印をつけてください。

1 お住まいの地域（小学校区）は？	徳山地区	1. 徳山 5. 岐山 9. 榑浜 13. 小畑 17. 大道理 21. 中須	2. 遠石 6. 秋月 10. 鼓南 14. 夜市 18. 大向 22. 須磨	3. 今宿 7. 桜木 11. 菊川 15. 湯野 19. 長穂 23. 大津島	4. 周陽 8. 久米 12. 四熊 16. 戸田 20. 沼城
	新南陽地区	24. 富田東 28. 和田	25. 富田西 26. 福川	27. 福川南	
	熊毛地区	29. 三丘 33. 八代	30. 高水 31. 勝間	32. 大河内	
	鹿野地区	34. 鹿野			
2 性別は？	1. 男性	2. 女性			
3 年齢は？	1. 18歳・19歳	2. 20歳代	3. 30歳代	4. 40歳代	
	5. 50歳代	6. 60～64歳	7. 65～74歳	8. 75歳以上	

4 職業は？	1. 農林漁業 4. 商業 (小売 卸売) 7. 運輸通信業 10. 無職	2. 製造業 5. 金融業・保険業 8. 公務員・団体職員 11. 学生	3. 建設業・鉱業 6. サービス業 9. 家事専業 12. その他 ()
5 現在の世帯の構成は？	1. 一人住まい 4. 二世帯同居 (親と同居)	2. 夫婦のみ 5. 三世帯同居	3. 二世帯同居 (子どもと同居) 6. その他
6 本市に何年ぐらいお住みですか？	1. 1年未満 4. 20～30年未満	2. 1～10年未満 5. 30年以上	3. 10～20年未満

● 周南市やお住まいの地域についてのお考えをお願いします。

設問 7：本市に愛着を感じていますか？ 【1つだけ○印】

- 感じている
- どちらかといえば感じている
- どちらかといえば感じていない
- 感じていない
- どちらでもない

設問 8：本市は住みよいと思えますか？ 【1つだけ○印】

- 住みよい
- どちらかといえば住みよい
- どちらかといえば住みにくい
- 住みにくい
- どちらでもない

設問 9：これから本市に住み続けたいと思えますか？ 【1つだけ○印】

- 住み続けたい
- どちらかといえば住み続けたい
- どちらかといえば住み続けたくない
- 住み続けたくない
- どちらでもない

設問 10：あなたがお住まいの地域内で、誇りに思うものは何ですか？ 【あてはまるものすべてに○印】

- 地域内の景観・自然環境
- 地域内の名所・旧跡
- 地域内の特産物 (農林水産物・加工品等)
- 地域内の産業
- 地域内の諸行事 (祭り・イベント等)
- 地域内出身の著名人
- 地域内に暮らす人々
- 地域内の助け合いなどの社会関係
- その他のもの
- 地域内に誇りに思うものはない

設問 11：あなたがお住まいの地域の日常生活に関する施設やサービスについて、困っていることはありますか？ 【あてはまるものすべてに○印】

- スーパーなどが遠く、買い物不便
- 身近に預貯金を引き出せる金融店舗がない
- 高齢者向けの福祉サービス (デイサービス、ショートステイ等) が利用しづらい
- 病院が遠いなど、医療体制に不安
- 下水道や合併浄化槽など生活排水処理施設が整備されていない
- 子どもが少ないので、遊び相手の確保など子育て環境に不安
- 小学校・中学校が遠く通学に不便
- 小学校・中学校が少人数で集団活動や学習面で不安
- 高校が遠く、子どもが自宅から通学しづらい
- 仲間と気軽に集まる場所がない
- その他 ()

設問 12：以下の項目について、あなたが感じておられる現在の満足度と、今後の生活にとつての重要度をお聞かせください。各項目それぞれ1つずつ○印をつけてください。
次に、項目 1～36までのうち、今後のまちづくりにおいて、**重要度が高いと思うもの**から3つ選んで、「重点項目」欄に番号を記入してください。

項目	現在の満足度は？				今後の重要度は？					
	満足	まあ満足	やや不満足	不満足	重要	やや重要	重要でない	これでもない		
1 青少年の健全育成	4	3	2	1	0	4	3	2	1	0
2 幼児教育や義務教育などの充実	4	3	2	1	0	4	3	2	1	0
3 生涯学習の推進	4	3	2	1	0	4	3	2	1	0
4 文化・芸術活動の促進	4	3	2	1	0	4	3	2	1	0
5 スポーツ・レクリエーションの振興	4	3	2	1	0	4	3	2	1	0
6 国際交流など国際化への対応	4	3	2	1	0	4	3	2	1	0
7 道路の整備	4	3	2	1	0	4	3	2	1	0
8 公園や緑地などの整備	4	3	2	1	0	4	3	2	1	0
9 バスや鉄道など公共交通機関の利便性	4	3	2	1	0	4	3	2	1	0
10 住環境の整備や土地区画整理事業の推進	4	3	2	1	0	4	3	2	1	0
11 上水道の整備	4	3	2	1	0	4	3	2	1	0

項目	合併後の充実度は？			
	充実した	やや 充実した	変わらない	後 退 し た
27 徳山県を中心とした中心市街地の活性化	4	3	2	1
28 工業の振興	4	3	2	1
29 農林業の振興	4	3	2	1
30 水産業の振興	4	3	2	1
31 商業の振興	4	3	2	1
32 企業誘致の推進や起業家への支援	4	3	2	1
33 観光の振興	4	3	2	1
34 市政への参画や市民と行政の協働の推進	4	3	2	1
35 人権の尊重と男女共同参画社会の実現	4	3	2	1
36 行財政改革の推進	4	3	2	1

● 市政への市民参画・ボランティアについてのお考えをお願いします。

設問14：市政への市民参画についてどう思われますか？ 【1つだけに○印】

1. ぜひ参画したい → 設問15△
2. 機会があれば参画したい → 設問15△
3. あまり参画したくない → 設問16△
4. 参画したくない → 設問16△
5. どちらともいえない

設問15：設問14で「1」または「2」に○印を付けた方にお聞きします。あなたは、どのような形で参画したいと思われますか？ 【あてはまるものすべてに○印】

1. ハブリック・コメントによる意見の提出
2. 施設整備や計画策定の際に関催される説明会やワークショップへの出席
3. 市が設置する委員会や審議会等の委員として参画
4. 上記1～3以外での参画（ ）

※「ハブリック・コメント」… 市が施策を定めるとき、事前にその原案を公表して市民の意見を募集し、寄せられた意見を考慮して、市としての意思決定を行う手続き。

※「ワークショップ」… 市が施策を定めるとき、市民と市又は市民同士が問題点を共有し、認識しながら、相互に議論、共同作業などを通して案を作り上げる方法。

設問16：設問14で「3」または「4」に○印を付けた方にお聞きします。あなたは、どのような理由から参画したくないとお考えですか？ 【1つだけに○印】

1. 施策、事業の内容がよくわからないから
2. 自由に自分の考えや意見が述べられないから
3. 意見や提案をしても市政に反映されないから
4. 意見や提案をしても施策、事業が早急には実施されないから
5. 市の事業の進みぐあい等について市民に情報公開していないから
6. 理由は特にない
7. その他（ ）

設問17：この1年間（平成24年5月1日～25年4月30日）に、ボランティア活動に参加されましたか？ 【あてはまるものすべてに○印】

1. 健康や医療・福祉サービスに関係した活動 ※献血や骨髄バンク等の活動も含みます
2. 高齢者を対象とした活動
3. 障害者を対象とした活動
4. 子どもを対象とした活動 ※子ども会の世話や読み聞かせや演劇など
5. スポーツや文化、芸術、学術に関係した活動
6. まちづくりのための活動 ※道路や公園等の清掃、花いっぱい運動、まちおこしなど
7. 防災・防犯活動や交通安全などの活動
8. リサイクル運動、自然や環境を守るための活動
9. 災害救援活動や救援物資の供給、炊き出しなど災害に関連した活動
10. 難民支援や海外支援協力など国際協力に関連した活動
11. その他のボランティア活動
12. 参加していない

- 男女の地位平等について、あなたのお考えをお伺いします。

設問18：次の項目で、男女の地位の平等などの程度実現されていると思いませんか？

項目	【各項目1つだけに○印】					
	実現度	男性が優遇	どちらかといえば男性が優遇	平等	どちらかといえば女性が優遇	わからない
1 家庭の中では		1	2	3	4	5
2 教育の場では		1	2	3	4	5
3 職場では		1	2	3	4	5
4 地域社会では		1	2	3	4	5
5 社会通念やしきたりでは		1	2	3	4	5
6 法律や制度では		1	2	3	4	5
7 社会全体では		1	2	3	4	5

設問19：今後、男女が社会のあらゆる分野で平等になるためには、何が重要だと思いますか？

【あてはまるもの3つ以内に○印】

1. 男女をとりまく様々な偏見や固定的な社会通念・習慣・しきたりの改善
2. 法律や制度面を見直し、差別につながるものを改善
3. 女性の経済力の向上や知識、技術の習得など、女性の力の向上
4. 男性自身が男女の平等や共同参画について意識を改革
5. 女性自身が男女の平等や共同参画について意識を改革
6. 女性の就業、社会への参画を支援する施設やサービスの充実
7. 行政、企業などの役割に一定の割合で女性を登用
8. 子どもの時から家庭や学校での男女平等の学習
9. 特にない、わからない

設問20：男女の生き方や家庭生活などに関する考え方について、どのように思いませんか？

【各項目1つだけに○印】

項目	そう思う	まあ思う	まあさほど	さほど	さほどさほど	さほど思わない	さほど思わない	わからない
	1 「男は仕事」「女は家庭」を中心にする方がよい							
2 「男の子は男らしく」「女の子は女らしく」しつけた方がよい								
3 夫婦は別々の姓を名乗っても構わない								
4 人にはそれぞれ向き不向きがある。男性か女性かによって生き方を決めつけない方がよい								
5 女性性、結婚や出産をしても仕事を続ける方がよい								
6 女性性は、出産を機に仕事をやめて家庭に入り、子どもが大きくなって再び仕事に就けばよい								

設問21：あなたの生活の中の「仕事」「家庭生活」「地域・個人の生活（地域活動・学習・趣味・付き合い等）」について、理想と現実（現状）に最も近いものはどれですか？

【理想・現実 各1つに○印】

項目	理想	現実
1 「仕事」を優先している		
2 「家庭生活」を優先している		
3 「地域・個人の生活」を優先している		
4 「仕事」と「家庭生活」をともに優先している		
5 「仕事」と「地域・個人の生活」をともに優先している		
6 「家庭生活」と「地域・個人の生活」をともに優先している		
7 「仕事」と「家庭生活」と「地域・個人の生活」をともに優先している		
8 わからない		

設問22：これまでに配偶者または、交際相手がいれば方にお聞きします。過去5年以内に、あなたの相手から次のようなことをされたことがありますか？
【各項目1つだけに○印】

項目	まったくない	あつた1度	あつた2度	あつた3度
1 殴る・蹴る・物を投げつける・突き飛ばすなどの身体に対する暴行を受けた				
2 人格を否定するよるような暴言・交友関係を細かく監視するなどの精神的な嫌がらせ・あなたもしくはあなたの家族に危害が加えられるのではないかと恐怖を感じるような脅迫を受けた				
3 避妊に協力しなかったり、嫌がっているのに性的な行為を強要された				

設問23：男女共同参画社会の実現に向けて、市にどのようなことを期待しますか。最も重要だと思うものは、どれですか？
【あてはまるものを2つ以内に○印】

1 男女共同参画に関する幅広い情報や資料等の収集、提供
2 男女共同参画に関する講演会、講座等の企画、開催
3 女性のための相談窓口の充実
4 男性のための相談窓口の充実
5 性と生殖に関する健康支援
6 男性、女性のどちらか一方に不利な社会通念、慣習の見直し
7 男女共同参画の視点に立った教育や学習の充実
8 男女が共に働きやすい就業環境の整備
9 審議会など政策や方針を決定する場への女性の積極的登用
10 配偶者等からの暴力被害の防止、根絶や相談・救済体制の充実
11 生涯学習活動やボランティア活動での男女共同参画
12 その他（ ）

● 環境保全対策・エネルギーについて、あなたのお考えをお聞きます。

設問24：あなたが住んでいる地区の環境保全対策について、どの程度満足されていますか。また、市の将来を見据えた環境保全対策としてどの程度重要だと思いますか？
【各項目1つだけに○印】

項目	満足度 (あなたが住んでいる地区)					重要度 (市の将来の環境)				
	満足	まあ満足	どちらともいえない	やや不満	不満	非常に重要	重要	どちらともいえない	重要ではない	
1 動物や植物の生息・生育地の保護	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
2 山林の保全	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
3 水辺環境の保全	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
4 農地の保全	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
5 自然とのふれあいの場の整備	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
6 工場・自動車による大気汚染対策	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
7 下水道等の生活排水処理施設の整備	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
8 工場からの排水による水質汚濁対策	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
9 工場・自動車からの騒音対策	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
10 ごみ処理体制の充実・リサイクル推進	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
11 工場などからの悪臭対策	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
12 省エネルギー対策・新エネルギーの活用	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
13 まちの緑化	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
14 文化財の保存・整備	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
15 ポイ捨て防止などの環境美化	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
16 公園の整備	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
17 地球温暖化防止への取り組み	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
18 近隣市町村と連携した流域や海域の保全対策	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
19 次世代を担う子どもへの環境教育*	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
20 環境に関する情報の提供	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1

※「環境教育」…自然保護や公害防止だけでなく、地球・生物全体にわたる環境の問題をとりあげ、グローバルな視点で取り組む教育。

設問25：環境保全活動にどの程度参加したことがありますか。また、今後、環境保全活動に参加したいと思われますか？
【各項目1つだけに○印】

項目	参加経験		今後の参加意向	
	ある	ない	参加したい	あまり参加したくない と思わない
1	1	2	1	2
2	1	2	1	2
3	1	2	1	2
4	1	2	1	2
5	1	2	1	2
6	1	2	1	2
7	1	2	1	2
8	1	2	1	2
9	1	2	1	2
10	1	2	1	2
11	1	2	1	2
12	1	2	1	2
13	1	2	1	2
14	1	2	1	2

設問26：省エネルギーの家電製品への買い替えについて、どうお考えですか？
【1つだけに○印】

1. 値段が高くても省エネルギー性能を重視
2. 省エネルギー性能と値段のバランスを重視
3. 省エネルギー性能よりも値段を重視
4. その他 ()

設問27：節電に取り組み際の動機として重視することは何ですか？

【1つだけに○印】

1. 電力不足への協力
2. 地球温暖化防止の観点
3. 家庭や職場等の電気料金の抑制
4. 石油や石炭などの資源枯渇の抑制の観点
5. その他 ()

設問28：再生可能エネルギー（太陽光・風力発電など）の普及について、どうお考えですか？

【1つだけに○印】

1. 電気料金が高くなっても、普及させるべき
2. 電気料金と普及のバランスを重視すべき
3. 電気料金が高くなるのであれば経済性（電気料金が高くなることの抑制）を重視すべき
4. その他 ()

● 生涯学習について、あなたのお考えをお伺いします。

※「生涯学習」とは、自分の人生を豊かで生きがいのあるものにするため、自ら進んで行う学習やスポーツ・文化・趣味・レクリエーション・ボランティアなどの活動をいいます。

設問29：この1年間（平成24年5月1日～25年4月30日）に、次の分野に関する生涯学習をしたことがありますか？
【あてはまるものすべてに○印】

1. 趣味的なもの（音楽、美術、書道、茶道、写真、陶芸、園芸、舞踊など）
2. 教養的なもの（文学、歴史、政治、経済、自然科学など）
3. 健康・スポーツに関すること（健康体操、ジョギング、水泳、ゴルフなど）
4. 家庭生活に役立つ知識や技能（料理、洋裁、和裁、介護など）
5. 子育てに関すること（育児、教育問題など）
6. 職業上必要な知識・技能（仕事に関係のある知識の習得や資格の取得など）
7. 語学（英会話など）
8. パソコン・インターネットに関すること
9. 自然体験活動（キャンプ、登山、自然観察、農林漁業体験など）
10. ボランティア活動（青少年・自治会活動、手話、介護、福祉など）
11. 地域づくり（地域活性化のための知識・技能の修得など）
12. その他 ()
13. 特にしていない → 設問31へ

設問30：生涯学習で学んだことをどのように生かしたいと思えますか？

【あてはまるものすべてに○印】

1. 自分や家族の教養・生活の向上
2. 日常生活に必要な知識を得る
3. 現在の仕事や就職・転職
4. 資格取得
5. 社会福祉活動
6. 地域づくりやまちづくりの活動
7. 特にない
8. その他 ()

設問31：【設問29】で「生涯学習を特にしていない」と答えられた方にお聞きします。生涯学習をしなかった理由は何ですか？

【あてはまるものすべてに○印】

1. 身近なところに学習・活動できる施設や場所がない
2. 必要な情報が入手できない
3. 時間の余裕がない
4. 費用がかかる
5. 仲間がいらない
6. 適当な指導者がいない
7. さっかかけがない
8. 学ぶ必要を感じない
9. めんどくさくである
10. その他 ()
11. 特にない

設問32：今後、ぜひ学ぶ必要があると思うテーマは何ですか？

【あてはまるもの5つ以内に○印】

1. 環境問題・自然保護
2. 子育て・家庭教育
3. 地域の教育力の向上に関すること
4. 学校教育・子どもの教育
5. 健康の維持や増進に関すること
6. スポーツ
7. 高齢者の生きがいに関すること
8. 就職対策や職業能力の向上
9. 人権問題に関すること
10. 男女共同参画に関すること
11. NPO・ボランティア活動
12. パソコン・インターネット
13. 国際交流や国際問題
14. 地域活性化・まちづくり
15. 芸術・伝統文化に関すること
16. 消費者問題
17. その他 ()
18. 分からない

設問33：公民館が、どんな施設であることを期待しますか？

【あてはまるもの3つ以内に○印】

1. 地域住民の文化・教養を向上させるための施設
2. 地域の課題を解決するための学習を行う施設
3. 生涯学習をするための情報提供や相談、アドバイスをしてくれる施設
4. 地域の子育て支援のための拠点施設
5. 高齢者が気楽に集い利用できる施設
6. 青少年が気楽に集い利用できる施設
7. 地域のコミュニティ活動、ボランティア活動などを支援するための施設
8. 地域住民が利用したい時に利用できる貸館施設
9. その他 ()
10. わからない

設問34：この1年間（平成24年5月1日～25年4月30日）に、学校と連携した次のような地域活動をしましたか？

【あてはまるものすべてに○印】

1. 昔遊びや伝統芸能の指導者
2. 交通安全見守り隊
3. 環境整備ボランティア（学校敷地内の草刈り、植木の手入れ、施設の清掃など）
4. 学習アシスタント（授業補助、本の読み聞かせ、部活動指導など）
5. 放課後子ども教室の安全管理員
6. 学校運営協議会委員
7. PTA・子ども会役員
8. その他 ()
9. わからない

● 公共交通機関の利用状況について、お伺いします。

設問35：バスや鉄道などの公共交通機関を使う頻度はどのくらいですか？

【1つだけに○印】

1. ほぼ毎日
2. 1週間に2～3度
3. 1か月に数日程度
4. ほとんど利用しない（理由は？）

設問36：買い物や医療機関に出向くとき、主にどの交通手段を利用しますか？

【1つだけに○印】

1. 徒歩	2. 自転車
3. 自家用車・バイク	4. バス
5. 鉄道	6. タクシー
7. その他 ()	

● 市役所の窓口や電話に对应した職員の印象についてお伺いします。

設問37：この1年間（平成24年5月1日～25年4月30日）に、市役所（総合支所・支所含む）に来庁された方にお聞きします。職員の窓口対応について、どう感じられましたか？

【各項目1つだけに○印】

項目	非常に良かった	どちらかといえば良かった	どちらかといえば悪かった	非常に悪かった
身だしなみ・服装	1			
あいさつ・言葉づかい				
説明・対応の仕方				
所要時間				
その他 ()				

設問38：この1年間（平成24年5月1日～25年4月30日）に、市役所（総合支所・支所含む）に電話された方にお伺いします。職員の電話対応について、どう感じられましたか？

【各項目1つだけに○印】

項目	非常に良かった	どちらかといえば良かった	どちらかといえば悪かった	非常に悪かった
電話の印象				
あいさつ・言葉づかい				
説明・対応の仕方				
所要時間				
その他 ()				

● 周南市の行財政改革について、あなたのお考えをお伺いします。

設問39：市では、より一層効率的な市政運営や市民サービスの向上を図るため、行財政改革に積極的に取り組んでいます。あなたは、今後、何に重点的に取り組むべきだと思いますか？

【あてはまるもの3つ以内に○印】

1. 情報公開制度の充実	2. 窓口サービスの向上
3. 財政健全化への取り組み	4. 事務事業の見直し
5. 公共施設の見直し	6. 補助金等の見直し
7. 未利用財産の売却(土地・建物)	8. 使用料・手数料等の受益者負担の適正化
9. 市民参画や市民協働の推進	10. 組織・機構の見直し
11. 職員数の適正化	12. 職員給与の見直し
13. 職員の資質の向上	14. 民間活力の導入・外部委託の推進
15. その他 ()	

設問40：この1年間（平成24年5月1日～25年4月30日）に、次のような公共施設を利用しましたか？

【各項目1つだけに○印】

施設	よく利用した	時々利用した	利用しなかった
公民館・コミュニティセンターなどの市民交流施設	3	2	1
図書館・美術博物館・文化会館などの文化施設	3	2	1
体育館・運動場・プールなどのスポーツ施設	3	2	1
福祉センター・憩の家・デイサービスセンターなどの福祉施設	3	2	1
保健センター・市立病院・市立診療所などの保健衛生施設	3	2	1
宿泊施設・動物園などの観光施設	3	2	1
都市公園・児童遊園などの公園や緑地	3	2	1

IV. まちづくりに関する意見募集

■ 意見募集の実施

《実施経過》

- ・ 広報
広報しゅうなん（平成25年6月1日号）・市ホームページにより募集周知
- ・ 募集意見の内容
合併後のまちづくりの評価や課題
今後のまちづくりで重点的に取り組むべき事項
その他市政等への意見、要望
- ・ 募集期間：平成25年6月1日から1か月間

《応募の状況》

- ・ 応募人数：10人（郵送：6人、ファクス：1人、Eメール：3人）

■ 意見の概要

【中心市街地】

- ・ 御幸通の歩道側車道を歩道に拡張し、イベントに活用。
- ・ 徳山駅周辺に大型ディスカウントショップを誘致。
- ・ 街に店舗を増やしても日曜・祝日に閉店しているようでは、人が来ない。
- ・ 駅周辺に駐車場を整備し、時間帯により格安または無料に。
- ・ 児玉源太郎の児玉文庫の流れをくむ中央図書館を多機能・高機能化（視聴覚コーナー・タブレット端末活用等）してほしい。

【コンベンション】

- ・ 夜の「グルメ」「動物園」「工場夜景」のバスツアーで市外の客を呼び込む。
- ・ 湯野温泉は、湯の質が良いのに宣伝不足。湯を持ち帰る施設があればよい。
- ・ 徳山動物園のリニューアルに期待。

【公共交通】

- ・ バスなどの公共交通に自転車を積めるとよい。
- ・ 徳山駅周辺に大型ディスカウントショップを誘致。

【雇用】

- ・ 意欲ある中高年労働者を活用し、周南市を伸ばす原動力に。

【合併】

- ・ 旧2市2町の区域にとらわれない、別の呼び方・区域を導入し「周南市全体」の視点で物事を考えるきっかけにしてみてもよい。

周南市市民アンケート調査
集計結果

平成26年2月
周南市企画総務部 政策企画課